

本庁舎等整備基本構想（素案）パブリックコメント 意見・提案等と区の考え方

分類	意見・提案等	区の考え方
全般（8件）		
全般	<p>基本構想（素案）特集号掲載の「基本的方針」に賛同します。特に大地震の予測や高齢化が叫ばれるなか、防災拠点としての視点と「全ての人にわかりやすく利用しやすい」という視点は重要です。一方、特集号の保坂区長の挨拶に「国立西洋美術館の～氏も話題になりました」というコメントがあるのに気になりました。区長は意図するところがあるのでしょうか。話題性や現庁舎にとらわれず、整備の目的を直視し、前期2点（防災拠点・利便性）の視点が徹底されることを強く望みます。</p>	<p>今後、本庁舎等整備基本構想を策定し、区民自治と協働・交流の拠点、区民の安全・安心を支える防災拠点としての庁舎、そして、誰もが利用しやすい庁舎等、5つの基本的方針に沿い、本庁舎等を整備してまいります。</p>
	<p>1～5の素案よいと思います。庁舎の安全はそこで働いておられる方にとても大切であり、よりよい機能は効率性を高めると思う。その為に必要な事には妥協せずお金をかけて良いと思います。上記をきちんと形に出来る業者を選定し、それに関わるお金を透明にして欲しいと思います。</p>	
	<p>世田谷区役所庁舎整備にあたって、約30年在住の一区民としての願いを以下に記します。目下、問題が噴出している築地、豊洲の公共工事、あるいは、千駄ヶ谷国立競技場建て替えの轍を踏まないように心から願います。本庁舎像として示された基本理念1, 2, 3は素晴らしい！基本理念1地域内分権と住民自治を確立し「参加と協働・交流」の区政を推進するための拠点としての庁舎基本理念2みどりに恵まれ、歴史にはぐくまれた空間の広がりの中で環境と調和し、環境性能が高く災害に強い庁舎基本理念3都内最大の人口を有する身近な基礎自治体として自治権を拡充するとともに、主体的で独自性のある政策展開を支える庁舎ぜひ、これらの理念が具現された新しい庁舎一帯ができますように。</p>	
	<p>9月8日「せたがや」特集号に基づいて記します。2基本方針には全面的に賛成です。50年以上も持たせねばなりませんので耐久性や社会の進歩、AIの進歩に対応でき、また維持費の節約につながるようにしてほしいと思います。他の市や区の先進的庁舎を参考にして、良い所を採り入れて、世田谷区の本庁舎が他の区の庁舎の基準（スタンダード）やモデルになるよう目ざしてほしいと思います。</p>	
	<p>40～50年先を見越しての建物にしてほしいです。</p>	

分類	意見・提案等	区の考え方
	<p>これまでの経験、他区の事例や地方債基準を引いて設計条件を設定するような基本構想ではなく、世田谷区に即して根本から考え直し、高い理想を掲げて、将来に向けた工夫やアイデアに満ちた「世田谷方式」とよべるような提案を示して、再度パブリックコメントを実施していただきたい。この素案は、熟度が不十分である。これを受けて基本構想 基本設計へと進めることに賛成できない。(下記5参照) - 「本庁舎等の配置や構成、規模、事業手法により、事業費は大きく変動する」(素案 p46)とは、財政規律に対する認識が足りないのではないか。この状態で、プロポーザルを求めるのは無責任であり、審査段階で混乱を招くおそれがある。床面積についても素案に示す数字だけ与えて「設計段階で精査(素案 p34)」する前提でプロポーザルを求めるのは、応募者に過度の負担となり、優れた提案に結びつかないおそれがある。 - 「基本理念を実現するための踏まえるべき視点」(素案 p13)中、特に(3)これからの基礎自治体のあり方と本庁舎(4)これからの区民サービスのあり方と本庁舎について、素案には記述が見られない。庁舎整備は、広義の行政改革とセットで進めるべきで、上記の「これからのあり方」を十分検討し示していただきたい。</p>	<p>現在策定を進めております「本庁舎等整備基本構想」は、新しい本庁舎に求められる機能や規模など設計者が設計するための諸条件の大枠を示したものであります。執務環境の整備にあたっては、職員の働き方改革に取組み、機能的・効率的で柔軟性の高い庁舎を目指すこととし、本庁舎等を整備してまいります。</p>
全般	<p>区役所という、ほかに類をみない複雑で膨大な事業体についての理解を得るための情報を提供すべきである。-扱う領域(区民生活、都市整備政策、その他)の広さ、職種(窓口、現場、事務職、技術職、その他)の多様さ、接する相手や庁舎ユーザーの数の多さ・多様さ、財源(事業体の運営資金)の特殊性、意思決定における制約条件、行政と議会の関係その他を整理して示していただきたい。この情報は、区民が区役所を理解した上で、区庁舎整備についての意見等を述べ、それらの意見等を十分反映させる(素案 p46)ために必要である。また、プロポーザルの要綱に添付することによって、応募者の理解を助けるためにも役立つ。</p>	<p>本庁舎等整備の事業を進めるためには、区民の理解が不可欠であり、今後も、区民参加の仕組みを取り入れながら、長期的に期待される性能を発揮できる庁舎を整備してまいります。</p>
	<p>2 基本の方針 1～5 の項目にはいろいろ述べられてあります。しかし、現行と比べてどのような機能が維持、付加、削除されるか利用者から見た根本的説明が不足していると思います。安全安心が最重要であることは当然ですが、日頃標榜してきた文化都市世田谷区は削除ですか。北沢、成城の改築後のホールの使いにくさ、音の悪さを見てきていると、今回の改築でも文化都市世田谷区に関する記事は無く削除されているのだからと心配です。文化都市世田谷区の名に恥じない、見ばえだけでなく誇りになる改築となることを願っております。</p>	

分類	意見・提案等	区の考え方
機能（2件）		
全般	<p>また水素活用設備など発展途上中の先進システムは本格的な実用化が始まるまで準備工事に留めるか、メーカーと協力して実証施設として安価に導入する。免震構造やBCP対応、CGSや最新型照明・空調もイニシャルコストよりランニングコストを重視して導入すべき。区役所から駒沢公園通りと世田谷通りへの道路を拡張し、震災時に沿道建物が倒壊しても車線を確保できるようにすべき。高齢者向けの施設は法律で定められた最低限のものとし、子育て支援施設や共働き家庭の小学生が放課後に集まれる施設も充実させて欲しい。障害者生製品の物品販売は独自店舗を設けず売店の一部にコーナーを設け、販売コスト削減を図るべき（区税の有効活用と障害者側への利益配分を増やすため）サイン類は日本語（漢字）を大きく書き、英語とひらがなを添えるような形で書き、大多数の人に見やすいようにすべき。（それ以外の外国語も併記するとごちゃごちゃして見づらい。JR東海のサイン類は見やすいと思う）日本語や英語を理解できない外国人へはピクトグラムやICTの活用で対応すべき。</p>	<p>区民の安全・安心を支える防災拠点としての庁舎、誰もが利用しやすい庁舎、そして環境負荷の少ない持続可能な庁舎等5つの基本的方針に沿い、また、ライフサイクルコストの低減に向けて、本庁舎等を整備してまいります。今後、これらの方針をもとに、設計を進める中で、具体的な施設内容・設備等について、検討してまいります。</p>
全般	<p>セキュリティ対策については、海外の事例も参考にすべき。-SNSの活用等により各地の市庁舎の事例を収集すればよい。</p>	<p>個人情報の漏洩や不正アクセスに対する情報セキュリティについては、引き続き、総務省が示す自治体情報セキュリティ対策の抜本的強化モデルに準拠した対策を実施してまいります。また、庁舎内のゾーニングを明確化し、それぞれのエリアに応じたセキュリティ対策を講じていきます。</p>
区民交流（4件）		
全般	<p>区民交流スペースは他にいくらかにもある。バリアフリー、耐震の工事などだけすればよい。</p> <p>・「区民自治と協働交流の拠点」は必ずしもこの場所に集約する必要はない。支所等のより地域住民に近い場所の方がよい。</p> <p>一方にかたよることなく、区民全てに総合的に喜ばれる、使いやすい場所にして頂けることを願っています。区民が集まりやすい場所が欲しいです。</p> <p>交流等の場所の提供は反対（但し障害者は除く）特定の人しか利用しない。特定の団体のあらゆる利用廃除。（但し障害者は除く）</p>	<p>区内においては、町会・自治会やNPO、自主活動グループなど、区民による主体的な活動が区内の様々な場所で展開しております。本庁舎、総合支所、出張所・まちづくりセンターの三層構造も踏まえ、こうした多くの区民団体の情報共有、交流、そして区政への参画の場として、本庁舎等の整備を進めてまいります。</p>

分類	意見・提案等	区の考え方
災害対策（２８件）		
全般	災害対策の拠点として可能な限り対応	本庁舎には、災害時に世田谷区地域防災計画に基づき、災害時の司令塔となる災害対策本部が設置されます。災害対策本部として、区の災害対策の中核管理機能を果たすための必要な機能を備えた、災害に強い庁舎を目指し、本庁舎等を整備してまいります。
	耐震優先	
	５０年、１００年後を見据えた本庁舎等整備を執行して下さい。最優先は「安全・安心」であると思う。先日の熊本地震の時の宇佐市役所の状況を考えると、防災拠点となる機能を充実させる必要がある。人口１００万人を想定した世田谷区の安全対策を真剣に考えるべきである。	
	災害時の利用にも役立つものにしてほしい	
	東京でも災害は予想されます。地震、洪水、災害などの対策、又避難者のための避難所の確保は大事です。災害防災の観点から機能の充実は大事です。区民が住み良い町づくりをお願いします。	
	本庁舎は災害時には対策の中心機能なので避難広場は必要ない。反面、指揮命令を出せる高所司令塔のような機能を持つべき。	
	耐震性や安全性（防犯）の面には、特に注意していただきたいと思います。	
設備	新庁舎の設計にあたっては、高い耐震性のみならず災害時に十分に機能するには電気設備（自家発電設備を含む）が守られることが大切です。最近では想定外の事態、特に水害はどこで発生するか判りません。もし、電気設備が地下に設置された場合、水害から守る設備を設計計画に加えるべきだと思います。例えば地下室への防水扉の設置等。以上	非常時の電源については、７２時間以上連続運転可能な非常用発電設備や、自然エネルギー、コージェネレーションシステム、水素燃料電池などにより電源を多重化し、業務の継続能力を高めてまいります。電気設備の設置場所についても、いただいたご意見も参考にしながら、今後、検討してまいります。
	・自家発電できるようになっていた方がよい	
設備	案P19ウ行政機能の継続性の確保の記述中、「電源を多重化し」対応することとなっています。当然対応することなので記述していないことかもしれませんが、「執務室や駐車場に、自然換気システム（外壁に開閉可能な窓、地下駐車場は、ドライエリアを設置し、電力を必要とする機械換気に依存しない工夫）を記述してはどうでしょうか。	自然通風などの自然エネルギーを極力活用することとしており、今後、設計を進める中で、具体的な施設内容・設備等について、検討してまいります。
	災害時に有効に使えるスペースを確保してほしい。食料・トイレ・シャワー等他地区の自治体に負けない設備を作って欲しい。	本庁舎は、災害時に、災害対策本部として、区の災害対策の中核管理機能を果たすための必要な機能を備えていなければなりません。今後、災害時に必要な諸室、設備等については、世田谷区地域防災計画との整合性、必要な規模、財政面などを考慮し、検討してまいります。

分類	意見・提案等	区の考え方
設備	<p>災害時や緊急時にヘリポートは今時必要ではないかと感じています。（陸の孤島になったらヘリしかありません）できれば自衛隊のCH47ぐらいが離発着できるようにお願いいたします。（荷物の出し入れができるようなスペース）</p>	同上
	<p>また、防災の名のもとにヘリポートを！には反対します。</p>	
	<p>庁舎整備において2つほど要望がございます。まず、1つは、世田谷区が出資し、災害時には臨時災害放送局になるエフエム世田谷のスタジオ、送信所、送信アンテナの新庁舎への設置です。ご存知のとおり災害時にはローカルの情報伝達として重要な役割を果たすのは、コミュニティFM局が母体になる臨時災害放送局です。送信所(アンテナも)(以下送信所と表記)は現在区のはずれの用賀にあります。指向性アンテナの影響もあって現住所ではサービスエリアとは言えません。送信所はサービスエリアの中心付近で高さを有する場所がベストです。また、災害本部に近いところにあることが有効なのも言うまでもありません。臨時災害局においては、300W位の実績はあるようですが、送信所の場所と送信アンテナの高さ(アンテナの高さは送信出力増強と同様な実行出力アップの効果があります)は災害時に急な変更はむずかしく平静時から確保しておくのがいいことは言うまでもありません。是非、新庁舎に災害時に臨時災害放送局になるエフエム世田谷の送信所を設置していただきたいと思えます。また、サービスエリアを広くすることで区内のリスナーを増やし災害時にも対応しやすくすることも被災時には有効です。まずは、新庁舎への送信所の設置と高さがある送信アンテナの確保をお願いいたします。</p> <p>2つ目は、新庁舎にも設置するであろう災害備蓄倉庫を2階以上の場所への設置です。地階や1階での設置では水害での被災時に役に立たないものになってしまいます。これは、新庁舎だけでなく他の災害備蓄倉庫においても言えることです。以上2点です。</p>	
<p>また災害の備蓄品も簡易ベットなど足の悪い人用もお願いしたいです。世田谷区役所が全区民が利用しやすい環境、利用出来るようにして欲しいです。</p>		
場所・動線	<p>防災拠点の立地として適切か十分検討すべき。区役所周辺地区は、東京都の「防災都市づくり推進計画」で「重点整備地域」（震災時に大きな被害が想定されるため、早急に防災性の向上を図る地区）に指定されている密集市街地である。周辺の木造密集地に火災が広がり、幹線道路からアクセスできなくなるおそれがある。そもそも災害時に幹線道路が車で埋まり、火の帯となり、車の撤去ができず、機能不全になることなども想定される。それらをふまえて、拠点のあり方や立地を十分検討すべきである。</p>	<p>本庁舎周辺においては、区役所西側の補助154号線も開通し、周辺の道路環境も改善され、さらに、東京都が進める「木密地域不燃化10年プロジェクト」として、不燃化の促進や補助52号線の整備にも取り組んでいます。また、災害時に、本庁舎が孤立した要塞とならないように、特定緊急輸送道路などとの関係性を踏まえ、周辺とのネットワークや周辺の街づくりも視野に入れた整備を進めてまいります。</p>

分類	意見・提案等	区の考え方
場所・動線	<p>基本構想を公開して下さり有り難うございました。この段階での「本庁舎等の規模の数値」や「イメージ図」では現在の地図上での大きさや広さが想像出来ませんが、1点だけはっきり出来ます。それは世田谷通りからの「特定緊急輸送道路」上には世田谷線が横切ります。今後はこの場合の災害時の人と物資の流れの素案も追加されることを楽しみに待っております。</p>	<p>同上</p>
	<p>本庁舎は狭く奥まった場所に位置し、本所周辺は木密地域に指定されています。防災上は大きな道路に面した場所が良く、今の本所は幹部が参集不能な場所と思います。又、各職員の参集場所は保育園中心とし、小さな命を守って欲しい。</p>	<p>本庁舎周辺においては、区役所西側の補助154号線も開通し、周辺の道路環境も改善され、さらに、東京都が進める「木密地域不燃化10年プロジェクト」として、不燃化の促進や補助52号線の整備にも取り組んでいます。災害対策本部は、本部長、副本部長を中心とした災対各部と5つの総合支所に設置する災対地域本部、27まちづくりセンターに設置する拠点隊で構成されます。区職員の参集場所については、非常配備体制として事前に指定しており、災害時には全庁をあげて応急対策の業務を行ってまいります。</p>
	<p>【東京都地域防災計画に定める輸送拠点】「東京都地域防災計画では、京浜トラックターミナルからまず、第一順位の国土館大学で態勢を整えて拠点を運営し、物資の集積状況や態勢によって第二順位の大蔵第二運動場を開設していく。」この防災計画を見直し、本庁舎と広場は災害対策本部機能に純化して、防災用の倉庫、集積場所等の面積は（素案）から除外すべきです。靖国通りに面している新宿区役所には物資の集積場所はありません。千代田区役所、杉並区役所、豊島区役所等の事例を参照して下さい。</p>	<p>本庁舎には、災害時に世田谷区地域防災計画に基づき、災害時の司令塔となる災害対策本部が設置されます。また、区役所に避難してきた区民を広域避難場所である隣接した国土館大学に案内するためにも、一定の一時の滞留所が必要であり、広場機能は、非常に重要であります。一方、物資集積については、世田谷区民会館は、世田谷地域（5地域のうちの1つ）の災害時における食料等の調達物資の集積地及び配送拠点となっており、ここから遅滞なく、地域の避難所に物資等を搬送していきます。災害時に求められるこのような機能が十分発揮できるよう、今後整備を進めてまいります。</p>
	<p>都市環境デザインのモデル地区について本庁舎付近の近隣地区を無電柱化、高齢者でも歩きやすい歩道、歩道橋の廃止、世田谷線の踏切の地震対策など世田谷区の都市環境デザインのモデル地区の一環として、検討すべきだと思います。特に庁舎への非常時物資搬入経路の無電柱化は、必須であると思います。</p>	<p>区では、本庁舎周辺の補助154号線や区役所北側道路の電線類の地中化を進めたところです。今後も、災害時に、本庁舎が孤立した要塞とならないように、特定緊急輸送道路などとの関係を踏まえ、周辺とのネットワークや周辺の街づくりも視野に入れた整備を進めてまいります。</p>
分散	<p>3の本庁舎敷地外の本庁機能を集約するとあるが防災にはむしろ分散するほうが有効。ITビルでは停電の時に動かない。アナログな部分こそ、非常時に人間の力で動けるレベルの空間が確保される。</p>	<p>災害対策本部については、本部長、副本部長を中心とした災対各部と5つの総合支所に設置する災対地域本部、27まちづくりセンターに設置する拠点隊で構成されます。災害時には、総合支所、まちづくりセンターと連携を図り、防災関係機関及び区民等の協力を得て、災害応急対策に努めることとしています。</p>

分類	意見・提案等	区の考え方
分散	本庁舎だけ頑丈で立派になっても広い世田谷区を守りきれずまい。自衛隊等と連携して各地に防災拠点施設を分散整備するよう希望します。	同上
	建物は大きくしないで、防災面は総合支所を基点にコンピューターなどで連絡を密に対応出来ればよい。 災害時には支所が頼りです。災害時に登庁出来る職員は何名いるでしょうか？防災用品のカギをもっている職員がいます。建物が立派でも内容が問題です。災害時に職員の方は住民に土曜に補助をして下さるのですか？防災拠点としては本部は確かに必要ですが、実際に90万人近い区民が頼りにしているのは5支所です。	災害への対応として、災対各部がどのような業務を継続するかを決めている「業務継続計画」において、職務及び区職員の参集人数を決め、人数の確保に取り組んでおります。災害時には、総合支所、まちづくりセンターと連携を図り、防災関係機関及び区民等の協力を得て、災害応急対策に努めていきます。
その他	職員は世田谷区民を優先して雇用することで災害時対応が出来る！川向こうは必要なし！	災害への対応として、災対各部がどのような業務を継続するかを決めている「業務継続計画」において、職務及び区職員の参集人数を決め、人数の確保に取り組んでおります。災害時には、総合支所、まちづくりセンターと連携を図り、防災関係機関及び区民等の協力を得て、災害応急対策に努めていきます。
	災害時の他区との連携は私は三鷹杉並の境界です。	23区とは災害時相互協力・支援協定を、また隣接区市とは災害時応援協定を締結しており、応急対策全般や職員派遣等について相互に救援協力することになっております。
	27まちづくりセンターの災害時の役割の詳細が知りたいです。期待しています。	27まちづくりセンターについては、災害時に拠点隊として、医療救護所の支援、地区に開設される避難所の支援、災害状況の情報収集などの事務を担うことになります。
	予想されている首都直下型地震等の災害対策救助、防火、水、現金、医療の日頃からの区民への教育、平常時から近隣住民の親しみをお互いに持つ様にする運動をして、人とのあいさつ、おはよう、こんばんは、御苦労さん、先ずありがとうの声かけ運動をして下さい。私は以前から親から教えられていたのでごく自然に、声かけてあいさつして来ましたが近隣の人は返事もしませんし、全く無視でスマホしながら無言で去って行きます。万一の時もこれではいくら自治会で運動しても隣り近所の家でも 様なこと知りません。淋しい限りですね。	今後の区事業の改善への参考とさせていただきます。
区民利用（31件）		
全般	事務処理だけで区役所にいくのではなく、屋上庭園などで休みながらすみよい世田谷をながめたいです。	基本的方針1で掲げた「区民自治と協働・交流の拠点としての庁舎」を目指し、区民に親しまれる庁舎を目指してまいります。なお、具体的な区民の利用スペース等の内容については、いただいたご意見も参考にしながら、必要な規模、コストなどを考慮し、今後、詳細を検討してまいります。

分類	意見・提案等	区の考え方
全般	<p>夕方になったら、なぜか、世田谷区本庁に出かけたくなるような場所を、創って欲しいものです。桜、紅葉、蛍、小さな池、川など、子供が裸足で入れる場所を考えてください。何分、宜しく願い申し上げます。</p>	同上
	<p>区庁舎の建てかえはやむをえないと思います。しかし世田谷区は広く、本庁舎はむしろ不便なところにあります。むしろ、これからは総合支所の機能を充実させ、本庁舎とはコンピューターによって統合をはかり、どうにも本庁舎でなければならないものだけを残した方がよいと思います。そして区民会館やその他区民が利用できる施設を充実させ、文化の中心として、親しみのもてる区役所であって欲しいと思います。410億円は大金です。今やらなければならないことが多くあると思います。順序を考えて熟慮してやって欲しいです。</p>	
	<p>つくり方とともに、使い方を十分検討してほしい。たとえば、現区民会館のロビースペースなども、区民のための、もっと生き生きした魅力的な居場所になり得る。そのためには、柔軟な区民参加の管理運営が必要と考える。</p>	<p>区民会館における施設の位置づけ機能などの検討も踏まえ、より魅力的な場所となるよう適切な管理運営方法を選択していきます。</p>
	<p>デザイン性優先にしないで下さい。暗くて分かりにくいのが今迄の印象です。入り口案内板や、廊下の誘導線等各庁舎が何を扱っているのか？外からも分かるようにして下さい。</p> <p>洋式トイレ増やしてください。</p>	<p>基本の方針3で掲げた「すべての人に分かりやすく、利用しやすい、人にやさしい庁舎」を目指し、ユニバーサルデザインの考え方に基づき、利用しやすい移動空間や設備の整備を進めてまいります。</p>
UD等	<p>整備についておおむね賛成です。重症心身障害児を連れて来庁した際に、ユニバーサルトイレの少なさやオムツ交換シートが設置されておらず不便に思いました。医療的ケアも要するため、授乳スペース（洗浄シンク）や休憩ソファが充実すると子連れの方にも喜ばれると思います。</p>	<p>基本の方針3で掲げた「すべての人に分かりやすく、利用しやすい、人にやさしい庁舎」を目指し、ユニバーサルデザインの考え方に基づき、利用しやすい移動空間や設備の整備を進めてまいります。</p>
	<p>高齢化に対応したバリアフリーは当然の事とし更に解り易い様々な表示あるいは機械化を図る際にはかんたんな操作で行政サービスが十分に受けられる高齢者が安心して使いこなせる庁舎作りには是非取り組んでほしい。</p>	
	<p>本庁舎等整備計画、とても楽しみにしています。安全で使いやすい庁舎となるようお願いします。「豊島区役所新庁舎」を先日見に行ってきました。いままで別々だった各種行政が一つにまとまり、一ヶ所で手続きでき利用者としても、とても便利だと思いました。災害時の対策もすばしかったです。高齢化が進みますますバリアフリー化が求められます。車イスや、体の不自由な方が来庁された時の車寄せ（雨にぬれない）、スペース確保等都内でもお手本となるプラン期待します。</p>	
	<p>窓口機能、バリアフリー働きやすさ重視</p> <p>高齢者・障害者に配慮したものであること</p>	

分類	意見・提案等	区の考え方
UD等	<ul style="list-style-type: none"> ・UD：2020年のパラリンピック、そして高齢化社会を念頭に完全なユニバーサルデザインを実現してほしいです。全ての人々が幸せに暮らせるような区なんだということがメッセージとして伝わると思います。外国人の住民への配慮もぜひお願いしたいです。 	同上
	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー化で働く職員、利用する区民にとって使い勝手のよいものを 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・私もたびたび区役所をおとずれます。建設より約60年が経っており、個所個所に老朽が目立ちます。区民会館でたびたび、シンポジウムなどで伺います。私、障害を患っており、例えばトイレの利用の際など距離が遠く、又、段差などがあり大変苦労をしました。障害者、高齢者も参加しやすいバリアフリー化はぜひ望みたいです。建物全体の予算もあるでしょう。どうか知恵を絞って下さい。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・通路階段、搬入搬出口などの動線は大きく設計し、障害者への配慮とともに緊急時の使用に支障ないように（例えばトラックごと館内に入るような） 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者も使いやすく、エスカレーターを多くしてほしい。エレベーターより開放感があって安心だと思います。 	
窓口	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的方針3についてのお願い9月に母の転出（練馬区）、転入（世田谷区）の届けを玉川支所で致しました。代理のため、委任状を提出しての手续でした。練馬区は総合委任状で内容もシンプルで本籍地の記載も不要でした。新庁舎にはぜひ窓口の総合サービス化をお願いします。各種委任状も総合化し、同日であれば、1通で手続が終了するように対応していただきたいと要望致します。対応時は双方が腰かけて話せるカウンターにしてください。職員の方の対応は親切でした。新庁舎には各部署への動線をわかりやすく表示していただくと助かります。又、幼児をつれて来る方々の為に気兼ねなく待てるように狭くていいですからプレイコーナーを設けてはどうでしょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的方針3で掲げた「すべての人に分かりやすく、利用しやすい、人にやさしい庁舎」を目指し、総合案内を設けるなど窓口機能等の充実を図ってまいります。
	<ul style="list-style-type: none"> ・各階ごとに分かりやすく窓口をつくってほしい 	
施設	<ul style="list-style-type: none"> ・区民センターやデイホーム等で現在コーラスに入ってますがピアノ等に設置してある設備はなかなか無く、教室確保が大変です。又、世田谷祭で合同で練習する施設も難しい状態です。是非新庁舎にはその様な施設を作って欲しいです。又、陶芸作品の展示室等もありましたら気軽に用事の時にのぞいてみたいと思います。事務的や会議のみの庁舎では無く、開けたそして楽しみな気持ちで足を向けられるそんな設備を希みます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・世田谷区民会館の整備方針では、公演の練習やりハーサルを行えるよう、音楽、ダンス、演劇などそれぞれの目的にあった機能を備えるとともに、楽屋、展示、懇親会会場など、様々な用途に活用できる練習室を整備することとしております。今後、これらの方針をもとに、設計を進める中で、具体的な施設内容・設備等について、検討してまいります。

分類	意見・提案等	区の考え方
施設	<p>文化の発信として、朝日カルチャーセンター（新宿）のしくみのようなホールやカルチャーセンターを作ってほしいです。（三茶のキャロットタワーに小さいのはありますが、小さすぎます。）下高井戸にあるような演劇に転用できるホールを作ってください。両方とも文化です。区民が喜ぶます。</p>	同上
	<p>・ふき抜けの大きな広場そこにカフェ・何部屋もある区民が利用できる会議室・図書館・高層ビル（最上階の開放）・子供を預けられる保育所・車イスの老人がいけるバリアフリー・プラネタリウム 子供・げきじょう（演げき+映画）・区民が利用できる多様な食堂・外国の人（政治・文化）を入れられる部屋・備蓄（震災用）</p>	
	<p>ぜひ音楽室を作って頂きたいと思います。宜しくお願い致します。</p>	
	<p>教室で20数年コーラスに励んで居りますがここ数年、お教室取りが大変です。地区にあるピアノ付き教室が少いからです。60才70才80才台の約380人位が週一回程度ですが、健康と音楽を楽しむために頑張っています。実際皆様元気で笑顔で友達仲良く一人暮らしの方々は助け合いながら老後を送っています。音楽は大切です。先生はご家庭に不幸があってもご自身が怪我をされてもお教室をお休みされることなく、我々老人の為尽力、ご活躍下さっていますが、只、お教室が取れない時があります。この際、是非音楽室を本庁舎の中に2、3作って戴きたく心からお願いいたします。地区で取れないときのピンチヒッターです。今はカラオケ店等使っていますが、年金暮らしで負担になる方もいらっしゃいます。以上、ご考慮お願いいたします。</p>	
	<p>区民が安心して利用できるレストラン・喫茶などを設けること。公募が必須条件</p>	
	<p>・食べられるお店を複数入れてほしい（近くにお店がなくて困る）</p>	
	<p>区民がもっと使用できるスペースを確保して（区民センター、地区会館がなかなか確保できない）</p>	
	<p>区民が気軽に集えて、ランチ（もち込み）etcを食べれる空間（イス・テーブル）があると嬉しいです。娘が港区にいたので、田町にある港区の総合施設を良く利用します。あの様なステキな施設が世田谷区に出来たら嬉しいと思います！ご検討の程宜しくお願い致します。</p>	
	<p>食堂はわかりやすく、利用しやすくできれば昼食時の行列がないようにお願いします。</p>	
<p>食堂のは皆おいしいです。</p>		

分類	意見・提案等	区の考え方
施設	書類手続きの間、子供を見てもらえる仕組みがあると良い。	誰もが利用しやすいよう手続きにこられた際の待合い空間の充実を図り、子ども連れの方も安心して利用できるように、キッズスペースや授乳室などを設置することとしております。今後、これらの方針をもとに、設計を進める中で、具体的な施設内容・設備等について、検討してまいります。
	子供達が（特に年少、幼児）遊べるコーナーでなく、フロアーの広い階を開放、災害時にも幼児達が遊び、寝たりできる様、一年中楽しく開放してほしい。北沢タウンホールは機能性がありません。大人はがまんできて子供達は理解できないと思います。	
施設（15件）		
全般	高層化した他区の庁舎みたいな構想はやめて欲しい。重量感ある利用しやすい空間、障害者・高齢者が来て良かったと言える開放感ある庁舎にして欲しい。全ての階に続く道はバリアフリー及びスロープ、エレベーターを大きくする事。地下には災害用の備品が収納できる様に、さらに医療施設も備えて欲しい。	具体的な施設計画につきましては、いただいたご意見も参考にしながら、今後、検討してまいります。
	第二庁舎、区民会館はこわす。建物は1つにする。第一庁舎区民会館の土地の真ん中に地下一階、地上七階建てにする。1階～5階迄を区役所業務に使用、七階に区民ホール（大・小）二つに分ける。現在の第2庁舎は防災関係と待機児童館、六階は全国名産店を置く。	
保育園等	保育所を庁舎内に造ったらいと思います。豊島区もそのようにして待機児童を減らす努力をすると聞きました。世田谷区の待機児童数は都内でもワースト3に入るような数だったように思います。将来のために少しでも改善していけるような方法を考える必要があると思います。よろしくお願い致します。	本庁舎近隣の施設需要の中で、保育施設は、若林小学校の新校舎に世田谷保育園、代田保育園の統合園が整備されるほか、世田谷保育園の跡地に私立認可保育園が整備予定であり、エリアの保育需要に対して必要な施設整備が計画されています。一方、高齢者施設は、小規模多機能型居宅介護支援など、一部未整備の施設があるが、民設民営で整備することが基本であり、複合化して本庁舎と一体の建物にするのではなく、本庁舎周辺の公共施設跡地を活用する方向で検討を進めています。 なお、本庁舎等については、限られた敷地の中で区民交流や災害対策機能などを整備する必要があり、他の機能との一体的な整備は難しいと考えております。
	世田谷区の待機児童数（保育園入園）日本一とのこと第1種住宅地（住民反対）に建設となりふりかまわずの計画中です。本庁舎の敷地に保育園建設も可能ではないでしょうか？区民のための庁舎ですから住民に迷惑がおよぶことは少ないと思います。広い区有地なので、その一部に目のとどく区立保育園をと思います。そして高齢化社会のための施設も考えて欲しいです。よろしく申し上げます。	
	本庁舎の建て替えにあたっては、公共施設整備方針に則り施設の複合化、特に高齢者施設や保育施設、障害者施設等を併設すべきです。	
	お金も多額かかるとすれば豊島区でやったように上層部にマンションを併設するとか待機児童が多いのですから幼稚園等を併設すればよろしいと思います。現在、保育園や幼稚園造成で地元民と対立していますが、本庁舎の中でしたら反対も出ないと思います。	
少子高齢化が一層進行するため、高齢者福祉施設（介護、慰労施設）、幼少時保育施設（幼稚園、保育園）を内包又は近接別棟で併設する。		

分類	意見・提案等	区の考え方
保育園等	<p>保育施設、老人施設の併設を望む。</p> <p>待機児童対応として庁舎内の保育所も設けてはどうでしょうか。お金をかけるだけでなく区民や区内学校等からの協力や参加で低コストで身近な計画となれば良いと思います。</p> <p>せつかく新築なら中に保育、幼稚園までを作っていただきたい。</p> <p>保育所を思い切った規模で設ける</p> <p>現庁舎基本計画に1F追加し、1Fに保育園、高齢者特養ホームを設置すれば用地不足の解消にもなる。また、屋上は低木、芝等で地球温暖化防止に役立つと思われる。役所が率先し都民、区民のために積極的な姿勢を示すことも、区民のためにも大いに効果的に役立つと思慮する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の方のお子さんが預けられる保育所を入れてもらいたい ・できればデイサービスなど老人施設も入れてほしい <p>保育所を作って下さい。職員の方達用は勿論、近隣企業又は近所の方々も利用できる保育所希望します。 幼児から老人まで利用できる施設(武道場 etc)誰でも、どの団体でも借りれる施設</p> <p>本庁舎の1階に保育園と小児科が入居できるようにすると思う。また本庁舎の1F(でなくとも良いが)成人習慣病の発病を抑止できるよう、考えて欲しい</p>	同上
執務環境(5件)		
全般	<p>最大のユーザーである区職員は、仕事のし方やスペースのあり方をどう考えているのかが示されるべきである。</p> <p>案P24ア執務空間の整備の4つ目「執務室の机や椅子・配置を統一化し」は、あとで述べる面積にも関係することですが、「業務内容により可能な執務室の」に記述を追加する。理由は、経費の節減です。できるだけ既設の備品を使用する。一律的に行えば経費増となると考えます。○案P28(2)ア二つ目の記述に「特注品は使用せず、汎用品の使用、高価な電器機器類の未使用」などもう少し具体的に記述してはどうでしょうか。</p>	<p>執務環境の整備にあたっては、職員の働き方改革に取り組み、機能的・効率的で柔軟性の高いものとしていきます。職員の動線を短く、部署間の連携を考慮した配置、各課のコミュニケーションを図りやすくする、各課の働き方の特徴に合うレイアウトにするなど、職員の意見を聴きながら、様々な観点から検討してまいります。また、その際、費用は最小となるよう努めてまいります。</p>
執務環境	<p>職員の職場環境を働きやすいものにし、地震等から安心できるようにする。</p>	<p>職員が、効率的・効果的に業務が行えるよう、職員の動線を短く、部署間の連携を考慮した配置、各課の働き方の特徴に合うレイアウトにするなど、様々な観点から検討してまいります。</p>

分類	意見・提案等	区の考え方	
執務環境	職員が働き安いと思える環境でなければならない。狭い間取りはダメ	同上	
	職員の働きやすい環境		
議会（４件）			
全般	（議会機能部分の縮小を）	具体的な議会機能等については、今後、区議会地方分権・本庁舎整備対策等特別委員会等の議論を踏まえ、検討してまいります。	
	・議会機能3400㎡は広すぎて無駄。例えば区民ホールに小ホールを作り、議会開催中はこれを議場とし、会期以外は大ホール同様講演に供するなど柔軟な発想を。		
	議会機能についての区民を入れた検討会及びパブリックコメントを別途行うべきである。基本構想検討委員会では、委員会室や控室など具体的な内容・規模が区議会側からのペーパーそのまま議論せずに素案になっている。議員が第三者のチェックなしで自分たちの職場環境を考えると無駄な設備が増大する可能性がある。夜9時まで開館している世田谷図書館および国士館大学図書館との連携なども考えた機能性の高いものを設置しなければ、ただの天下り先となりかねない。よって、世田谷区議会が将来どういう議会であるべきかを含め、議会機能について別途、パブリックコメントと検討会を設けるべきである。	具体的な議会機能等については、今後、区議会地方分権・本庁舎整備対策等特別委員会等の議論を踏まえ、検討してまいります。 議会機能に限らず、今後も、それぞれの段階で、区民等のご意見を伺ってまいります。	
	・議会機能についての以下ほかの調査実施と第三者によるチェック ア．会議スペースの稼働率及び議会専用としない会議スペースの実現可能性 イ．議会や委員会の夜間・休日開催の可能性 ウ．傍聴者数の制限実態と傍聴者数設定のあり方なお、議会機能については、「今後、区議会地方分権・本庁舎整備対策等特別委員会等の議論を踏まえ、具体的に決定していく。」（素案 p35）としているが、何らかの第三者によるチェックのしくみを考えるべきである。		
環境（16件）			
全般	「自然の恵みの積極的利用とエネルギーの有効活用」に賛成。策をより具体的に示していただきたい。太陽光、風力だけでなく、庁舎内の高低差を活用した小水力発電の検討など、幅広いエネルギー源を確保していただきたい。		環境と調和し環境負荷の少ない持続可能な庁舎を目指し、今後の環境分野の技術開発の動向等を注視しつつ、設計を進める中で、具体的な施設内容・設備等について、検討してまいります。

分類	意見・提案等	区の考え方
	<p>今回の世田谷区本庁舎建て替えに際してR水素マシンの設置をお願いしたいです。全ての電源をオフグリッドでまかなうのはとても大変だと思いますが一部であれば、可能だと思います。</p> <p>水素と言っても世間一般にある水素発電ですと化石燃料由来の水素ですから、あまり設置する意味は有りませんが再生可能エネルギーから取り出した水素ならばエコでクリーンなエネルギー循環が生まれるため、とても良いと思います。詳しくはのURLで見ることができます。環境問題の最先端に行く世田谷区では是非とも実現していただきたいです。よろしくお願いたします。http://rh2.org</p>	同上
	環境負荷の少ない庁舎と電源の確保	
	・環境配慮：脱消費社会、環境に優しく（リサイクル素材、再エネ活用 etc）長寿的な施設を希望します。	環境負荷低減策を可能な限り導入し、環境にやさしい庁舎を目指します。また、維持管理に優れた構造・材料の採用など、維持管理のしやすさ、維持管理費用の抑制にも配慮し、長期的に期待される性能を発揮できる経済性に優れた庁舎としてまいります。
	できるだけ体に害の無い素材を使って欲しい。シックハウスに敏感な人もいますので。	化学物質による影響を抑制し、シックハウスなどへの対策を講じることとします。
全般	<p>本庁舎等の整備にあたっては災害等に鑑み構造の本計計画は当然、専門職の方も検討していると思いますので、お任せいたします。しかし、表層材やメンテナンスをどのように計画するのか？をきちんと説明してほしいです。コストの検証を行って最終建築発注としていただきたいです。例えば免震構造や機械式駐車場とした場合は数十年後はそれぞれの設備を取り換え？そのときの莫大は費用はどうでしょうか？最新の設備を導入しましたが、メーカーの売れ行きが悪く数年後に撤退、メンテも部品も約10年で終了しすべての設備を入れ替える。（例：東京ガスのヒーツ設備等）最新のものの必要性と全体に及ぼす影響などを考える必要があります。セントラル式冷暖房から個別式に変更している分譲マンションは沢山あります。このように、建築しただけでなく、メンテナンスをどのように計画予定するか？通常分譲マンションでは、当然のように修繕計画の説明がデベロッパーよりあります。公共事業建築物にて、メンテナンスに対して詳細説明とうはなかなかありません。また、その計画に対して、それぞれの項目の決定にたいして、責任を取ったり、メンテナンスを実行することは他人事のようになっています。今回の豊洲問題でも責任ははっきりしないようですが、すべての決定（書面）に対して、責任者や部署を明記することが重要だと思います。打ち合わせ記録の決定事項の責任は 部部長 と明記することなど。次にメンテナンスにも関わりますが、外装をタイルや石張りですか？吹き付けタイル等でなぜいけないのでしょうか？豪華絢爛な建築物でなく、丈夫で長持ちメンテナンスのしやすさをきちんと理解・協議して区民へ説明をすることは大事なことと思います。またメンテナンス用の仮設の足場には単純にメンテ外必要金額として消えてしまう費用です。そういう費用をいかに安くするか、</p>	維持管理に優れた構造・材料の採用など、維持管理のしやすさ、維持管理費用の抑制にも配慮し、長期的に期待される性能を発揮できる経済性に優れた庁舎として、ライフサイクルコストの低減に向けて取り組むことを方針として、具体的に検討を進めてまいります。

分類	意見・提案等	区の考え方
	<p>最初から外部側からチェックできるようなデザインをするなど、工夫もできます。今後人口が増えるとは考えにくい少子化時代です。税金の利用の費用対効果を高めることは大事と思います。</p>	
みどり	<p>私は世田谷区に生まれ、育ち、生活して、約40余年間会社員等を務めて、現在は退職して世田谷区に住む者です。建築や行政の専門家ではありません。新庁舎の建設については、区民から様々な相反するような多数の意見が出てくることにより、ご苦労も多いものかと思います。私は、一般的に区民全体（私も含めて）の総意と考えられる共通意識をベースにして、区民誰もが好感を持って望むであろう内容の意見を申し上げたいと思います。区政に対する意識調査（9月15日付「区報」）に因りますと、区政取組みの内「世田谷みどり33」が一番高い評価（76.3%）を受けており、区の魅力については「自然、風景」が一番高い魅力的（53.0%）である、という結果となっています。こうした結果を受けてこそ、区は「生きものつながる世田谷プラン（素案）」を現在推進しているものと推察します。今回の本庁舎の建て替えにあたって、こうした区民全体の意識を反映してこそ、世田谷区民のための世田谷らしい本庁舎の整備が可能となるでしょう。具体的には、コンクリートやアスファルト部分は、工夫をこらして極力狭い範囲にとどめて、なるべく広くみどり（植物）や青（水辺）の部分（「みどり33」の部分）を確保して戴くことは区民の要望ではないでしょうか。また「みどり33」の部分は、薬品を散布した箱庭的なものではなく、皇居や明治神宮鎮守の森等のような自然の武蔵野のミ二原生林の復活であることが、環境面からより望ましいものであると思います。オオタカやホタル等の多様な生物が仮に戻って来なくとも、それを育めるような環境を整備する構想自体は意義があるものと考えます。こうした自然環境の涵養が世田谷区の本庁舎で実現できることこそが、人類の英知による発展と進歩であり、また何よりも世田谷区の先進性だと思います。また、当然ながら脱炭素社会に貢献するための、エネルギー循環型の諸施策についてもよろしく願います。</p> <p>区政100周年を待たず今から緑に囲まれた庁舎、緑一杯の「区」を実行せよ</p> <p>現庁舎基本計画に1F追加し、1Fに保育園、高齢者特養ホームを設置すれば用地不足の解消にもなる。また、屋上は低木、芝等で地球温暖化防止に役立つと思われる。役所が率先し都民、区民のために積極的な姿勢を示すことも、区民のためにも大いに効果的に役立つと思慮する。</p> <p>みどりは33%ではなくもっと多くすべきです。</p> <p>5環境と調和、これは大切なことで緑を守ってもらいたい。</p> <p>緑が少なくなりつつある時代の中で、庁舎が率先して、緑の創出を行っていかなくては必要と考えます。</p>	<p>「世田谷みどり33」の趣旨を踏まえた緑化を行うこととしており、積極的に緑化に取り組んでまいります。また、脱炭素の達成に向け、省エネルギー化を図るとともに、自然の恵みの積極的利用とエネルギーの有効活用を図ってまいります。</p>

分類	意見・提案等	区の考え方
みどり	緑化は地面だけでなく、区内全域の庁舎の屋上、壁面、側面を利用すれば効率的ではないでしょうか。本庁舎は是非実施して欲しいと思います。	同上
	広場に在る樹木（立派なケヤキ）はどうなるのですか	既存ケヤキの樹木医の調査を踏まえ、既存のケヤキのある風景は、既存樹木を保全活用しできるだけ継承していきます。
周辺環境	建物の高さに比例して、日照（日影）時間、風の向き強さ、（所謂）ビル風はどうなるのですか？（3D画像によるたとえば具体的なシミュレーションはないのですか？）	建物の高さや日影の影響、圧迫感、さらには施設に起因する風害、光害、騒音・振動、電波障害等の極力の防止を図るよう、周辺環境に十分配慮した計画とすることとしており、今後、配置計画を検討していく中で、具体的な検証をまいります。
	周囲の洪水を誘引する河川のチェックと対応	世田谷区役所敷地については、洪水予想区域にはなっておりません。（世田谷区洪水ハザードマップより）
区民会館（91件）		
全般	シニアのコーラス団体に入ってます。本庁舎のホールは階段がとても大変です。シニア向けのホールがほしいです。よろしくお願いします。	ユニバーサルデザインの考え方に基づき、運営者も観客もすべての人が利用しやすい施設としてまいります。
	区民会館も多勢の人の安全を確保できる利用しやすいものを望みます。大ホール1つでなく会議室や小ホールも区民が手軽に利用できれば良いと思います。デザインより使いやすくを優先して下さい。	安全を確保し、誰もが利用しやすい施設としてまいります。なお、区民会館ホールの規模については、800席から1,000席規模の多目的ホールを想定し、現在不足しているバックヤード機能やトイレ、バリアフリー機能の充実を図ります。
	今回の本庁建て直しを機に区民会館の設置場所を今の場所から移転して経堂駅北口駅前のスペースが最良と思います。駅から近く利便性が高く、区民も区民以外の団体も利用しやすい。ホールは1、2階（何階でも良いが）を使い、他の階はリハールサル室（練習室）をいくつかつくり、普段は区民の練習場に貸し出して欲しい。今あるお店は会館の中に入れてもらう等を考えて何とか実現して欲しい。予算的に大変だとしても50年60年先のことを考え、本庁と文化的活動の場を設けて区の発展を考えて欲しい。	本庁舎及び世田谷区民会館については、別の場所も含め検討してきましたが、現在地以外に望ましい場所を見出せなかったことや、本庁舎と全区的集会施設が同敷地内にあるという歴史的経緯等を踏まえ、現在地で整備することとしています。
	区民ホールなどはコンパクトにして多種多様な中小イベントが随時行なわれるものでかまわないと思います。いつものは大学利用で充分です。	世田谷区民会館ホールは世田谷地域の集会施設であるとともに、世田谷区の全区的集会機能も併せ持っており、現在の利用状況を踏まえ、800席から1,000席規模の多目的ホールを想定しています。

分類	意見・提案等	区の考え方
全般	<p>新しい時代の世田谷区民会館ホールについて近年、ライブコンサート市場は、急成長し、またホール不足も重なり、2000席程度のホールは、交通の利便性のよい場所であれば非常に需要が多いホールだと思います。しかし、この場所で1200席の劇場型ホールは、当初は物珍しさから高稼働率が予想されますが、中長期的には稼働率の向上は厳しいと思います。従って、区民ホールは特に、これからの50年間に対応することを最優先すべきだと思います。なぜならば、今後、首都圏直下型地震や大型台風など自然災害の増加が予想されており、区民の大きな将来不安の一つであるからです。よって、この場所での区民ホールは、全面平土間仕様(1600㎡位)で多目的ホールとすべきであると思います。すなわち、平土間であれば間仕切りを設けることで2分割、3分割にすることができ、用途に応じた使用ができ、柔軟性もあります。コンサートから展示会、イベントなどに使用できるホールとし、また大震災などの非常時には避難場所としても使用できるホールとすべきです。</p>	<p>世田谷区民会館については、世田谷区地域防災計画において、世田谷地域の災害時における食料等の調達物資の集積地及び配送拠点に指定されており、大規模災害が発生した際には物資等の集積場所などとしても対応ができるよう、区民会館で700㎡以上のフラットなスペースを確保することとします。</p> <p>一方、世田谷区民会館ホールは、現在の利用状況を踏まえ、800席から1,000席規模の多目的ホールを想定しています。</p>
	<p>先日福祉大会に参加したのですが舞台に出ている間の貴重品入れがなく困りました。小さいロッカーを舞台裏にたくさん作っていただくと助かります。よろしくお願い致します。</p>	<p>今後、具体的な設備等について検討をしてみたいと思いますので、その際の参考とさせていただきます。</p>
	<p>文化人の多い世田谷区なので区民イベントスペースにはもっと充実したホールがほしいです。書画、演劇、歌などが発表出来る施設を充実していただきたい。私など素人の知識では良い案は浮かびませんが、世田谷区に恥じないイベントスペースをこの際専門家のご意見を借りて下さい。</p>	<p>区民会館は、各総合支所管内に1箇所ずつ設置され、区民の文化、コミュニティの場として幅広く利用されています。加えて、世田谷区民会館は、その場所から、世田谷地域の集会施設であるとともに、世田谷の全区的な集会機能も併せ持っており、ホールは、多様な区民活動として活用できるホールとして整備してまいります。</p>
災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・区民ホールを被災者避難所にできるようにする。 	<p>世田谷区民会館については、世田谷区地域防災計画において、世田谷地域の災害時における食料等の調達物資の集積地及び配送拠点に指定されており、大規模災害が発生した際には、物資等の集積場所などとしても活用ができるよう、区民会館で700㎡以上のフラットなスペースを確保することとします。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・ホールの中に、災害時に活用できるような設備を入れてほしい <p>案P18(1)ア「本庁舎は、」は、「本庁舎等」に変更する。これは、災害時に区民会館が集積所として使用することが記述されていますがP29の整備方針には、記述がないためです。</p>	

分類	意見・提案等	区の考え方
音楽ホール	<p>本庁舎等整備基本構想を大変結構と拝読しました。特に3の区民会館（ホール）機能の充実に期待しています。孫がジュニアオーケストラに在席中にコンサートに伺いました。又友人のコーラス発表会（区民合同音楽祭）も区民会館ホールで楽しみました。今後も、区民のコンサート会場として充実した機能を整備して、利用できるように建築して下さい。</p>	<p>区民会館は、各総合支所管内に1箇所ずつ設置され、区民の文化、コミュニティの場として幅広く利用されています。加えて、世田谷区民会館は、その場所から、世田谷地域の集会施設であるとともに、世田谷の全区的な集会機能も併せ持っています。一方で、世田谷区地域防災計画において、区民会館は、世田谷地域の災害時における食料等の調達物資の集積地及び配送拠点に指定されており、そのため、集積場所として、集会室、楽屋、練習室、ホワイエ、ホールも含め、最低700㎡程度のフラットなスペースを確保することとします。一方、多様な区民活動として活用できるホールの客席は、固定式を基本とし、災害時の物資等の集積場所として活用する場合は、音響効果への影響やコストなども踏まえ、一部可動する機能についても検討することとします。また、多目的に使えるホールとして、音楽利用に配慮した可動式の音響反射板の設置を検討するとともに各種吊物機構や照明など適正な設備を設置してまいります。</p>
	<p>世田谷区民会館は多くの音楽愛好家が発表の場として精進の結果を發揮する大切なホールです。災害や公共の為の場として充実する事は勿論大切ですが、音響、録音、楽屋、トイレが出演者を励ます場である事が世田谷区に住む区民の生活を支える大きな存在になると思いますので、東京都の中でも多くの人々を呼べる活力あるホールにして下さい。</p>	
	<p>世田谷区民には良い音楽ホールがありません。目黒・杉並・渋谷等近くにはあるのに是非このチャンスに響きのよい音楽ホールを造って下さい。世田谷に1つもないのは恥ずかしいことです。必ず実現して下さい。お願い致します。</p>	
	<p>現在、世田谷区には芸術的にすぐれた公演ができる十分な広さかつ設備の整ったホールがありません。他の区まで出かけていなくても、質のよい作品を手軽に観賞できる施設の設備は東京都の中心的部分を担う我が区には、どうしても欠かせないと思います。現区長は区民の意見によく耳を傾けてくださる、との印象を持っております。よろしく願いいたします。</p>	
	<p>区民会館を建て替えるなら音楽空間のホールにしてほしい。現在の区民会館を改装で音楽ホールとしても良いと思う。</p>	
	<p>「区民会館ホールの要望」世田谷区には音楽会イベント用の大きなホールがありません。他区をみてもいつもうらやましく思っております。人口、面積、文化の面からも絶対に必要なものです。予算の関係もあるでしょうが、是非設備の整ったホールを造って下さい。期待しております。</p>	

分類	意見・提案等	区の考え方
音楽ホール	<p>本庁舎の建て替えに伴い、現世田谷区民会館も建て替えられることを知りました。世田谷区民会館が建てられた当時は、他の地域にはない時代を先取りした最先端のホールでありました。建築直後に、先日亡くなられたピアニストの中村浩子さんが、世田谷区民会館で録音したレコードもありました。さて、今の世田谷区の施設はどうでしょうか・・・？立派な美術館・演劇の劇場はありますが、フルオーケストラの演奏等を良い音で聴けるような、コンサートホールが一つもありません。昭和女子大学の中に、人見記念講堂がありますが、これは世田谷区の施設ではありません。都内の他区の市の多くに、立派にコンサートホールがあるのに、世田谷区にはありません。約90万人の人口を抱え、多数の音楽家が住んでいる区の文化施設として、寂しい限りです。私は、世田谷区の区立中学校で音楽科の教師をしています。世田谷区の子供たちが、他の地域の子供たちが演奏しているような立派なコンサートホールで演奏できる日が来ることを心待ちにしています。どうか、世田谷区民会館を建て替える際には、音楽用のコンサートホールをお願いします。広くて客席数があるだけでは、コンサートホールにはなりません。世田谷区の文化向上のために、音楽専用のホールをお願いします。</p>	同上
	<p>本庁舎の建て替えを機にぜひ良質な音楽ホールを世田谷区にも建設して頂きたい。</p>	
	<p>本庁舎の建て替えを機に良質な音楽専用ホールを作って欲しい。</p>	
	<p>本庁舎の建て替えを機にぜひ良質な音楽ホールを。世田谷区って区の運営するコンサートホールが全く無いんです。</p>	
	<p>本庁舎の建て替えを機に是非音楽ホールを作って下さい。</p>	
	<p>音楽ホールの整備をお願いしたいです。楽屋通路がないので混雑しトイレの前はより混雑してしまうトイレの数が少なく設備が古すぎる 楽屋が狭すぎるし練習場所がない 全体に暗い(古臭い) 区民として世田谷区の音楽ホールにほこりがもてない。区長さんは文化面にもとても力添えを頂いて感謝しています。今ひとつ力添えをお願いいたします。</p>	
	<p>区民会館について意見を申し上げます。1、目黒パーシモンホールや杉並公会堂の様な他からの演奏会を呼びこめるものを作って下さい。2、具体的には音響の良い収容客席(1200人前後)そして練習室を確保して欲しいです。世田谷には約60団体のコーラスグループがあり区民集会所や区民センターを使って練習しておりますが、練習室が出来れば、演奏当日の練習場所の確保だけで無く、通常の練習場所として使えることも期待しています。</p>	

分類	意見・提案等	区の考え方
音楽ホール	合唱団に所属しています。他の区の多くに恵まれたホールを借り、何故世田谷区には良いホールが無いのが不思議でした。どうぞ良い音響のホールをこの機会に作って頂きたいと強く希望します。日本だけでなく外国の多くのアーティストを招いてください。よろしくお願い致します。	同上
	世田谷区の音楽ホールを是非作っていただきたいと思います。昭和女子大学の「ひとみ講堂」をおかりしなくてすむと思います。	
	音楽専用のホールを作って欲しい。	
	せっかく巨額のお金をかけて建物を建設するのでしたら、災害時はもちろん、普段はコンサートに利用できる音楽ホールにして頂けるとうれしいです。生まれた時からずっと世田谷区在住ですが、世田谷区には本格的な音楽ホールがなく、他の区(杉並、墨田、葛飾区など)には立派なホールがあるのになぜかな?とっておりました。世田谷区民は芸術、特にクラシック音楽に関心のある方が多いと思いますので、音響のすばらしいホールが建つ事を望みます。	
	他の区にまけないような音楽堂をぜひぜひ建てて下さい。毎年、渋谷区や大田区の音楽堂を拝借している状態です。音響の良い上品な世田谷区にふさわしい音楽館を望みます。	
	区民会館をいつも利用させていただいております。建て替えについてはホール廊下のバリアフリー・ピアノのあるリハーサル室・30人以上入る楽屋・録音設備の充実など使う側にとっても必要なものをお願い致します。客席は多目的ホールではなく、固定席にしていただきたい。(音響に大きな影響あり)80万芸術文化をうたっている世田谷区にきちんとした音楽ホールがないのは困ります。杉並、目黒、渋谷、府中、江東区にまで借りに行っている現状を何とか区内で発表の場が持てるようにお願いします。オーケストラと合唱がのれる広さの舞台が必要です。	
	区民会館についての意見 ホールを多目的ホールにするのは反対 世田谷区が誇る音響の良いホールを是非使ってほしい 将来、子供達が素晴らしいホールで音楽活動が出来る環境であってほしいと望みます 今私達は世田谷区にホールが無い事で他の区のホールを使用しています。自分の住んでいる区に何故、使いたいホールが無いのか、区民税を支払っているのにおかしいと思いませんか? 災害時の物資供給は区民会館ではなくても出来る筈です。将来の事考えて下さい。	
	本庁舎、区民会館は相当の年代を経て、将来予想される災害等を考えると建て替えの時期にあると考えます。その際をお願いしたいのは区民会館のあるべき姿です。現在は主として音楽ホールとしても使われておりますが、洩れ聞くところでは将来は多目的ホールの構想の由で非常に残念です。文化的な世田谷にあって、音楽ホールが区施設にない現在、しっかりした音楽ホールを作り、コンサートが楽しめる区にして欲しいものです。	

分類	意見・提案等	区の考え方
音楽ホール	<p>多目的ホールは成城ホールがあります。世田谷区民会館は音楽専用ホールにして頂きたいと切望致します。良質なひびきの音楽ホール、オーケストラ、吹奏楽、合唱等が使いやすい設備のととのった世田谷区民会館に建替えていただきたいと望んでおります。</p> <p>庁舎の建て替えで区民会館のホールがなくなることを大変残念に思っています。ぜひ新しい庁舎にも音楽会ができるような音響設備の整ったホールを作ってください。人見記念ホールや成城大学の中にあるホールもありますが、やはり公営のホールがほしいです。成城ホールや北沢タウンホールのような可動式のホールではなく、100万人近くの人口の世田谷区に、やはり、文化的な財産として、必要な物だと思います。小中学校の音楽会、合唱祭など、多く利用されると思います。</p> <p>世田谷区民会館ホールについて、世田谷区全体として最大規模で、代表すべきホールとして建て替えをされるのですから、最大限音響の良いホールにしていただくこと、音響を良くするために客席を可動式ではなく固定席にしていただくことを要望いたします。音響を含め音楽ホールに詳しい方に設計していただくことも希望します。そうすることにより、レベルの高い公演が増え、区民の方も聞きに来られて喜ばれますし、合唱祭やコンクールや学校関係の利用も増え、区としても収入財源になるのではないのでしょうか。約1200席の大ホールを多目的ホールにするのは中途半端なホールになりますので、大ホールではなく、リハーサル室を、災害時に物質集積所として活用できるように広さを十分に取り、物質の搬入や搬出がしやすいように駐車場の近くに作るのいいのではないのでしょうか。また、コンサートや講演会など、催し中に大地震が起きた場合、一旦、お客様を外へ避難したとしても落ちつけば、皆さんがすぐに帰宅できるとは限りません。すると、一時的に客席に戻って、状況判断や区からの指示を伺うことができ、混乱を避けられるかと思えます。最近の大ホールは、トイレをかなりの数を配置していますので、トイレも現在よりかなり増やしていただくと、災害時に大変役立つかと思えます。大地震が起きた場合、電気が止まることを考え、自家発電も装備することですが、1200席もの可動式席を収納するには時間と手間がかかる上、収納スペースを取ることになります。可動式席を収納するスペース分、リハーサル室を広くした方が、通常、多目的に有効活用できるのではないのでしょうか。十分にご検討をよろしく願いいたします。</p>	同上

分類	意見・提案等	区の考え方
音楽ホール	<p>世田谷区民会館についての意見です。我が区は高名な音楽家やミュージシャンを招いて、他区にないユニークな演奏活動を行なっていることは誇らしいところです。区民会館の整備により、さらなる音楽芸術活動の興隆を期待しております。しかしながら、座席を可動式にし、災害時の備蓄倉庫を兼ねるといった構想には断固として反対いたします。現在お招きしている音楽家が高名であればあるほど、音響効果には神経を使いますし、演奏を聴きに来る耳のこえた聴衆もよし悪しがすぐにわかります。可動式座席のホールでは、演奏家も聴衆も満足させるホールを作ることはできません。これは同様の可動式ホールにした成城ホールで実証されています。私は世田谷区内で音楽活動を行なっておりますが、残念ながら他区、他市のホールを利用することを余儀無くされています。こういった団体は相当数あり、渋谷大和田ホールや杉並公会堂、多摩市民館などを止む無く利用しているのが現状です。世田谷区は演劇活動にはパブリックシアター、砧には世田谷美術館があり、音楽ホールを整備すれば、東京 23 区だけでなく日本を代表する文化芸術都市になることができます。それゆえ、プロの音楽家を招いても恥ずかしくない、アマチュアも安心して利用できる芸術性の高い音楽性のあるホールの整備をこころより願います。</p>	同上
	<p>東京都世田谷区に音響効果の高い音楽ホールは必要だと思います。可動式の多目的ホールでは音響効果が悪く上質な音楽を期待できません。昭和女子大の人見講堂は世界的に有名な音楽家を招いてコンサートをされていますが、その賃料の高いことは有名です。普通の区民、特にお子さんを含めた音楽、教育、音楽を楽しめる場として、音楽ホールは是非確保して頂きたいです。災害時の物資搬送場所は幹線道路に近いところで専用のもので作って頂きたい。多目的というのは目的にどれも中途半端になりがちではありませんか？</p>	
	<p>庁舎建替の際、是非お願いしたい事は、音楽ホールを考えて頂きたいと思うことです。他に誇れる様な。文化のバロメーターの一つにもなると思いますし、区民の憩いの場として集える、和、絆の場となると思います。</p>	
	<p>音楽ホールとして音響を考慮した設計を希望</p>	
	<p>音楽ホールが欲しいです。</p>	
<p>響きの良い音楽ホールの建設をお願い致します。常々思うのだけど、文化人の集った世田谷にきちっとした音楽ホールがないのは遺憾である。自分は月に一、二回は演奏会に行く様にしている。素晴らしい演奏は活力をもらえる。上野の芸術劇場、墨田区のトリホニーホール等、最近は遠く感じる様になった。区に響きの良い音楽ホールを是非考えてほしい。多目的ホールは意見がない。これから育つ子供達の為にも、本物に接しゆたかな成人となって社会に貢献してほしい。</p>		

分類	意見・提案等	区の考え方
音楽ホール	<p>ホール機能について世田谷区は文化都市を標榜しつつも、音楽先進的な他区、近隣他都市に比べて本格的な音楽ホールが存在せず、現在の区民会館ホールなどは音楽面からみれば屈辱以外の何ものでもありませんでした。このたびの整備に当たっては、音楽演奏、鑑賞にとって命である豊かな残響時間を確保されることが最も必要であると考えます。多目的であるためにそのことが犠牲にされないよう切に願うものであります。つきましては、ホールは、可動式音響反射板を利用するプロセニアム形式ではなく、音楽利用のための機能を完備したシューボックス形式とされることを強く望みます。その実現によって、最高レベルの演奏家、オーケストラなどを招くことが可能になり、また区に在住する音楽演奏グループ、合唱グループの意欲や演奏レベルの向上に強い力を与えることとなりますし、区民の音楽に対する関心や関わりを高め、ひいては区の豊かな文化教養環境の醸成に貢献すること計り知れないものがあると考えます。なお、因みに申し上げます、お隣の杉並区の公会堂は、多目的でありながら、シューボックス形式であり、日本でも屈指の音楽ホールとして知られ、日本フィルハーモニー交響楽団の本拠地となっております。</p>	同上
	<p>世田谷区に多目的でなく音楽ホールは実現出来ないものでしょうか。他区には立派なホールがありうらやましいです。</p>	
	<p>むずかしいことはわかりませんが、この世田谷区にぜひ音楽ホールがほしいです。よろしくお願い致します。</p>	
	<p>世田谷区は他区に先立って世田谷区民会館という音楽ホールを建設し、中規模のホールも各地域に作られ、良い音楽環境を作ってきた。ところが、近年災害時の対応が優先され、次々と多目的ホールになっている。美術・演劇の分野は充実させているが、音楽は後退しているのではないか。区民会館を多目的ホールにすることは、「文化芸術の世田谷」をかかげるのに方向が逆。音響の良い、プロの音楽家を招請してコンサートが開催できるホールが世田谷に1つもなくなるのはいかなものか。建て替え後も、区民が身近に音楽を演奏、また聴くことができる。音響のよい音楽ホールにすることを強く要望する。改修も検討していただきたい。</p>	
	<p>本格的な音楽ホールを成城ホールの様な可動式のホールを作るのでしたらやめて下さい。講演や講座ならまだしも響をもとめる音楽では成城ホールはダメ。可動式で椅子が出た後空洞が出来、その為、響がなくなります。その事を頭において良いホールの建設を！</p>	
	<p>区民会館の建て替えに関して、音響の良い音楽ホールにお建て替えをよろしくお願い致します。</p>	
	<p>世田谷区合唱連盟に所属している者です。今現在、演奏会を行なおうと思ったら、杉並区＝杉並公会堂、目黒区＝パーシモンホール、渋谷区＝さくらホール・白寿ホールなど、他区を利用せざるを得ない状況にあります。世田谷区にもすてきなホールを！</p>	

分類	意見・提案等	区の考え方
音楽ホール	<p>区内の合唱団に所属しています。砧の成城ホールで何回か演奏会を行った事があります。成城ホールが多目的ホールに生まれ変わってから1度、演奏会を実施した際に、以前と比べてあまりに音響が悪くなっており、それ以降は利用した事はありません。「文化の世田谷」を誇りに思っています。多目的ホールに関しては、しばし、ご一考を！</p>	同上
	<p>区民会館は現在と同規模の想定だそうで良いのですが、私達コーラスの発表出来る唯一の場です。今より音響が悪くない多目的ホールではない作りしてほしいのです。「せたがや音楽通信 Vol.5」を読んでも貸ホールは区のものはありませんね。区民の為のホールが必要です。後期高齢者の身にとっては長い期待の日々でした。しかし区民会館あっての楽しく発表参加出来るコーラスを続けて来ました。防災時に使用出来るから移動客席にする案があるそうですが、残念な気持です。未だいくらか考えられることがあると思っています。</p>	
	<p>海外のオーケストラを招くことの出来る音楽専用ホールをつくって頂きたい。楽屋、リハーサル室の完備した音響を第一に考えたホールをつくって、子供から大人まで発表の場になる場所をつくって頂きたい。</p>	
	<p>音楽ホールの要望です。災害時のための多目的ホールは必要であると思います。しかし、音楽ホールの音響の質は落とさないで下さい。少しお金がかかってもすぐれた音響の専門家に設計してもらって下さい。文化の区、芸術の区にふさわしいホールにして下さい。合唱祭・コーラスフェスティバル、区民合唱団定演、ホール使用者は大勢います！</p>	
	<p>多目的ホールではなくクラシックにも対応出来る本格的な音楽ホールを造って下さい。世田谷区には合唱団、アマオーケストラなどの団体が多数あります。演奏会のたび他区のホールを借りなければなりません。音楽を通じ心身の健康にも役立っている中高年は多いはずですが、ホールには楽屋、リハーサル室も必要です。ホールだけ立派でもバックヤードが充実していなければ演奏会は出来ないのです。</p>	
	<p>音響効果のよい音楽ホールを作って欲しいです。シニア・障害者に優しい設備を望みます。</p>	
	<p>毎年7月に5日間に渡って開催される東京都合唱祭に今年も出来る限り聴きに行ってみてまいりました。三百団体以上のグループが歌いました。勿論世田谷区合唱祭では出演し、又、聴かせて頂いています。世田谷は他区に比べると音楽ホールが何と少ない事かと感じています。区民合唱団まである世田谷区に響きの良いコンサートホールの無い事が気に入りません。是非立派なコンサートホールを作って頂きたいと思います。世田谷区は、コーラス人口が多いですから、是非、是非お願い致します。</p>	
	<p>「区民会館」は音楽ホールとして、機能をぜひ完備して頂きたい。新しく建てるのに多目的ホールはもったいない。固定の座席で音響も、席数1200をお願い致します。豪華じゃなくても、今の日本の能力なら、ここまで節約して、こんな立派な音楽ホールが出来た、という事例を作って頂きたい。</p>	

分類	意見・提案等	区の考え方
音楽ホール	コンサートホールをきちんと作って欲しい。現在の世田谷区民会館の規模と、音響効果を考えた、世田谷区のコンサートホールを作って欲しい。	同上
	文化都市世田谷に相応しい音楽ホールを杉並区に立派な音楽ホールがあることをうらやましく思っていました。現在改築中の様ですが杉並区の先見性を感じます。この度世田谷区のホールが改築されることを大変うれしく思っていますが、この際には是非音響のしっかりした都内有数といわれる音楽ホールを作っていただきたく提案します。災害時の物資備蓄を兼用するとか耳にしましたが、可動椅子では音響が悪くなってしまいます。兼用とはどちらの目的に対しても不十分な施設になります。どちらに対してもしっかりした物を作っていただきたく、次世代の世田谷区民の為にもお願いします。	
	区内にコンサートホールが一つもないので区民が利用出来、楽しめるコンサートホールをお願いします。	
	区民会館ホールについて 現在合唱祭・フェスティバル等で親しみのある会場ですが他の区のトリフォリーホールやパーシモンホール、杉並公会堂などへも時々音楽など伺いうらやましく思っていました。音響に配慮したホールを長年希望していました。これを機会に区民だけでなく世界に誇れる素晴らしい音楽ホールに生まれ変わることを心より希望しています。	
	「世田谷区本庁舎等整備基本構想(素案)」について意見 多目的ホールを建築予定とのことですが、音楽ホール・専門ホールの建築をお願いしたいとの要望をお願いします。世田谷区にて長年希望し求めている者の一人です。他区にひけをとらない響きの良いホールを是非！世田谷区でも欲しいです。よろしく願いいたします。	
ひとつお願いですが、区民ホールが多目的ホールになると聞いております。文化人、芸術家が多い世田谷区に音楽ホールがないのはとても残念です。ぜひ音楽ホールとして整備していただけるようお願い致します。		

分類	意見・提案等	区の考え方
音楽ホール	<p>世田谷区民会館（ホール）機能について大規模災害時に避難場所として使用するの は結構ですが、せめて音楽ホールとしての機能と設備を充実して欲しいものです。 成城ホール・北沢ホールのような稼働椅子以外に工夫はないのでしょうか。20 分でお尻が痛くなり、体格の良い人が一人でもいると動いたり笑ったりしただけで、 一列全体が揺れて船酔い状態になります。落語でも、演説でも30分が限界で、長 時間に亘る音楽会はとても聴ける状態ではありません。付帯設備の充実とバリアフ リー化当然バリアフリー化は検討すると思いますがホール周りの設備を充実させて 欲しいと思います。1・個室楽屋4室。（トイレ・シャワー付き）2・練習室（兼 大楽屋）にアップライトのピアノの設置3・出演者用の同時多数使用可能トイレの 設置4・舞台はフルオーケストラに合唱130人が乗れる規模に（山台の高さの工 夫も）5・音響版、ライティング、録音調整室等必須6・現在の集会室のような大 勢の出演団体用の控室もホワイエを通らないで舞台裏に行ける設計にして欲しいと 思います大規模災害発生時こそ癒しの音楽会が開ける設備があれば世田谷区はもっ と評価されるでしょう。</p>	同上
	<p>・区民ホールは、東京都内のコンサートホールが激減している現状も踏まえ、広く 講演・興行の場として提供できるよう設計すること。</p>	
	<p>・区民会館は多目的ホールでなく本格的なコンサート会場に耐えられるホールを是非 創ってほしい。可動式椅子は絶対にNO！</p>	
	<p>音楽専用ホールの設立を要望していましたが、（別途要望書を提出している筈です が）今回の案には含まれていません。世田谷区の規模の人口を持つ、自治体で音楽 ホールを持つべきと考えます。よろしく！</p>	
	<p>良質の音楽ホールが欲しいです！区民会館の機能の充実を考えて下さっておられる とのこと、うれしいです。「学識経験者」の中に音楽家もいらっしゃると思いま すが、できるだけ多くの音楽家や音楽グループの代表者などの要望を検討、いいも のをつくってください。喜々として、誇りをもって文化に触れられる空間をよろし くお願いいたします。</p>	
	<p>なぜか世田谷区に本格的な音楽コンサートホールがないことをよく耳にします。特 に音響効果を望めないこと。世田谷区民会館ホールも将来多目的ホールになるら しいので、ぜひ世田谷区を本当の文化的の香りのする区にしたいのです。ぜひ音楽家 をまじえて研究していただき、私たちの納得できるホールを建設していただきたい と思います。</p>	

分類	意見・提案等	区の考え方
音楽ホール	<p>先ほど、パブリックコメントを送らせていただきましたが、所属団体名を書き忘れていました。</p> <p>私は、世田谷区宮坂にある鷗友学園 PTA コーラスに所属しており、毎年、世田谷区合唱祭で世田谷区民会館ホールを利用させていただいています。昔、小さい時、海野義雄氏の素晴らしいバイオリンコンサートを聴いて感動した覚えがあります。ぜひまた音響の良い新しいホールで素晴らしいコンサートを聴けることを願っています。</p>	同上
	<p>世田谷区にはコンサートを開催出来るような音楽ホールがありません。区民会館の改築に際しては、客席は可動式ではなく固定席にして下さい。大災害時の対策として、物資の集積庫は、区民会館の中ではなく防災センターを有休地（上用賀等）に作ることを提案します。90万人の住人のために充実したものにして下さい。</p>	<p>区民会館は、各総合支所管内に1箇所ずつ設置され、区民の文化、コミュニティの場として幅広く利用されています。加えて、世田谷区民会館は、その場所から、世田谷地域の集会施設であるとともに、世田谷の全区的な集会機能も併せ持っています。一方で、世田谷区地域防災計画において、区民会館は、世田谷地域の災害時における食料等の調達物資の集積地及び配送拠点に指定されており、そのため、集積場所として、集会室、楽屋、練習室、ホワイエ、ホールも含め、最低700㎡程度のフラットなスペースを確保することとします。一方、多様な区民活動として活用できるホールの客席は、固定式を基本とし、災害時の物資等の集積場所として活用する場合は、音響効果への影響やコストなども踏まえ、一部可動する機能についても検討することとします。また、多目的に使えるホールとして、音楽利用に配慮した可動式の音響反射板の設置を検討するとともに各種吊物機構や照明など適正な設備を設置してまいります。なお、物資集積について、国士舘大学及び大蔵第二運動場が地域内輸送拠点となっており、そこから各地域の物資等の集積地及び配送拠点(各総合支所管内の区民会館)へ配送されていきます。そこで、各総合支所で仕分けされたものが、地域内の避難所へ配送されていくこととなります。世田谷地域の物資集積地が世田谷区民会館となっており、国士舘大学との連携や支所の職員配置などを考慮し、現在地が適当だと考えております。</p>
	<p>目黒区や杉並区がもっている様な、音楽のできるホールがあればうれしいのですが。多目的ホールも大事だとは思いますが、音響のよいホールにはなりません。又、住民のいざという時の物資集積場所は別の土地、もっと大きな場所（上用賀の所有地）等を作ってほしいです。宜しくお願い致します。</p>	
	<p>世田谷区民会館を素敵な、使い勝手の良い音楽ホールにぜひ建て替えて下さい。災害時の物資集積は交通の便の良い環八/東名高速/第3京浜などが近い、用賀、砧、二子玉川辺りでは如何でしょうか？</p>	
	<p>“風薫る芸術の街”世田谷区に芸術のための専用ホールを是非建設していただきたい。パーシモンホール（目黒）、杉並公会堂（杉並）のような。有事の際の利用施設については、上用賀の土地などにしっかり設置すべきだと思います。</p>	
	<p>区民会館を多目的ホールにし、客席は可動式にするという話を聞きました。しかしそれでは音響の良い音楽ホールにはなりません。世田谷区には音楽ホールが無いので、固定席の音楽ホールにしてほしい。90万人もの住民のための物資の集積場所は別の土地に作るほしい。区民会館のフロアでは狭すぎます。その他、基本設計を決めるに際しては、設計者に音楽関係のわかる方を入れてほしい。</p>	

分類	意見・提案等	区の考え方
音楽ホール	<p>世田谷に響きの良いホールを世田谷の合唱連盟主宰合唱団（ラディアータ）のと申します。当団は1994年に発足致しました。合唱連盟加盟団体（現在76団体）の合唱団員が大曲をオーケストラと共演し、ラテン語、ドイツ語等も学ぶ目的で活動しています。2001年7月第1回、モーツアルトのレクイエムの演奏会で演奏活動を開始後2年に1回の割合で演奏会を開催しています。プログラムにはいつもご挨拶を掲載させて頂いています。オーケストラと演奏する為、ステージの広さ、音響、設備の問題、楽屋の数等念頭に置いて川崎の多摩市民館、杉並公会堂、渋谷さくらホール、目黒パーシモンなど演奏会開場確保の為、抽選に参加するのですが沢山の団体が抽選に集まる為、希望する日時を確保する事はとても難しく、毎回、大変な思いをしています。世田谷区他の団体も同じだと思います。音楽愛好家の方が世田谷には沢山いらっしゃいます。海外から好きな指揮者が来日したり、国内で活躍している管弦楽団、オペラ等の会を、区外のホールに足を運んで聴きに行く事になります。これから成長して未来を築いて行く子供達の情操教育にも本物を耳にして育てる事はとても大切な事です。世田谷区内に響きの良いホールが是非欲しい。世田谷区合唱連盟では世田谷フィルハーモニー管弦楽団、吹奏楽団、世田谷区民合唱団の方々と過去2度に渡り、署名運動を行い、区に提出致しました。1度目は中心で動きましたが、何の答もなく悔しい思いでした。人口90万人の世田谷区に海外からの演奏家、国内で活躍されていられるプロの演奏家が喜んで来て演奏が出来る響きの良いホールを何としてでも建てて頂きたいと希望致します。何処の区もそれなりの音楽ホールを備えています。人見記念講堂は区の物ではありません。世田谷には音楽ホールが無いの？嘘でしょ！！文化人が集まっているのに…。と言われ何度も恥ずかしい思いを致しました。本当に残念な事です。ホール建設計画では、座席数、ステージの広さ、反響板、楽屋の数、その他の設備等など嬉しいお話ですが肝心の響きが、可動式椅子の多目的ホールでは？椅子を出して出来る空間が（収納してる椅子を設置する時に出来る）響きをなくしてしまいます。成城ホールがそうです。あの様なホールは何としてでも止めて下さい。設備などしっかり考えて下さっているのに響きが不十分では音楽ホールとしての意味が無いと思います。折角作るのですしたら、周りの区の様には恥ずかしくない音楽ホールをお願い致します。費用を掛けて建てても周りから呆れかえられるのが目に見えます。希望のある子供達の為にも、音楽を心から愛する方々の為にも本気で考えて頂きたいお願い致します。物資の蓄積庫も必要なのは十分理解できますが、音楽ホールに作るのではなく用賀など区の空いた土地に集積庫として別途用意を考えて頂きたいお願い致します。</p>	同上

分類	意見・提案等	区の考え方
音楽ホール	<p>私は現在合唱を趣味として生活していますが、合唱団での活動を行っていて感じる点を纏めました。世田谷区での音楽ホールについて・現在の世田谷区民会館ホールは、私たちの音楽活動、そして多くの音楽家たちの要望に見合わなくなってきています。まず、リハーサル室がないこと。今は、どのような合唱団でも、演奏会前には、発声練習と本番リハーサルは欠かせません。それが、きちんとした演奏会を行う基本です。しかし、区民会館ホールには、そのためのリハーサル室が無いので、自分たちで、近隣の声だしが出来る部屋を用意し、そこで準備をしてから、区民会館に移動する、ということをしなければなりません。このことから、多くの合唱団が、世田谷区民会館を選択しないこととなっています。残念なことです。舞台そのものが十分な大きさを持っていないことが問題です。舞台袖のスペースも足りません。そのことから、練習会場とすることは可能ですが、本格的な演奏会を行おうとすると、舞台の出入りの関係からも出来ないこととなります。区民合唱団、せたフィルの一年間の活動の総決算である、ベートーベン第9交響曲も、舞台の狭さから、せっかくの区民会館ホールで演奏することができません。控え室が圧倒的に足りないことも問題です。合唱団員が着替える場所がない、ということは決定的に他のホールより見劣りすることとなります。また、世田谷区民会館は、公用利用が優先され、一般の利用がなかなか出来ないことが、結果的に、各団体が、ホールを利用しなくなってきている原因ともいえます。さらに一般利用の抽選が、6ヶ月前ということなので、多くの合唱団などは、1年前からの計画が立てられず、やむを得ず、区外のホールを確保しに行く、という、実情もあります。区役所の側で、大きな空間が必要で、区、区民・関係団体等の大規模集会施設が必要なことは理解できます。しかし、その大規模集会機能と、音楽系のコンサートホールは、求められる施設機能が異なると思います。兼用させようとする、どうしても中途半端なものとなってしまいます。但し、(他の区にある)公共の音楽専用ホールが無い世田谷区では、今回の世田谷区民会館改築時に出来るだけの音楽設備への配慮をして頂きたい。その為には「作る音楽設備専門業者」だけでなく「使っている音楽団体」の意見を聞きながら設計を進めて頂きたい。(それでも区民会館は音楽ホールとしては十分な施設にはならないと思うので)将来的には、世田谷区は、コンサートホールとしては、別な場所に整備し、音楽・芸術専用の施設を整備すべきだと思います。</p>	<p>区民会館は、各総合支所管内に1箇所ずつ設置され、区民の文化、コミュニティの場として幅広く利用されています。加えて、世田谷区民会館は、その場所から、世田谷地域の集会施設であるとともに、世田谷の全区的な集会機能も併せ持っています。一方で、世田谷区地域防災計画において、区民会館は、世田谷地域の災害時における食料等の調達物資の集積地及び配送拠点に指定されており、そのため、集積場所として、集会室、楽屋、練習室、ホワイエ、ホールも含め、最低700㎡程度のフラットなスペースを確保することとします。一方、多様な区民活動として活用できるホールの客席は、固定式を基本とし、災害時の物資等の集積場所として活用する場合は、音響効果への影響やコストなども踏まえ、一部可動する機能についても検討することとします。また、多目的に使えるホールとして、音楽利用に配慮した可動式の音響反射板の設置を検討するとともに各種吊物機構や照明など適正な設備を設置してまいります。管理運営方法については、今後検討してまいります。</p>

分類	意見・提案等	区の考え方
音楽ホール	<p>新しい区民ホールに関しての要望です。基本構想におおむね賛成ですが、2点ぜひともお願いしたいことがあります。1・音響について舞台の可動式音響反射板の設置は、ぜひともお願いします。舞台だけでなく、客席も含めた全体としての音響を考えてください。多くの音楽家もいらっしゃる世田谷にふさわしい、いい響きのホールをお願いします。2・舞台の広さについて現在の区民会館の舞台では広さ、特に奥行きが不十分です。大人数の合唱、オーケストラと合唱、舞台装置の必要なバレエ・演劇などでも使えることを想定して、十分な広さの舞台にしてください。以上、どうぞ是非ともよろしく願いいたします。また、世田谷区民会館の予約は6ヶ月前からですが、他の自治体のホールの予約は1年以上前からなので、世田谷区民会館の抽選でだめだった場合、他の会場を確保することは困難です。先着順、抽選、調整方式などどんな予約方法がいいのかの検討も含めて、区民が利用しやすい受付時期・方法を考えていただけたらと思います。様々な意見の集約は大変でいらっしゃると思いますが、どうぞよろしく願いいたします。</p>	<p>多目的に使えるホールとして、音楽利用に配慮した可動式の音響反射板の設置を検討するとともに各種吊物機構や照明など適正な設備を設置してまいります。客席は、固定式を基本とし、災害時の物資等の集積場所として活用する場合は、音響効果への影響やコストなども踏まえ、一部可動する機能についても検討することとします。管理運営方法については、今後検討してまいります。</p>
	<p>区民会館は合唱の発表や音楽演奏が行われるので音響効果に十二分に考慮したホールとして下さい。</p>	<p>多目的に使えるホールとして、音楽利用に配慮した可動式の音響反射板の設置を検討するとともに各種吊物機構や照明など適正な設備を設置してまいります。客席は、固定式を基本とし、災害時の物資等の集積場所として活用する場合は、音響効果への影響やコストなども踏まえ、一部可動する機能についても検討することとします。</p>
	<p>世田谷に世田谷らしい区民会館を希望いたします。成城ホールの様な音響の悪く狭いホールは望みません。何卒ぞ、宜しく願い申し上げます。</p>	
	<p>本庁舎等整備基本構想について、いつも世田谷区民の為に日々御努力有難く思っています。この度の素案に私共も是非実施して頂きたいこととして、我々はいつも思うのですが、音楽に関して他区と比べて前近代的なことを残念といつも感じています(杉並区、渋谷区、etc)もし願うなら音楽効果の良い、少々小さくてもホールの設立を是非検討して頂きたいと思います。幸い保坂区長はその方面に詳しいと伺っていますのでよろしく願い申し上げます。</p>	
	<p>区民会館(ホール)については、合唱祭やコンサートが開催できるようにピアノの常設、音響効果の充実等を図った施設としていただけるようお願いいたします。</p>	
	<p>音の響きの良い音楽演奏に配慮したホールを希望します。オケ付合唱ができる広さのステージとそれに必要な楽屋や練習室等を備えていると良いです。今の区民会館では、控え室が全く足りないので合唱祭などのように多団体が参加する時にも対応できるようにしてほしいです。</p>	
	<p>2 基本的方針1～5の項目にはいろいろ述べられてあります。しかし、現行と比べてどのような機能が維持、付加、削除されるか利用者から見た根本的説明が不足しておると思えます。安全安心が最重要であることは当然ですが、日頃標榜してきた文化都市世田谷区は削除ですか。北沢、成城の改築後のホールの使いにくさ、音の悪さを見てきていると、今回の改築でも文化都市世田谷区に関する記事は無く削除されているのだらうと心配です。文化都市世田谷区の名に恥じない、見ばえだけでなく誇りになる改築となることを願っております。</p>	

分類	意見・提案等	区の考え方
音楽ホール	<p>本庁舎整備に区民会館を設ける案に賛成いたしますが、建て替えに際し、現行ホール、機能の改善を希望いたします。基本的にホールとしての機能を最優先の実現項目として、音響機能を改善して実現して下さい。災害対策機能を盛り込むことも求められているかもしれませんが川崎市の例にもあるようにホールの天井は落ちやすく避難所としては機能できない可能性が高いと思います。災害用の備蓄機能を持たせるとしても、ロビーや楽屋等のホール周辺部のスペースを活用するようにして下さい。</p>	同上
	<p>世田谷区民会館の方に規模はそれ程大きくなくても結構ですが、音響効果の良いホールを作して下さい。区民も参加できる合唱コンサート等が行われる（プロはもちろんです）会場は区民の文化意識を高め、ひいては区の誇れる人達を生み出す場所になる事と思います。又、皆がいつでも気軽に立寄れる区役所、行きたくなる場所にして下さい。楽しみにしております。</p>	
	<p>世田谷合唱祭に20年来参加しているコーラスグループの者です。区民会館のホールは反響が悪く、20人程のグループですが反響が無いので他の人の歌っているのが聞こえず一人で歌っているように聞こえます。反響のある音楽ホールにしてほしい。区民会館は交通の不便なところにあるため利用団体、イベント等、利用が少ないのではないかと想像し、故にホールは大きなものではなくてよいのではないかと。むしろ会館内に休憩スペース（テーブル・椅子など）を設けたり屋外にスペースをとり、休憩や集える屋根付きの花壇、庭などがあるくつろげる空間（テーブル・椅子など）をつくるのも良いのではないかと。</p>	
	<p>区民会館についての要望です。楽屋などの機能の充実を図るということで、利用させていただいている者として大変有難く思っております。ただ、客席数800～1000程度をお考えのようですが、現会館（1202名）より少なく、又、他区のホールに比べ見劣りするもので、演奏会等開催する者としては是非1000～1500席を要望します。（ex 目黒パーシモンホール大ホール1200席、大田区民ホールアブリコ大ホール1477席、杉並公会堂大ホール1190席）</p> <p>区民会館は昭和女子大人見記念講堂規模の客席2000名クラスのホールを希望します。他の区には立派なホールがあるのに、世田谷区にはなく、私立大学の講堂をお借りしているなんてと思います。文化都市せたがやとして、ホールを拠点としてさまざまな区民活動や災害対策、国際交流など広げてゆけると思います。将来を見据えて、けっして無駄使いとは思いません。逆に今建て替えのこの期を逃したらいつ実現するのでしょうか？現在と同規模の会館だったら成城ホールとか他にもやりくりできるじゃないでしょうか。私は「世田谷区民ホール」の建設を中心とした庁舎の整備を提案したいと思います。</p>	

分類	意見・提案等	区の考え方
音楽ホール	<p>区民会館ホールについて・・・老朽化はしていますが音楽ホールとしてとても響きが良いのでよく通っています。建て替えを計画されていますが、新しいホールは都内の他のホールと比べても見劣りするようなホールであってはなりません。現在の座席数は1202ですが、計画では800～1000席の規模で縮小されようとしています。これには反対です。各区の建て替え後の収容人数は大田区アブリコ1447・めぐろパーシモン1200・品川きゅりあん1074・なかのZERO1292・杉並公会堂・1190・足立西新井文化・1292・北とぴあホール1300など最低でも1200～1300は必要だと思います。先日、TBS-TVのドラマ「揚げば尊し」で吹奏楽コンクール地区大会の場面は世田谷区民会館ホールでのロケだと思いましたが、これもホールの大きさとホワイエの素晴らしさがあっての撮影だったと思います。貸ホールとして続けるためにも1200以上は必要と考えます。1000人以下の会場ではベーゼンドルファーのピアノが泣きます（もったいないです）再度、見直しをしてくださるよう請願致します。</p>	同上
	<p>ホールを本庁舎に併せ作って頂ける様ですが、収容人数など、現在のホールより、より良いものをと願っております。世田谷区民の芸術に対する質向上の為に尽力頂きたく宜しくお願い致します。</p>	
	<p>意見提出者は世田谷区に在住、世田谷区民吹奏楽団に所属して地域の音楽活動に参加している。本庁舎等整備基本構想（以下、基本構想）では世田谷区民会館の建て替えに関しても言及している。基本構想では、現在の区民会館と同程度の規模として構想されているが、この点については甚だ不十分と感じる。現在、隣接する目黒区や杉並区では、パーシモンホール（目黒区）、杉並公会堂（杉並区）など、1200席前後の大ホールと200席前後の小ホールを併設した音楽ホールが運用されている。また、近隣の市区では、府中市の府中の森芸術劇場や練馬区の練馬文化会館など、1500～2000席規模のホールを備えている。いずれも市区の人口は目黒区は約27万人、杉並区は約56万人、府中市は約26万人、練馬区は約72万人であり、世田谷区の人口が約89万人であることを考えれば、人口に対する施設の貧弱さは否定しがたいものがある。また、基本構想では、上記のような他の市区との比較や類似施設との比較などが全く行われておらず、近隣の市区における現状に配慮した形跡が全く見られない。文化芸術振興基本法第八条では国による芸術の振興がうたわれ、同法第二十五条では、劇場、音楽堂等の充実がうたわれている。加えて、同法第三十五条では、地方公共団体に対して地域の特性に応じた文化芸術の振興に必要な施策を講じる努力が課されている。また、世田谷区文化及び芸術の振興に関する条例の前文では「世田谷は、文化及び芸術の様々な分野において第一人者と目される人々による活動も活発に行われており、まさに日本の文化及び芸術をけん引しているといっても過言ではない。」としているが、海外のオーケストラをはじめとする大規模な演奏会は、区内では昭和女子大学人見記念講堂での公演が中心となっており、近年では世田谷区民会館での文化的に高水準かつ希少価値の高</p>	

分類	意見・提案等	区の考え方
	<p>い音楽後援はほとんど行われていない。これは、区内の学校法人が所有するホールに世田谷区の音楽環境が著しく依存しており、条例第四条「区は、区民が身近な場所で文化及び芸術に触れることができる機会の充実を図るため、事業を実施し、及び環境の整備を行うものとする。」のうち、環境の整備に著しい欠陥があるものと考えなければならない。また、条例第十一条では「区は、学校教育において、児童及び生徒が文化及び芸術に触れることができる機会を設け、並びに児童及び生徒が文化及び芸術に関する活動に積極的に取り組むことができるよう必要な施策を推進するものとする。」としており、学校教育を通じて世田谷区内の文化・芸術活動に触れる児童・生徒にとっても、上質な環境の整備は不可欠であると考えている。また、世田谷区公式HPで公開されている「世田谷区第2期文化・芸術振興計画」では、施策目標2のうち、施策の方向1の【具体的取組み】(3)発表の機会や活動場所の充実として「せたがやジュニアオーケストラの拠点となる場、また、大型の音楽団体や舞台芸術団体が創作、練習活動ができ、多くの区民が日常的な文化・芸術活動を行い、交流の場ともなる「創造・創作・練習室」のあり方について、調査・検討を継続的に行っていきます。」とかかかれているが、基本構想には上記に関する調査・検討を意識した記述は見られない。これらの点を踏まえ、世田谷区の諸施策に合致し、89万の区民に対して十分な芸術活動の環境を整備するには、1500～2000人規模の大ホールを備え、関連した文化施設を併設できる規模の施設が不可欠であると考えている。基本構想では、次の作業段階として、基本計画の検討が予定されている。基本計画では、世田谷区民会館に関する内容がより充実したものとなり、世田谷こそ文化・芸術の発信地と胸を張って区内の文化活動に参加できることを祈っている。</p>	
音楽ホール	<p>区民会館に関しての要望です。(世田谷区民吹奏楽団員として日頃から利用させて頂いています)・客席800～1000だと現在よりかなり少なくなってしまいます。最低でも現状維持、できれば1500程度は欲しいです。・大ホール、小ホールの2つあった方が使い勝手がいいと思います。・楽屋の充実(数・設備とも)、リハーサル室の完備。・せっかく建てるのですから他区に誇れるものを建てて欲しいです。目黒パーシモンなど素敵だなあと思ってます。以上、よろしく願いいたします。</p>	同上
規模(14件)		
規模	<p>人口の増加を考えても、庁舎の拡充は必要です。しかしながら、他区に比べて待機児童の多いことや障害サービスの支給が劣ること等をふまえると、予算配分はしっかりと提示し考えてほしいと思います。</p>	<p>職員一人あたり面積は、23区平均の23.5㎡を下回っております。23区の中でもコンパクトな面積となっており、働き方の改革による事務の効率化等、様々な工夫により、必要最低限のスペースを拡充してまいりたいと考えております。</p>

分類	意見・提案等	区の考え方
規模	<p>2点目は、建物の物理的な広さの問題です。企業というものの善し悪しは結局、人によって決まるということです。「企業は人なり」、この点は官公庁でも同じでしょう。そういった視点で考えると、気になることは、非常勤職員を含めた職員1人当り面積は、約18.7㎡(23区平均は23.5㎡)という点です。23区平均の約8割しかない。私たち区民は決して小さければ小さいほどいい、安ければ安いほどいいという意見ばかりではないと思います。世田谷区がより有能な人材を確保し、区民ファーストで痒いところに手が届く行政を行っていただくという観点から考えれば、建物への設備投資もそれなりのことを考えなければなりません。事務室へのコスト負担を嫌がるよろくなことにはなりません。従業員満足度の向上といった効果以外に、更に仕事の能率向上ということもあります。せめて平均並みのスペースにはしていただきたい。2割のスペース増加でも全体のコストが2割増加にはならないでしょう。「必要最小限のスペースを拡充する」ということで区民の納得を得ようという感じがしますが、果たして60年後の必要最小限なのか、今の必要最小限なのかわかりません。必要最小限ということが時代の変化のなかでも、ある程度の振幅が許容される必要があるのではないかと思います。将来、「今の2,831名を基本に考えたが、それでは済まなくなった。別に事務所を確保しなければならない」となると、今回の「分散した庁舎を1箇所集約する」ということの繰り返しになります。逆に少子化、OA化、分権化、分散処理等、時代の変化でスペースが余った場合でも、区民サービス向上のための有効活用はいくらでも考えられます。それでなくても今はニーズに対応しきれていないのですから。第三セクターに貸与ということも考えられませんか。</p> <p>案P34-3, 本庁舎等の規模について案には、様々な多機能の要素を組み込んでいます。その割には面積が少ないと考えます。そこで、意見を先に述べますと案P74には、c会議室等10%削減とd玄関等を5%削減しています。これは、止めるべきと考えます。借上げ庁舎以外の分庁舎は集中化を取りやめてはいかがでしょうか。理由は、他区の職員一人当たりの面積で10㎡台のところは、新庁舎検討中が多くその検討後の面積を見ると20㎡を超えています。執務室に係る床面積の圧縮する努力は評価します。しかし、行政の仕事はPCが発達しても人が付きものです。自治権の拡充などの対応策も記述されていますが限界があると考えられます。余裕は必要と考えます。案は、民間建築物を参考としていますが、庁舎は廊下スペースが窓口業務を行うと共に待合のスペースにもなります。また区民機能関係を踏まえても面積を確保する必要があります。</p>	同上

分類	意見・提案等	区の考え方
働き方	<p>本庁舎等の建物を整備する必要性として本庁舎機能が 行政需要の多様化 社会情勢の変化 情報技術の高度化に対して柔軟に日常的にも災害時の緊急的にも対応出来ないとの現状を判断する説明は理解出来ます。しかし、その判断理由として庁舎等の建物（スペース）が 老朽化 狭隘化 分散化していることを取り上げていますが、こうしたハード的な状況だけではないと思います。世田谷区の職員数は5000人を超え、幹部職員も2000人を超えています。多くの幹部職員は大組織病体質となり 労害化 考え方・判断の狭隘化 縦割り組織による分散化の弊害が起きています。職員機能の劣化は責任を負うのを避ける前例主義、事なかれ主義、安全安定志向での自己保身主義の職員を生み出しています。こうしたソフト的な機能の向上、強化を避けてハード的な機能の向上、強化だけを図ろうとするのは「問題」です。仮にハード的な施設が整備されてもソフト的な職員意識の改善が無ければ本庁舎機能は向上、強化しません。次に現状の本庁組織（職員数、職務権限、予算等）のまま本庁舎等の整備を考えるのではなく本庁と総合支所（出張所を含めて）を総合して全区的に行政機能の向上、強化考える視野を広げた検討が必要に思えます。</p>	<p>働き方の改革による事務の効率化等、様々な工夫により、必要最低限のスペースを拡充してまいりたいと考えております。</p>
	<p>行政機能については抜本的に見直し、OA等を活用し、合理化できるものは徹底的に合理化し機能性を高める事で空間の無駄を最大限取り除き約10%の占有面積を削減する事でコストダウンを図ってほしい。そのコストダウンをしたお金で出張所の整備を進めてほしい。</p>	
	<p>事務スペースの必要面積を現在のスペースを根拠に算定しているが、これからは電子化が進み、民間企業等では自分の机を持たない事務所も増えている。少しでも建物のスペースを減少させ、住宅地の中に有る区役所として高さを含めたボリュームを最小限とし、建設費削減に努めて欲しい。</p>	
	<p>計画された規模の問題 P76では他地区との比較をしているが、世田谷区独自のコンセプトで数字を出すべきである。説明会では「世田谷区は人気の区で、これからも人口減は念頭にない」と答えていたが、先日NHK番組「縮まるにっぽん」と言う番組を見たが、すでに豊島区は減少が始まっており将来の備え（主に区民サービス）に付いて、真剣に取り組むチームを作っている。決して世田谷区だけが例外とは思えず、人口減＝税収減人口減になった場合の必要な職員数かどうか妥当なのか？再考が必要である。又7地域への分散機能とOA化からこれだけの規模が必要か？これは事業費ともリンクした問題である事は当然。</p>	

分類	意見・提案等	区の考え方
働き方	<p>既に検討委員会をスタートさせているなど、老朽化を一つの理由に建設することを前提にしている感が否めない。事務スペース不足とするが、人員削減を検討していないのだろうか。これからの5～10年後、IoT等による情報の流れや事務処理の進む中、本庁への集中ではなく、支所機能の充実による分散処理が可能となる筈である。現在の本庁舎の規模との比較検討を機能別に提示頂き、何処に重点を置いた構想なのかを具体的に示して欲しい。</p>	<p>職員数については、地域行政を一層展開する観点（減要素）と、新たな政策展開、自治権拡充の観点（増要素）を総合的に考慮し、平成28年度当初の本庁舎及び関連施設に配置されている職員数を基本に規模を想定しております。また、働き方の改革による事務の効率化等、様々な工夫により、必要最低限のスペースを拡充してまいりたいと考えております。今後、具体的な規模の内訳について精査し、さらに縮減の可能性についても引き続き検討してまいります。</p>
	<p>何しろ人を減らして下さい。人が多すぎます。むだが多すぎる。事ムスペース減ります。区民交流・参加といっても常の一部の方々です。ハードはもうたくさん、日本で最悪の待機児童世田谷なにやっているんですか。皆さん横浜市に行つて素直に勉強してください。ないないの語り欲しい。必要の語り、誰のお金でやるんですか我々のお金ですよ！保坂さんもスタート時と変わってきました。世田谷はゼイタクすぎます。もっと市民のお金立場に立って質素に！保坂さん質素ですよ！</p>	
	<p>56,100㎡の大半を占める行政機能(47,300㎡)に関して「スペースが不足」との事であるが、職員1人当たり面積18.7㎡は充分すぎる。23区平均ではなく「民間平均」を併記すべき。本当に職員スペースが足りないならば自宅勤務、サテライト勤務も含め、検討すべきである。</p>	
	<p>現時点での在庫(書類等)備品の棚卸しをし、現行の形が必須かどうか充分吟味する。形式的な書類の数だけでかなりのスペースを取ってしまう。備品は唯一の用途のものはなるべく止め、複数の活用が望めるものを探し省スペースを計る。</p>	
	<p>書類で保存する時代は終わったのでそれほど保管場所はいらぬ。2020年から住民が減少すると思います。職員は減らさないのは変です。私達の税金を大切に使うして下さい。孫の時代に恥ずかしくない行動を取って下さい。</p>	
<p>IT化によって代替できる窓口業務、会議はないか。(face-to-faceであるべきコミュニケーションの必要性の検討と合わせて)</p>	<p>いただいたご意見も参考にしながら、今後、働き方の改革に向け、検討を進めてまいります。</p>	

分類	意見・提案等	区の考え方
働き方	<p>どこから資金を出すのか区民債か。高齢化が進み、介護、農家がへり、いずれ世田谷から農家はなくなります。世田谷区の人口も減ってきます。雨もりをするとか特にそういうことがない限り必要はないと思います。生活保護者が急増し、一人暮らしの老人をどうするか、あすこの職員のあり方、世田谷桜丘区民センター、烏山区民センターは区の職員ではなく契約職員です。ある意味で無責任労働者です。職員のありかたの方を考えて下さい。結論、本庁舎建て直す必要なしと考えます。</p>	<p>現庁舎等には、区政を支える拠点として、災害対策機能をはじめとして改善すべき諸課題があり、現在の敷地を活用しながら、災害対策の拠点としての機能強化や区民サービスの充実、効率的な事務執行を実現するスペースの拡充、施設や設備の環境性能等の機能強化、区民交流・区民参加の機能を高めるスペースの拡充が必要であり、今般まとめた「本庁舎等整備基本構想」は、新しい本庁舎に求められる機能や規模など設計者が設計するための諸条件の大枠を示したものであります。今後、21世紀半ばを長期にわたり区政を支える拠点となる本庁舎等として整備してまいります。</p>
地域行政（20件）		
支所充実	<p>本庁舎の建替えはやむを得ないと思いますが、中央集権 地方分権と言われるように世田谷区は政令指定都市並みの人口であり、本来世田谷市 区と各5区単位(世田谷・北沢・玉川・砧・烏山)をもっと充実させることを考えておられるのでしょうか？集中させることはそこが機能停止になれば全て停止。分散させればリスクの減少にもつながる！この辺をどのようにお考えでしょうか。</p> <p>本庁舎基本構想はよくわかりませんが各支所との関係と機能の充実をはかって欲しい。本庁と支所と同じようなことをするようだが規模の大きな世田谷区です。支所で用事が済むような仕組にして欲しい。文化施設も分散して欲しい。</p> <p>同時に総合支所の充実も検討すべきだと思います。</p> <p>元々の交通の便の悪さから、本庁舎でしか出来ない手続きについて、行くのが大変である。本庁舎に集中せずに分庁舎でもできることを増やしてほしい。ここまで使いにくい古い建築時の利権むきだしの建物を見栄のために維持しようとして話をこじらせている。保坂氏の行動は理解できない。</p> <p>広域の事務を一ヶ所に集中せず出張所や区民センターの充実、拡充を</p> <p>耐震補強まで施した庁舎を壊してよいものだろうか？この地域に立派な本庁舎を建てる意味は無い。主要な駅前にサテライトを設け、区民への利便性を高めるべき。本庁舎機能は川場村へでも移し、東京大震災に備えるべき。世田谷に立派な本庁舎は要らない。時代を先取りせよ！</p> <p>世田谷区は地形的にも離れたところが多いので、今ある地域の総合支所の機能をもっと充実させて、地域住民がそこでいろんな問題が解決出来るように分散した方がよいと思います。</p>	<p>世田谷区では、地域行政を推進する仕組みとして、区の区域を「地区 地域 全区」に分け、区民に最も身近な行政施設として出張所・まちづくりセンター、地域の行政拠点として総合支所、全区的な統括を担う機能を本庁とする三層構造による地域行政制度を推進しています。</p> <p>本庁は、三層構造において、区としての政策方針、計画など全区的な統括を基本に、専門性の高い事務や集中化によるメリットのある事務等、行政サービスの実施機関としての役割も担っています。</p> <p>今後とも、なお一層、事務事業については、地区・地域が担うことを基本に、地域行政の理念の実現を目指してまいります。</p> <p>こうした地域行政の理念、新たな政策展開や自治権拡充の観点を総合的に勘案し、本庁舎規模を想定したところです。</p>

分類	意見・提案等	区の考え方
支所充 実	<p>世田谷区の人口は89万人。これは県・政令指定都市レベルの人口規模です（山梨、高知、鳥取等、堺、新潟市等）。平成の大合併後も高知県には34の自治体があります。住民自治の観点からすると、世田谷区は大き過ぎるので支所レベルで自治が実現できる様な仕組みを考える必要があります。本庁舎建替えよりも新たな支所の設置をし、防災その他諸々の事態に迅速に対応する様にすべきでしょう。まだまだ言いたいことがあります、スペースの関係もあり別の機会に致します。</p>	同上
	<p>区庁舎の建てかえはやむをえないと思います。しかし世田谷区は広く、本庁舎はむしろ不便なところにあります。むしろ、これからは総合支所の機能を充実させ、本庁舎とはコンピューターによって統合をはかり、どうにも本庁舎でなければできないものだけを残した方がよいと思います。そして区民会館やその他区民が利用できる施設を充実させ、文化の中心として、親しみのもてる区役所であって欲しいと思います。410億円は大金です。今やらなければならないことが多くあると思います。順序を考えて熟慮してやって欲しいです。</p>	
	<p>面積縮減の可能性（素案 p34）支所に移管できないか。-たとえば、かつて各支所で扱い現在は本庁舎に戻された建築確認業務は、民間確認制度の導入後に区への確認申請が激減している実態をふまえ、また、街づくり条例改正により建築構想の公表や説明会・意見交換会に関する事務を支所街づくり課が担当していることをふまえ、再度、支所に委ねることはできないか。曜日を決めて、担当者が支所に出向くことも考えられる。（支所毎に、確認受理の曜日を限定するなど、行政改革として実現可能ではないか。）</p>	
	<p>三層構造の見直しをしてから本庁舎の面積、職員数を決めること。1．本庁舎の機能は集中化でなく、分散化してスリム化する。職員一人当たりの面積は23区平均にする。2．総合支所の機能・権限の強化と職員数を充実すること。土木職員を支所に配置し、住民が本庁舎に行かなくとも、全て支所でサービス（用が足りる）を受けられる体制にする。4．まちづくりセンターの見直し、行政サービスの拡充。</p>	
	<p>区民全員が本庁へ伺い事務手続きを必要としていない。各出張所で済む。</p>	

分類	意見・提案等	区の考え方
支所充 実	<p>できるだけコンパクトに。そのためには、区民が身近に利用できる総合支所をより拡充する。また、世田谷支所など、本庁舎から分離できるものは分離する。</p>	<p>世田谷区では、地域行政を推進する仕組みとして、区の区域を「地区 地域 全区」に分け、区民に最も身近な行政施設として出張所・まちづくりセンター、地域の行政拠点として総合支所、全区的な統括を担う機能を本庁とする三層構造による地域行政制度を推進しています。</p> <p>本庁は、三層構造において、区としての政策方針、計画など全区的な統括を基本に、専門性の高い事務や集中化によるメリットのある事務等、行政サービスの実施機関としての役割も担っています。</p> <p>今後とも、なお一層、事務事業については、地区・地域が担うことを基本に、地域行政の理念の実現を目指してまいります。</p> <p>こうした地域行政の理念、新たな政策展開や自治権拡充の観点を総合的に勘案し、本庁舎規模を想定したところ です。</p> <p>また、世田谷総合支所については、区民の利便性向上の観点から、交通至便な三軒茶屋を候補地として、移転整備に向けて、適地を有する事業者と協議を重ねてまいりましたが、その実現には、コストや人員面で課題が大きいことから、世田谷総合支所は、現在の本庁舎敷地内に整備することとしました。</p>
世田谷 支所	<p>災害災害と喚呼されてますが今の技術でできる限り丈夫なものを作るのも結構しかし高い建物はそれを考えても不要ではないでしょうか。日ごろの訓練や心構えのほうが大切です。また区庁舎は区内でも比較的不便なところにあることから世田谷総合支所は三軒茶屋に移すことでシンボルとなるべき本庁舎を建てられることがいいのではと。なんの哲学もなく災害対策と職員の快適さだけを追求した整備方針では困ります。会社企業ではありません。区民のそして公のものです。</p> <p>7月の委員会主催のグループディスカッションでは各班共通意見で「世田谷支所は本庁舎とは別にすべき」と出ました。理由はその分の定員が減れば面積が少なくなります。税金を大切に使ってほしいです。下馬6丁目は渋谷に出て三軒茶屋経由で本庁舎に行きます。</p> <p>また、三軒茶屋に、総合支所が出来るという話が、変わっていることも理解出来ません。合理的な判断で、必要な場所に必要なる庁舎を考えることは、可能ではと思います。三軒茶屋在住主婦</p> <p>世田谷総合支所の本庁敷地内存続の是非の説明と区民意見交換の徹底-世田谷支所だけが本庁舎と同じ場所にあるのは、世田谷地域に住まない者には違和感、不公平感がある。これだけに絞って全区民が集う、説明と意見交換の場を設けるべきである。</p>	<p>世田谷総合支所については、区民の利便性向上の観点から、交通至便な三軒茶屋を候補地として、移転整備に向けて、適地を有する事業者と協議を重ねてまいりましたが、その実現には、コストや人員面で課題が大きいことから、世田谷総合支所は、現在の本庁舎敷地内に整備することとしました。</p>

分類	意見・提案等	区の考え方
世田谷支所	<p>世田谷総合支所を三軒茶屋の NTT 敷地に開発する建物に移すことを希望します。NTTとの確認書では、まだ詳細な利用形態が決められていないとのことですので、民間との共同利用があるとしても、世田谷総合支所を置くことを優先してください。本庁舎整備「予算」約 400 億円のうち、総合支所に充てる予定の金額、及び規模のスリム化などにより既存庁舎の利活用が出来るので、そこで節約した財源を三軒茶屋の建物に充てることで、全体費用は納まる、と言うよりかなりの節約になると思われれます。区民の財産（税金等）は区民のために有効に使って頂きたい。</p>	同上
	<p>世田谷総合支所は、本庁舎から分離し、利便性のある三軒茶屋に移転させる。</p> <p>本庁舎等整備基本構想については、（仮称）新三軒茶屋分庁舎の整備や、三軒茶屋再開発との整合性を測り、ある程度の方向性を示した上で策定する必要がある。素案 p.33「世田谷総合支所は、現在の本庁敷地内に整備することとする」の後に、次のような内容を追加することを提案する。「これに伴い、（仮称）新三軒茶屋分庁舎を整備するが、平成 27 年に三軒茶屋二丁目地区市街地再開発準備組合が設立されていることから、中長期的に産業プラザ、図書館、女性をはじめとする起業や再就職支援（男女共同参画センター等）、民間活力の活用によるコワーキングスペースやシェアオフィス等の機能を一体的に整備し、産業振興の拠点としての機能強化を図る。」</p>	今後の区事業の改善への参考とさせていただきます。
場所（19件）		
交通アクセス	<p>最寄り駅が世田谷線の世田谷駅または松陰神社であり、決してアクセスに優れている立地ではない。一部完成し、さらに今後進ちょくが見込まれる補助 154 号、世田街 5 号（区役所車側道路）、補 52（淡島通り）、補 128 号からのバス路線を将来的に整備すべきである。またその為にバス停や方向転換出来るスペース等、一定規模の路線バス用バスターミナル施設が必要である。なおその整備により、高齢者や体が不自由な方の安心な新本庁舎利用時のバス利用につながります。</p>	<p>現在の場所については、区の中心部に立地しており、下北沢や二子玉川等の主要な鉄道駅からのアクセスに課題はあるものの、最寄り駅である世田谷線の世田谷駅または松陰神社前駅から徒歩 5 分で、路線バスも整備されており、世田谷区全域でみると、比較的アクセスは良好な場所だと考えております。また、区役所西側の補助 154 号線も開通し、周辺の道路環境も改善され、さらに、東京都が進める「木密地域不燃化 10 年プロジェクト」として、不燃化の促進や補助 52 号線の整備にも取り組んでいます。</p> <p>路線バスについては、現在の路線と同数である降車場 1、乗車場 3 の計 4 台分の大型バス用のバスベイを東側道路（世区街 5 号）に沿って配置することとしております。</p> <p>なお、等々力操車所 - 梅ヶ丘駅間の路線バスについても、平成 29 年 1 月の本格運行に向けて現在協議中です。</p>
	<p>世田谷区役所へ行く「バス」の本数が少ない。又、車で行ける人はいいが車が運転できない人は？シャトルバスとまでは言わないが、何とかならないのでしょうか？</p>	

分類	意見・提案等	区の考え方
交通アクセス	バスによるアクセスを今より充実させること	同上
	バスをもっと区役所経由を考える。	
	自宅が上野毛のため区役所に行くのは不便。世田谷区民でありながら世田谷、成城、松原方面への足がないのをどうにかして欲しいです。本庁がきれいになっても我々は全く関係ない次第です。	
	基本構想事案におおむね賛同です。抜本的な視点ですが、本庁舎の場所立地は大変不便です。行きづらいアクセスが悪く、せまい道路にしか接していません。この立地を使用するしかないのであれば交通手段（ミニバスなど）及び駐車・自転車スペースの確保整備をインフラとして行い区民が利用しやすい方法を考慮することが大前提です。	
	多目的な建築物を作っても交通の便が良くなければ無意味。	
	通常等々力支所で済ませますが、我家から遠いので本庁へは行きません。本庁でイベントがあるとアクセスが良かったらと思います。本庁行きのバスがもう少し便利ならと思います。	
	感想 我が家から交通の便が悪く本庁舎を利用したこともなく、これからもたぶん無いと思いますが、世田谷区民として大事な問題として考えてます。	
場所	保坂区長は根本から考え直すべきである。今の庁舎を全部建直すより、目黒区が旧千代田生命本社を区役所としたようにキャロットタワーを区役所とした方が良い。世田谷の中心にあり交通も便利であるから。そして旧区庁舎は、区民会館を補強し、残りは災害時の避難場所と、都内ワースト1の為保育園を作れば良いと思う。新しい区役所は今の場所にこだわる必要もなく、あの低い住宅他に高く大きな建物は、街並を乱すもの。少ない費用で最大限の効果をもたらす考え方に変えるべきで、建築費用は区民の税金との考えにも欠ける。決めたから実施ではなく再考の必要があり、ここからの区民の意見を参考にされたし。	本庁舎の場所については、平成21年にいただいた本庁舎等整備審議会答申において、「場所については、歴史的な経緯等から現在の敷地が望ましい。しかし、交通の利便性等から移転の可能性について、今後、検討が必要である。」とされたのを受け、さらに、移転の可能性について、交通の利便性、周辺環境との調和、災害対策本部としての適性等の観点から検討してきましたが、用地取得や用途地域等の関係で、現在地以外に望ましい場所を見出すことはできず、現在地とすることとしました。 なお、区役所西側の補助154号線も開通し、周辺の道路環境も改善され、さらに、東京都が進める「木密地域不燃化10年プロジェクト」として、不燃化の促進や補助52号線の整備にも取り組んでいます。
	世田谷4-21-27本庁舎の場所が大変不便である 小田急梅ヶ丘駅近くの旧松沢病院跡地を希望します。世田谷線、バスなどの公共交通手段が機能的でない。	
	コルピジェが大切なら廃校する学校等へ移転して建設すればよい	

分類	意見・提案等	区の考え方
場所	基本的に東京23区で一番の人口を抱える区。今後の人口増加率を含めて現在の立地で建て替えは交通事情を含めて将来に渡り大変大きな不便不具合になる。	同上
	一番良いのは区民が利用しやすい立地の所に最新設備を備えた区本庁舎を無理しても保坂区長の力で推進する事です。	
	移転についてを一番賛成しておりキャロットタワーの利用を期待していたので残念である。	
	最後に区在住60年超の私でもアクセスの悪さには閉口します。車で行く方がはるかに早く便利です。でもこれは変えられないでしょうね。まして建替えるのですから、諦めましょう。以上	
	また、場所が区民にとって大変不便な所であり、なぜもっと交通の便の良い所に建設しようとするのか？	
	<ul style="list-style-type: none"> ・本庁舎での事務等行政サービスを担うのは、庁舎の現場所では非効率的です。 ・災害時の本拠地としてこの場所からの対応は大変難しいと考える。 	
	移転でなく現在地での整備になるようなので、安心しました。あの場所は元の地主さんからの区への寄付だったと聞いています。ですから、あの場所を大切にしてください。	
敷地利用（13件）		
敷地利 用	<p>敷地の確保の一助 現在の東西を補助154号線と世区街5号線がありますが、地表は緊急道路として必要な要件を確保してその上部を事務所駐車場などと利用できるように出来ませんか？敷地の確保、災害時の避難場所としての利用等狭い場所を少しでも有効にするために国や都に対する難しい手続きも考えられますが、検討の余地はないものでしょうか。普段は余り縁がありませんが本所を時に訪問した時に駐車場が少なくて困ることがあります。災害時の利用も考えられかなり有効な手段になるのではないのでしょうか。御検討をお願いします。</p>	<p>道路上部利用については、厳しい制限があり困難であると考えます。配置や構成を工夫し有効な土地利用を図るとともに必要な機能などの確保に努めてまいります。 また、来庁者用駐車場については、道路上での入庫待ちが生じないよう駐車台数（約80台）を確保する計画としております。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・法律のプロ集団だから、ギリギリまで条例の許容範囲で共有面積をアップさせる・砧総合支所の北側斜線を厳守（降りは学校）人が住んでいない。するのではなくむしろ緩和して限られた面積を有効的に広く使用して貰いたい。 	<p>配置や構成を工夫し有効な土地利用を図るとともに、法令等を遵守しながら、周辺等の環境とも調和した計画としてまいります。</p>

分類	意見・提案等	区の考え方
駐車 場・駐輪 場	<p>庁舎は業務をするところという考え方と区民の生活の多方面の支援をするところという考え方があると、そのような観点から考え「都庁舎」をぜひ参考にしないで欲しい。例えば駐車場は都民訪問者より「都庁関係者」を第一優先に考え設置されている。従業員の駐車場、関係者業務用の駐車場が第一優先のデパートや公共施設のどこに有るだろうか。都民の利便性は無視されているに近いと思う。また公道から直接パーキング建物に入ることは避けて導入路を設けそこからパ-キングに入るようにした方がよい。現状の入り方は歩行者や道路車にも危険が多い。案内人もあんなにいらなくなる。アナログ人間の存在も忘れないで！</p>	<p>駐車場の出入口については、庁舎等を利用する車両の動線を精査し、安全を最優先として、近隣地に配慮した計画としてまいります。</p>
	<p>お金をかけずにすっきりとした外観を望みます。駐車場も一ヶ所にまとめ車と車の間を広く入れやすくしてほしい。まわりに広場を広くベンチを多くしてほしい。樹木以外はベンチのみで色々他のものはいらない。とに角華美は禁物と思う（区内の電柱はなるべく早く除いて地中にうめてほしい）</p>	
	<p>駐輪場はちゃんとつくって下さい。「まちづくりセンター」にも自転車置き場を作ってください。</p>	
	<p>・駐車場、駐輪場を充分にとってほしい</p> <p>本庁舎を利用して不便と感じたことは、 ・駐車、駐輪スペースです。特に駐輪スペースには屋根（雨にあたらない）が必要です。雨具の脱ぎ着の為。数が不足しています。 ・荷物の搬入・搬出です。荷降ろしから目的の場所までスムーズに運べるようお願いいたします。</p>	
道路	<p>配置イメージ案2が6案の中では一番優れている。1．行政機能を一ヶ所に集中することが可能で、案2'と比較しても機能的である。（広い屋上に災害対応ヘリポートを設置できないか）2．大きな広場（3500m²+1700m²）などで、災害対応も一番優れている。配置イメージ案2'の東側敷地では、広場700m²と600m²で分割狭小となるのは良くない3．庁舎建替による行政機能の停滞が一番少ない（2段階改築で、?期工事後は敷地内庁舎機能を一括収容可能となるのは素晴らしい）-工期も一番短く、事業費も一番少ない。4．周辺への住環境影響も、配置6案の中で一番少ない。5．区民会館ホール保存、東側既存建物保存では、新庁舎への要求仕様を満たせない。3-4段階改築（大規模仮庁舎、長い工期が必要）となり、耐震性が劣る建物がある。前川建築の継承も大切だが、現在の敷地制約からして、失う物が多すぎる。6．配置イメージ案1と案1'はいずれも中途半端。敷地内に建物を分散した結果、行政機能も分散してしまい、現状の不便さ解消しない。広場が不足して災害対応にも劣る。この配置ままでは周辺住環境への悪影響も拡散するので、東西の敷地を分断する区道を廃道とした上で、配置を再検討すべきである。</p>	<p>道路を廃止した場合、日影規制や容積率を敷地一体で考えることができます。敷地が一体となり設計の自由度が高まるなどの効果がある反面、配置計画によっては平均地盤面により、東側敷地の日影規制が実質厳しくなるなどの面もあります。また、廃止する場合、近隣住民の理解が不可欠であることや都市計画の変更等による手続きに時間を要することから、事業スケジュールが数年延長される可能性があります。これらのことを踏まえ、今後、検討を深めてまいります。廃道が困難である場合には、歩行者自転車専用にする等により東側敷地と西側敷地を一体的に利用できるよう検討してまいります。</p>

分類	意見・提案等	区の考え方
道路	<p>全面建替のケースについて述べます。 配置計画では、計画地南北に縦断する区道の廃道が、最優先テーマとされるべきだ。廃道されれば建築基準法等の法的制約を大きくクリアでき、建物高さのありよう、広場の設け方など計画自由度が飛躍的に増す。第3庁舎西側位置に区道の代替的な敷地内道路を設け、災害時の国土館大との一体性を確保し、平時はプロムナードとする。隣接敷地における接道は最小限の位置指定道路確保する。</p>	同上
	<p>都市計画変更を行い、第二庁舎と区民会館の間の道路を潰した上で南側敷地に基準階面積を最小にし、容積率限界まで使って高層棟を建て、残った敷地を広場や公園として活用するのはどうだろうか。(区民会館は高層棟に集約するか別棟を建てる)</p>	
	<p>第一庁舎西側道路は廃止し第一庁舎付近は緑に囲まれたイベント広場はどうでしょうか。</p>	
	<p>敷地中央の区道の廃止に反対します。この辺りは元宿と呼ばれ、後北条時代に入って江戸と小田原を結ぶ相州中央部横断の矢倉沢往還が重視され、宿場が世田谷新宿(上町・下町)に移ったのに対して付けられた名称で、もとは鎌倉道の宿場であったろうと考えられます。元宿台の西端崖上に立つと世田谷城址が俯瞰できます。したがってこの地を敵に占領されることは城防にとって極めて不利であるところから、吉良氏はここに重臣を住まわせ、勝国寺を拠点とした防衛区域としたもので、その重臣の一人がのちに彦根藩世田谷領の代官となる大場氏です。(以上は昭和61年3月世田谷区発行の三田義春著世田谷の近代風景概史からの引用です)つまりこの区道は世田谷の近世の成り立ちを考えるうえで重要な位置を占め、なくなると建築計画が自由にできるなどという傍若無人な発想はこれまでの文化というものを蔑ろにする愚挙にはかなりません。区道から車をなくすのは賛成ですが今のレベルに歩行者空間を作り西側には地上階から西方を眺め下す視線を確保し、先人が残した世田谷の歴史をぜひとも次の世代に伝えたいと思います。</p>	<p>道路を廃止した場合、日影規制や容積率を敷地一体で考えることができます。敷地が一体となり設計の自由度が高まるなどの効果がある反面、配置計画によっては平均地盤面により、東側敷地の日影規制が実質厳しくなるなどの面もあります。また、廃止する場合、近隣住民の理解が不可欠であることや都市計画の変更等による手続きに時間を要することから、事業スケジュールが数年延長される可能性があります。これらのことを踏まえ、今後、検討を深めてまいります。廃道しない場合には、歩行者自転車専用にする等により東側敷地と西側敷地を一体的に利用できるよう検討してまいります。</p>
	<p>世田谷区は他県人口から8番目の人口を抱えている街です。都内で最後の新庁舎になります。多機能・耐久性等を備えた建物にしてください。人口の減少が予想される今後に向かって環七のメトロセブン・環八のエイトライナーの計画は棚上げになるでしょう。それより区道154号線に面した西側にメインエントランスを設け玉電世田谷駅から解りやすい玄関、小田急線梅ヶ丘駅(将来は京王線明大前駅)、大井町線等々力駅から短時間で便利なものになるでしょう。環七と環八のほぼ中間、世田谷区の東西の中間の道路に面する利便性に優れた役所になり公共の交通機関を殆ど使えない現庁舎の駐車場問題も緩和されるでしょう。玄関前はロータリー方式とし、バスの発着に使える様にする。行政防災の拠点になる庁舎。現在の場所では区民にとって解りにくく、多分日本一不便な場所にある役所でしょう。</p>	<p>ご指摘のとおり、補助154号線の整備により、動線も新たな視点から検討することが可能となっていることから、敷地西側の利用も視野に入れアプローチの位置等について検討してまいります。具体的な配置計画等につきましては、道路整備の状況等を見据えつつ、今後、設計者からの提案を受けて、最終的に決定してまいります。</p>

分類	意見・提案等	区の考え方
建物（136件）		
全般	<p>現在の区役所が周辺の環境と調和していてとてもステキです。建築物としても、シンプルで高圧的でなく優しさを感じます。老朽化、手狭と問題点は有ると思いますが他区のように、ただ機能面重視でなく（高層化など）今の子供たちが50年後愛着が持てる区民が集う本庁舎（世田谷区役所）を希望します。</p> <p>区長は独断専行に陥ることなく議会の意見を重視し外観等に拘泥せず内容、質実剛健、利便性、耐久性等を重視して頂きたいをお願いします。</p> <p>まずは、職員が仕事をしやすく、住民も利用しやすく、そして災害時などに住民の安全な避難場所になる様な建て物にしてほしいと思う。</p> <p>提示された構想素案に異論はない（大体キレイゴトを並べるもの）が下記一点の具申を申し述べる。具体設計から兎角新進構想が先走る様な形態作りは止めてもらいたい。過去現在の庁舎、施設の建物がそうであった様に老生には不満の種でもあった。奇を衒う様な外形、外観は絶対止めてもらいたい。</p> <p>1. 専門家の方々の多くは、自己表現のデザインに主きを置かれます。新国立美術館、前・現国立競技場、品川・田町間JR新駅などその例でしょう。2. 区の施設は、長期にわたる区民負担、ランニングコストを考慮して実用にふさわしい建物（長期使用に耐えられる）が良いと考えます。近年多い総ガラス張りは、想定されている地震対策からも好ましいとは思えません。</p> <p>区役所は基本的には災害時などの拠点としての責任と機能を考えると、建て替える必要があります。その際はまず具体的な機能や動線を優先して考えてください。設計の際、建物外観を優先しがちですが、内部から詰めていくべきです。建築家は外観を優先しがちですが、外側の見かけは良くても内部は使いにくい、あるいは雨が漏るなどの欠陥がある例を見聞きます。こうした失敗例にならぬように進めてください。ただし心地よい外観もだいじですから、そののちにデザインを考えます。なお、前川建築のファザードだけを残す方法もあります。完成予想図が先行して出てきた場合は、これではもう終わりだ、と思います。</p> <p>昭和30年代に竣工されていたとはいえデザインがあまりにも斬新過ぎる。そのデザイン料代もかかりすぎたと思う。機能的、効率的な庁舎を希望するため、個性が強いのは柔軟性がない。</p> <p>デザイン反対、設計者の芸術性反対</p> <p>働く人にとっても区民にとっても使いやすい設計にしていきたい。</p>	<p>現在策定を進めております「本庁舎等整備基本構想」は、新しい本庁舎に求められる機能や規模など設計者が設計するための諸条件の大枠を示したものであります。具体的な配置や構成については、今後、設計者から提案を受け、最終的に決定してまいります。設計者の選定にあたっては、区民自治と交流や災害対策の拠点としての庁舎や環境性能などの求められる機能・規模、事業費の抑制、工期の短縮、現庁舎等の空間特質の継承などに対する提案を総合的に評価し、21世紀半ばを長期にわたり区政を支える拠点となる本庁舎等として整備してまいります。</p>

分類	意見・提案等	区の考え方
全般	デザイン偏重にならぬように	同上
	・高層ビルの耐震性のすぐれた建物にしてもらいたい	
	建て替え賛成・シンプルで使い勝手の良いもの。広さなど働く人の立場を考えたものにしてください。	
	デザインは奇をてらわずシンプルであってほしいです。機能は森ビルをお手本にして下さい。森ビルはとにかくすごいです！STUDY Please！（六本木ヒルズ等、耐震、自家発電、エコ等々）	
	経費面についても、よく考えて進めていただきたい。あまり形にこだわらず、シンプルでわかりやすい庁舎にしていきたいと思います。また周辺の案内板の設置にも、わかりやすさに配慮していく必要があります。	
	・庁舎は奇抜なデザインはいらないから震災災害に耐え区民生活を支える需要となるような堅牢なものを（各支所において共通）	
	この基本構想に賛成です。一刻も早く進めるとよいと思います。ただ一点気になることがあります。現庁舎は有名な前川氏が設計された建物であるとか、この庁舎をどうするのかがはっきりしません。有識者を加えて検討し、発表してください。	
	特になし。来る時代に向けて全日本、世界を意識して、ものにしてほしい。物心の調和のとれたものにしてほしい。	
	先日、相談をしに「会議室」というところに入りました。室内に入るのは初めてでした。すぐに「建て替えが必要な位古いなぁ」と感じました。豊洲の問題のようにならないよう、区長はじめしっかりとした計画で色々自慢のできるような庁舎にして下さい。しっかりと嘘のないステキな建物を楽しみにしています。	
	区民が何か思い立ったらすぐに行ける様な開放感、親しみ、安心感が感じられる空間作りに取り組んでほしい。世田谷区は全国的に見てもブランドイメージが高いのでそのブランドイメージを更に高める庁舎作りに取り組んでほしい。	
古く旧式な世田谷庁舎は何時になったら建て直すのか家内と何時も話し合っていました。何処の庁舎にも負けない、しかも贅沢でないものを建てて下さい。		
基本の方針に賛成いたします。しかし基本方針をふまえてついでに豪華なホテルのような庁舎にはして欲しくない。耐震免震、バリアフリーに考慮してさすがは世田谷区だと区民が思うものにしてほしい。		

分類	意見・提案等	区の考え方
全般	<p>・デザイン：私の街の区役所はこんなに素敵と人に自慢できるようなデザインを希望します。外に開かれ、中で働く方々も気持ち良く過ごせる区役所にしてください。緑も都会的な部分もある世田谷区を体現するような。</p>	同上
	<p>・「人間らしく生きる」「これからの困難な時代を創造力で越えていく」ことが、区民にも職員にも保障されるようなイメージを反映しているものにしてほしい。特に効率ばかり追い求める働き方をやめる、働く人にやさしいとはこういうスタイルと示せるような建築物であるべき。</p>	
	<p>・優しく平和になりたい気持ちになれるデザインにしてください。</p>	
	<p>私たち、世田谷に住む、人間が、世田谷区庁舎を誇りに思える建築物にして欲しいと思います。単なる奇抜さや、有名な建築士の建物ではなくて、世田谷区民が、自由に入りに来て、役所と、みどり政策課でプランを募集しているように庁舎の敷地にその生きものがいる場所にして欲しいと思います。</p>	
	<p>資金を節約し過ぎて後悔することのないものを建ててください。以上宜しくお願い致します。</p>	
	<p>世田谷区の本庁舎等の建て替え案は、機能や効率などだけに触れ、その建築としての美しさや、世田谷の象徴としての文化的な意義が無視されている事に怒りを感じています。いつになったら日本人は、建築の文化としての重要性に気づくのでしょうか。私は、この7月に悠光堂から出版した「美しい国日本へ」で、新しい家が続々と建つ東京の住宅を含む建築物の多くが機能と経済性だけを追いかけ、文化の香りを全く持たず、おもちゃ箱をひっくり返したような統一性も美しさもない町並みになっていることを批判し、パリなどを例に挙げ、同じ金をかけるなら百年後に日本の宝になるような美しい街にすべきことを提唱しました。もし世田谷区が文化の面で他区に先んじるなら、世田谷の文化を象徴し、後世において区民の誇りとなり、文化財になる庁舎を建てるべきです。</p>	
	<p>基本構想の考え方はよいが、当該施設が将来長期にわたり(できれば100年以上)機能し歴史的遺産として評価されるような芸術的視点をもってもらいたい。「世田谷らしさ」とはどういうことか、そういった観点もほしい。</p>	
	<p>建物は建築家の哲学や思想が入っています。そんな建物で仕事をすれば結果良いものを創造して行くでしょう。プレハブ建物のようにしたら、その中で良い考えなど生まれません。</p>	
	<p>いつも色々とお世話になって居ります。新しくなるの賛成です。</p>	
	<p>「保存改修は情緒論」と議会で発言している議員もいることに心を痛めています。「建築文化論」を大切に、庁舎整備構想(素案)」を提起する保坂区長を応援します。</p>	

分類	意見・提案等	区の考え方
全般	耐震化は必要。利用者動線をスリム化させた上で必要最低限のバリアフリー化をすべき。	基本の方針2で掲げた「区民の安全・安心を支える防災拠点となる庁舎」を目指し、災害対策本部として、区民の生命や財産を守るための機能を強化してまいります。
	シンプルで使いやすい庁舎にしてください。訪れる方やそこで働く方が使いやすい建て物を。ガラス貼りや豪華な建て物はいりません。安心・安全で非常時にも大丈夫なものを。緑も豊かに。赤ちゃんとママの為に授乳室とか障害のある方のトイレとか車イスで移動しやすい段差のない通りやスロープとか。	また、基本の方針3で掲げた「すべての人に分かりやすく、利用しやすい、人にやさしい庁舎」を目指し、ユニバーサルデザインの考え方に基づき、整備を進めてまいります。
	・建築の寿命は、その物理的な耐用年数によってよりは時代が求める機能によって決まっています。新しい庁舎はできるだけフレキシブルに未来の変化に対応できるものにして下さい。	本構想においても、基本理念を実現するための踏まえるべき視点として「フレキシブルで長寿命・持続可能な本庁舎」を掲げており、将来の様々な変化に対応できる庁舎となるよう工夫してまいります。
	建て替えずに、現庁舎の問題点を解決する方策についての説明現状の問題点として・災害対策拠点としての機能が不十分、・窓口や待合スペース、事務スペースが不足、・省エネルギーやバリアフリーへの対応が不十分、・区民交流・区民参加の機能を高めるスペースが不足の4点が挙げられているが、建て替えなければこれらを解決できないという説明がない。	ご指摘の課題等については、整備の必要性について示したものであり、具体的な配置や構成については、今後、設計者から提案を受けて、最終的に決定してまいります。
改築	名前や権威（世界遺産設計者の弟子）に頼るのではなく、使いやすさ（区民にとっても職員にとっても）快適さを重視して（防災も）経費を考えたものにして下さい。保育士介護士の処遇改善、緑と水のスペースなど区の課題は多い中、経費を大切にしてください。有名人が設計したものだから保存するというようなことで、無駄使いはしないでください。権威におもねるのはよくありません。参考までに杉並区庁舎前の有名人彫刻家S氏作製のものより、無名の方の「くじら」と呼ばれている彫刻の方がすぐれています。	現庁舎等には、区政を支える拠点として、災害対策機能をはじめとして改善すべき諸課題があり、現在の敷地を活用しながら、災害対策の拠点としての機能強化や区民サービスの充実、効率的な事務執行を実現するスペースの拡充、施設や設備の環境性能等の機能強化、区民交流・区民参加の機能を高めるスペースの拡充が必要であり、今般まとめた「本庁舎等整備基本構想」は、新しい本庁舎に求められる機能や規模など設計者が設計するための諸条件の大枠を示したものであります。 本庁舎等に求められる機能は、5つの基本の方針としてまとめ、区民自治と協働・交流の拠点としての庁舎、区民の安全・安心を支える防災拠点となる庁舎、すべての人に分かりやすく、利用しやすい、人にやさしい庁舎、機能的・効率的で柔軟性の高い庁舎、環境と調和し環境負荷の少ない持続可能な庁舎を目指し、必要な規模（本庁舎規模：約53,000㎡）を確保し、今後整備を進めていきます。 整備については、50年以上区民に親しまれてきた本庁舎、区民会館、広場等の空間特質をできるだけ継承する計画とすることとしております。さらに、本庁舎等の課題を踏まえ、求められる機能、規模の確保とコスト削減、工期短縮等の最も合理的な事業計画の実現を前提に、現庁舎等の活用も考慮することとしております。 具体的な配置や構成については、今後、設計者から提案を受け、最終的に決定してまいります。設計者の選定にあたっては、災害対策や環境性能などの求められる機能・規模、事業費の抑制、工期の短縮、現庁舎等の空間特質の継承などに対する提案を総合的に評価してまいります。

分類	意見・提案等	区の考え方
改築	<p>世田谷区の庁舎は狭く古いうえ建物が分散して区民にとり使い勝手がきわめて悪い。また災害時には地域の救援、復興の中核基点となることは熊本地震等災害時対応の大きな教訓である。他区の新庁舎にみられるように近代的機能的で耐震性を十分に備えた新庁舎を少しでも早く完成させてもらいたい。現行建物の遺産継承など瑣末な議論をしている暇はない。</p>	同上
	<p>改築の話が出てから、何年経つだろう。先日或る議員に聞いてみた。区長が今の建物にこだわりを持っていて一部を残そうとしていて、話が前に進まないという。何年先の設計か知らないが、今の区役所は貧乏の象徴の様な物、鉄筋コンクリのバラックだ。世田谷の恥だ。早くあんな建物と決別し新庁舎を建てるべきだ。先生の作なんていうのは止めよ。中層にしてゆったりした方が後々の事を考えると良いのではないか。耐震を考える余り美観を損なうような建物を作らないで下さい。</p>	
	<p>50年以上経過している、建物を補修しても完全な建物は出来ないとします。この際思いきって初めに区民会館を解体し、そこに本庁舎を建て本庁舎の跡地に区民会館を建てた方が良いと思います。理由としては補修の方が費用が多くかかり尚且つ完全なものが出来ません。会館跡地に庁舎を作れば一回の移動で済み、経費は少なくて良い建物が出来るとします。また、補修工事では騒音で職員の方達の業務に支障を起し、又来庁舎の人達にも同様迷惑もかかります。会館のない分は、近くの大学の講堂等を借用すればよいと思います。</p>	
	<p>私は世田谷区本庁舎等は建て替えた方が良くと思う。以前私は何回か区民会館を使ったことがあったが、正直古い建物だと思った。私たちが使った時は雨漏がひどく老朽化しているなど感じた。いずれはとりこわすことになるのなら今やるべきだと思う。首都直下もいつ起こるかかわからないので早め早めの対策が必要だと私は思っている。つくりかえる時は明るいイメージの建物にしてほしい。</p>	
	<p>世田谷区の本庁舎は見るからに古く耐震性からも建替えを希望致します。先ず区民の一人として多額の区民税を払っており誇れる庁舎にしてほしいです。今は担当部署毎に分かれておりとても不便</p>	
	<p>ル・コルビジェの弟子設計だとしても、そんなに魅力的な建物とは思えない。保存する必要はないと思う。明るく温かみのある庁舎にしてほしい。</p>	
	<p>区役所は文化財ではない。未来に向かって素晴らしい環境での仕事が第一義</p>	
	<p>地元との景観融合も必要だが本来の区役所機能を達成できるものを建てるが第一義</p>	
	<p>最悪現在地で立て替えをしなくてはならない場合は、昔の前川國男氏の設計した建物を一部保存は、全く無意味であり経費の(税金)ムダ使いになる。絶対にやってはいけない整備です。</p>	
	<p>現庁舎等の空間は廃止。何回も行くが味なし。災害対策にじゃましないことが重要。</p>	

分類	意見・提案等	区の考え方
改築	ルコルビジェの名にとらわれた保存方針は女性利用者から極めて不評である。区民の使い勝手を最優先させる基本設計であること。妙に凝った「近代的」なものは×	同上
	現庁舎の文化的価値など大したものではないでしょう。そんなものよりもしっかりとした防災拠点機能をもった新庁舎をコストかけずに建設するよう知恵をしばっていただきたい。	
	前川國男先生の建物を残すことにこだわりすぎるのはどうかと思います。防災の拠点にはできないのではないかと邪魔になってしまうのでは？歴史は歴史として残し、これからの世田谷区・区民のためのどこの自治体よりもすぐれた庁舎を建設してほしいと思っています。	
	耐震性のある建物に作りかえてほしい。（特に第1庁舎の5号線のポストあたりのひさしがくずれるとこわい）	
	年に1～2回訪問する程度ですが、昨年はあまりの古さに職員に築年数を確認した次第です。最もビックリするのがトイレです。たまに地方の中規模工場においてビックリする様なつくりのトイレに遭遇しますが、貴所のトイレには衝撃を受けました。暖簾の様なものが下がり、職員も共用されているようで実にお気の毒です。コルビュジェの弟子の建築物故、「残して欲しい」という意見がありますが、その必要は無いと考えます。見物する建物ならば残してもいいでしょうが、区役所の執務場所という性格からすると機能優先で構いません。まずは高層化して職員が働きやすい場所にすべきです。細かい仕様は専門家に任せます。	
	・現庁舎の建築は必ずしも文化遺産としての水準のものではないと考えます。前川國男のものだから残すというのは本末転倒だと思えます。	
配置イメージ案2が6案の中では一番優れている。1．行政機能を一ヶ所に集中することが可能で、案2'と比較しても機能的である。（広い屋上に災害対応ヘリポートを設置できないか）2．大きな広場（3500㎡+1700㎡）などで、災害対応も一番優れている。配置イメージ案2'の東側敷地では、広場700㎡と600㎡で分割狭小となるのは良くない3．庁舎建替による行政機能の停滞が一番少ない（2段階改築で、1期工事後は敷地内庁舎機能を一括収容可能となるのは素晴らしい）-工期も一番短く、事業費も一番少ない。4．周辺への住環境影響も、配置6案の中で一番少ない。5．区民会館ホール保存、東側既存建物保存では、新庁舎への要求仕様を満たせない。3-4段階改築（大規模仮庁舎、長い工期が必要）となり、耐震性が劣る建物がでる。前川建築の継承も大切だが、現在の敷地制約からして、失う物が多すぎる。6．配置イメージ案1と案1'はいずれも中途半端。敷地内に建物を分散した結果、行政機能も分散してしまい、現状の不便さ解消しない。広場が不足して災害対応にも劣る。この配置ままでは周辺住環境への悪影響も拡散するので、東西の敷地を分断する区道を廃道とした上で、配置を再検討すべきである。		

分類	意見・提案等	区の考え方
改築	<p>現庁舎に残すべき価値はないと思う。改修工事は予想外のコストが発生したり工事が遅延することも多々あるので、取り壊しの上最新の技術を用いた新庁舎を建てるべきである。</p> <p>・旧庁舎は保存しなくてよい。人間にとって良い建物でもないのに名前（権威）だけで保存するのに反対。</p> <p>第二庁舎、区民会館はこわす。建物は1つにする。第一庁舎区民会館の土地の真ん中に地下一階、地上七階建てにする。1階～5階迄を区役所業務に使用、七階に区民ホール（大・小）二つに分ける。現在の第2庁舎は防災関係と待機児童館、六階は全国名産店を置く。</p>	同上
空間特質	<p>なんでもかんでも再開発され、世代をまたいだ共通の風景思い出の風景が消えていくのは許しがたいと思っています。当時近代建築だった世田谷区役所も今では古典的建築となりましたが、この風景は消して欲しくありません。絶対必要な手当はしても、ピカピカ新しくなっても、つまらない建て物にはして欲しくありません。世田谷区役所はあの広場でお弁当を食べながらしみじみ見ると、細いところがシャレしていて楽しめます。この建築家の思想愛情を感じるからでしょう。いい建物です。この思想を受け継いでくれるならうれしいです。</p> <p>保坂区長は世田谷の誇りです！私は世田谷に住む以前から、保坂さんの活動と生き様を大変尊敬しておりました。区長になられた時、どんなに嬉しかったことか！区長は宝ですよ！本庁舎は本当に古く、まず防災上の安全が守られ機能が果たされなければなりません。ようやく・・・ですね。遺産のコンセプト（前川氏の）も踏襲しつつ最善の建物になりますように、区長の決定を全面支持します！広く意見を求め、議論を重ね、権力をふりかざさない、素晴らしい開かれた区政です！感謝感謝！</p> <p>区役所が巨匠前川國男設計と今回はじめて知りました。どのように整備されても前川デザインのおもかげが残るようにと願っております。</p> <p>ご担当者の皆様長きに渡る事業のとりまとめ大変お疲れ様です。一住民として、緑道保存など、歴史やぬくもりを大切にしている世田谷区の景観にはいつも癒されています。世田谷区の景観づくり政策のおかげで、心地よく、また誇りを持って生活させていただいています。庁舎整備にあたっては区の職員の方の執務がはかどるように整備することは非常に重要です。ただし、現在の、ぬくもりのある建物外観、緑、中庭の雰囲気は、なんとしても維持していただきたいと思います。両立できる良案を心より期待しています。</p> <p>「空間特質の継承」に賛同します。もしも、どこの区役所・市役所も同じようなつくりになってしまったら、非常につまらないと思います。ぜひ、「建物が広場を取り囲む」世田谷区役所の空間特質を、世田谷の財産として、後世に伝承してほしいです。</p>	<p>現庁舎等には、区政を支える拠点として、災害対策機能をはじめとして改善すべき諸課題があり、現在の敷地を活用しながら、災害対策の拠点としての機能強化や区民サービスの充実、効率的な事務執行を実現するスペースの拡充、施設や設備の環境性能等の機能強化、区民交流・区民参加の機能を高めるスペースの拡充が必要であり、今般まとめた「本庁舎等整備基本構想」は、新しい本庁舎に求められる機能や規模など設計者が設計するための諸条件の大枠を示したものであります。</p> <p>本庁舎等に求められる機能は、5つの基本の方針としてまとめ、区民自治と協働・交流の拠点としての庁舎、区民の安全・安心を支える防災拠点となる庁舎、すべての人に分かりやすく、利用しやすい、人にやさしい庁舎、機能的・効率的で柔軟性の高い庁舎、環境と調和し環境負荷の少ない持続可能な庁舎を目指し、必要な規模（本庁舎規模：約53,000㎡）を確保し、今後整備を進めていきます。</p> <p>整備については、50年以上区民に親しまれてきた本庁舎、区民会館、広場等の空間特質をできるだけ継承する計画とすることとしております。さらに、本庁舎等の課題を踏まえ、求められる機能、規模の確保とコスト削減、工期短縮等の最も合理的な事業計画の実現を前提に、現庁舎等の活用も考慮することとしております。</p> <p>具体的な配置や構成については、今後、設計者から提案を受け、最終的に決定してまいります。設計者の選定にあたっては、災害対策や環境性能などの求められる機能・規模、事業費の抑制、工期の短縮、現庁舎等の空間特質の継承などに対する提案を総合的に評価してまいります。</p>

分類	意見・提案等	区の考え方
空間特質	<p>現在の区民会館と第一庁舎、中庭等がつくる空間の人への影響を評価すべき。建築物は、そこで時間を過ごす人の心のあり方に大きな影響を及ぼす。現庁舎のような心をこめて設計された建築物が区職員に目に見えない形で影響を与え、「先進的」といわれた世田谷区行政を導いてきたのではないだろうか。このような建築物そのものもつ力は、新しい建築物により「空間特質の継承」を図ることでは、なかなか得がたいものである。世界遺産に登録された国立西洋美術館設計者ル・コルビュジェの弟子による設計というだけでなく、このような空間の力を評価していただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「本庁舎、区民会館、広場等の空間特質の継承」に賛成。 <p>○案P17、P44に現庁舎等の空間特質について、「空間特質をできるだけ継承する」と触れていますが、「できるだけ」は削除すべきと考えます。また、「建築に囲まれた中庭空間の広場を中心に分棟しそれを繋げるピロティが、現庁舎の空間特質」の考え方でこれは、変える必要がなく発注者である区が設計者に明確に言うべき事項だと考えます。</p>	同上
部分保存	<p>現庁舎を歴史遺産として残す場合は、シンボリック部分に限定し、モニュメントとして新庁舎に組み込む。</p> <p>本庁舎の再整備は賛成です。再整備にあたり、第一庁舎など、前川國男氏がデザインされた施設については、近代建築としての価値が高いとの評価がありますので、極力部材や意匠を再利用し”ほぼそっくりに新築する”ような方向性でゆくことが適当と考えます。</p> <p>歴史ある建物とのこと、外観だけでも残す。</p> <p>名建築物として建て替えせず部分的に整備できれば保存してほしい。</p> <p>最後に、現庁舎の建物を残すかどうかですが、私は、ヨーロッパの古い建物が残る街並みに魅力を感じています。地震国である日本との違いがあるでしょうが、古いものを残すことも必要と考えます。耐震工事を十分に一部残してほしいと思います。</p> <p>区役所の庁舎の歴史的価値は大きいので、できれば一部でも残してほしい。保坂区長の「現庁舎の景観を継承する」という考え方に賛成だ。一部を保存し改修してもらいたい。その方法は、費用がかさむという意見が自民公明の多数から出ているようだが、それなら、全面改築で、今の建築に劣らない、歴史も踏まえたような、世田谷独自の木造建築の庁舎にしてほしい。今の技術なら、木造建築でも耐震強度をクリアした建造物が作れるはずだ。無機質なコンクリートの建物はやめてほしい。</p>	<p>現庁舎等には、区政を支える拠点として、災害対策機能をはじめとして改善すべき諸課題があり、現在の敷地を活用しながら、災害対策の拠点としての機能強化や区民サービスの充実、効率的な事務執行を実現するスペースの拡充、施設や設備の環境性能等の機能強化、区民交流・区民参加の機能を高めるスペースの拡充が必要であり、今般まとめた「本庁舎等整備基本構想」は、新しい本庁舎に求められる機能や規模など設計者が設計するための諸条件の大枠を示したものであります。</p> <p>本庁舎等に求められる機能は、5つの基本方針としてまとめ、区民自治と協働・交流の拠点としての庁舎、区民の安全・安心を支える防災拠点となる庁舎、すべての人に分かりやすく、利用しやすい、人にやさしい庁舎、機能的・効率的で柔軟性の高い庁舎、環境と調和し環境負荷の少ない持続可能な庁舎を目指し、必要な規模（本庁舎規模：約53,000㎡）を確保し、今後整備を進めていきます。</p> <p>整備については、50年以上区民に親しまれてきた本庁舎、区民会館、広場等の空間特質をできるだけ継承する計画とすることとしております。さらに、本庁舎等の課題を踏まえ、求められる機能、規模の確保とコスト削減、工期短縮等の最も合理的な事業計画の実現を前提に、現庁舎等の活用も考慮することとしております。</p> <p>具体的な配置や構成については、今後、設計者から提案を受け、最終的に決定してまいります。設計者の選定にあたっては、災害対策や環境性能などの求められる機能・規模、事業費の抑制、工期の短縮、現庁舎等の空間特質の継承などに対する提案を総合的に評価してまいります。</p>

分類	意見・提案等	区の考え方
保存	ル・コルビジェの弟子である前川國男氏。作品は「世田谷遺産」として保存すべきと考えております。国立西洋美術館とほぼ同時期に建設されておりその歴史的価値は極めて高く世田谷区だからこそ取組めるプロジェクトであろう。	<p>現庁舎等には、区政を支える拠点として、災害対策機能をはじめとして改善すべき諸課題があり、現在の敷地を活用しながら、災害対策の拠点としての機能強化や区民サービスの充実、効率的な事務執行を実現するスペースの拡充、施設や設備の環境性能等の機能強化、区民交流・区民参加の機能を高めるスペースの拡充が必要であり、今般まとめた「本庁舎等整備基本構想」は、新しい本庁舎に求められる機能や規模など設計者が設計するための諸条件の大枠を示したものであります。</p> <p>本庁舎等に求められる機能は、5つの基本的方針としてまとめ、区民自治と協働・交流の拠点としての庁舎、区民の安全・安心を支える防災拠点となる庁舎、すべての人に分かりやすく、利用しやすい、人にやさしい庁舎、機能的・効率的で柔軟性の高い庁舎、環境と調和し環境負荷の少ない持続可能な庁舎を目指し、必要な規模（本庁舎規模：約53,000㎡）を確保し、今後整備を進めていきます。</p> <p>整備については、50年以上区民に親しまれてきた本庁舎、区民会館、広場等の空間特質をできるだけ継承する計画とすることとしております。さらに、本庁舎等の課題を踏まえ、求められる機能、規模の確保とコスト削減、工期短縮等の最も合理的な事業計画の実現を前提に、現庁舎等の活用も考慮することとしております。</p> <p>具体的な配置や構成については、今後、設計者から提案を受け、最終的に決定してまいります。設計者の選定にあたっては、災害対策や環境性能などの求められる機能・規模、事業費の抑制、工期の短縮、現庁舎等の空間特質の継承などに対する提案を総合的に評価してまいります。</p>
	全面改築には反対します。名建築、美しい建築を保存し、後世に残して、将来は必ずや「残してよかった！」と思うような改修をするべきです。新しい物はほろびます。古い歴史ある物が、結局は認められ、地域おこしにもなることは、日本各地でもみられています。新潟、塩沢の牧之通りは見事な景観でアジアの賞に輝きました。世田谷区役所庁舎、区民会館も見学者他も増え、必ず地域のため区民、都民、国民のためになります。	
	全面改築には反対します。個性ある区役所庁舎、区民会館を残して下さい。耐震性、バリアフリーなど、工夫改善し、できるだけ現庁舎の景観を残し、世田谷は名建築を大切に、区民を大切に、自然を大切にしていること、すべて経済優先でないことを発信して下さい。「こわさなかったら今ごろ世界遺産」と言う物が日本にはたくさんあります。全面改築絶対反対。	
	現存の、前川國男設計の庁舎の保存を基軸とするプランを望みます。現庁舎と区民会館、そして広場などは20世紀後半の日本を代表する建築家である前川國男の功績を後世に伝える貴重な作例です。発想を変えて、耐震補強など施した上で、完璧に保存・保全すればやがて国の重要文化財に指定される、などということが起こらないとも限りません。ともかく、現存の前川作品の保存を基軸とするプランの作成と実施を要望します。	
	世田谷区在住渋谷区の会社で勤務をしています。仮庁舎の近くで働いていますが、渋谷区の代理店出身バカハデ区長と同じ道を世田谷には歩んでほしくない。解体するのは1番簡単、ホテルオークラ、国立競技場の例をとってももったいないことです。耐震強化して一流の建築家の先生を交え新しいスタイルで築いてほしい。役人にも区民にも優しく納得出来る形を！（100%じゃなくても歩みよる）残す、ヨーロッパの特に古いものをきちんと残す、使う、大事にすることが子供達へのリレーにもなる。	
	本庁舎、古き良き物を残して下さい。折角のル・コルビュジエ思想のデザイン建築を残して下さい。壊したら似た様な物を作っても重さが無いです。耐震は内側からの補強を計り外観は建築当初のイメージに基づき外装、世田谷区の売りにしたらと思いますが如何なものでしょうか。世田谷区在住56年、区役所の外観が好きです！	
	前川國男氏設計の第一庁舎、区民会館を生かす改修案の検討を希望します。一部増築改修工事に対応できると聞いています。多様な案の提案をお願いします。	

分類	意見・提案等	区の考え方
保存	<p>世田谷区役所の本庁舎整備について、自分自身の考えを言わせていただきます。自分は世田谷区出身であり、世田谷区に対する愛着は非常にあります。この世田谷区役所は50年という長い歴史があり、世田谷区の心臓として、区民に親しまれ、どんなときでも世田谷区を守ってきました。この建物は、故前川國男氏という偉大な建築家によって設計されており、文化的にも価値があります。歴史・文化・区民の方たちの思い出などを尊重した上で、次世代に引き継いでもらうことがもっともよい選択だとおもいます。今回の世田谷区役所と同様、学校や区民の施設（図書館など）も次世代に引き継いでもらうことを望んでいます。学校は自分たちや先輩たちが学んで、思い出を作った場所であり、それと同時にその地域を見守ってきた存在です。区民の施設は区民の方たちが親しんできた場所です。改築をすれば、その場所に二度と足を踏み入れることはできなくなり、それと同時に、その場所での思い出などは消えてしまう印象になります。学校や区民の施設も改築することには賛同していません。最後になりますが、現在の建物を壊すことなく、耐震補強と改修をした上で世田谷区役所の第一庁舎、第二庁舎、区民会館のすべてを残すことを願っています。</p> <p>古くて良いものは残して下さい。補修の費用はかかるでしょうが直すより新しくした方が経済的だ。という悪しき考えを過去のものにして下さい。古くなって風格のただよつものを“美しい”と感じる人を育てて下さい。日本はいつから効率ばかり考えるようになったのですか。新しくすると利権がからんで得する人が居るからでしょう？と心ある人達はそう思って、なりゆきを諦観するより他ないのです。保坂区長の時ぜひぜひ日本中に良い見本として残せるように。モットイナイ精神を！</p>	同上

分類	意見・提案等	区の考え方
保存	<p>世田谷区役所の第一、第二庁舎と世田谷区民会館は日本の近代建築家を代表する前川國男氏の設計したものです。それは世田谷、東京都、日本のかけがえのない財産です。現在使い勝手が悪い、耐震が不十分等、とすることで壊して新しく建て替えてしまうことは、近代建築史を無視し、将来に対してそれを残す責任を私たちが放棄する無責任な選択であると思います。使い勝手や耐震については、今の建築技術を駆使すれば、今の庁舎、区民会館をそのままの状態にしたままで改修できると思います。世田谷区が世田谷にある歴史的文化的財に対する意識をより高め、その保存と活用に今まで以上にしっかり取り組むことを望みます。近代建築の代表である前川國男氏の建築である庁舎、区民会館は、広く区民以外にも様々な人たちに愛され、研究対象になり、世田谷区にとって大きなプラスのイメージにもなると思います。前川國男氏はル・コルビジエに学び、都市に貢献する建築を考え作ってきた建築家だということです。その建築はこれからも未来へ、私たちが区庁舎、区民会館として毎日利用することによって受け継がれていきます。私は今まで前川國男氏を不勉強で残念ながら知らなかったのですが、今回の区庁舎、区民会館建て替え、ル・コルビジエの建築である国立西洋美術館の世界遺産登録で初めて知ることになりました。建築の専門家でない他の区民の方々、また世田谷区役所で仕事をされている職員の方々、区議会議員の方々の多くも、失礼ですが前川國男氏のことを良く知らないか、全く知らないと推測されます。ですからこれを機会に、前川國男氏について、彼の建築の歴史的意味をそれぞれがしっかり勉強して、壊して建て替えるのではなく、逆に前川國男氏の建築した第一、第二区庁舎、区民会館を尊重し、愛し、未来へと蘇らせてほしいです。参考に区民の方のブログ「全国の庁舎建築のモデルとなった名建築」の抜粋を載せます。前川國男の「世田谷区庁舎」を観た！前川國男の「世田谷区庁舎」を観てきました。たまたま区役所に用事があって久しぶりに訪れた、というわけです。一般の人は区役所の庁舎などは観に行く、というものではありません。庁舎は観るものではなく、たんに利用するだけのことです。僕の場合、結婚して世田谷に住んで長く、子供も世田谷で育ちました。その間、世田谷区庁舎は何回となく利用し、区庁舎に足を踏み入れ利用するだけでも誇らしく思いました。なにしろ設計者があの前川國男であり、全国の庁舎建築のモデルとなった名建築だからです。あまりにも身近にあり、今までブログに取り上げたことがなく、今回初めて取り上げたわけです。とういうのも、ここ数年、前川建築があちこちで取り壊しの危機に陥っていることがあります。例えば「神奈川県立音楽堂」や「京都会館」などがそれです。「世田谷区庁舎」もごたぶんに漏れず建て替え問題が起こっています。世田谷区では「区役所の第1庁舎、第2庁舎および世田谷区民会館は、建築後約40年から50年が経過しており、老朽化が進んでいます」として、「区役所本庁舎について改築の方向で検討を進めていきます」としています。後略</p>	同上

分類	意見・提案等	区の考え方
保存	<p>「世田谷区にしかない」ものとして本庁舎等を世田谷区登録有形文化財に登録し世田谷区指定有形文化財として指定するとともに、前川國男の本来の設計意図を踏まえた「世田谷区らしさ」の象徴としての保存・再生・修復を強く要望する。災害対策、ユニバーサル化、増床、費用等その他の要検討事項は良案があることを信じて、またそのためのプロポーザル方式であると考えてるので、これを省き、以下においては上記の趣旨に沿ってのみ私見を申し上げます。本庁舎等の設計は前川國男の手になる。彼は、20世紀を代表する3大建築家のひとりコルビュジェの直弟子である。ピロティ、第一庁舎のステアケース、2階の高さの水平線の広がりなどから片鱗は窺われるが、なにしろ後から加えられた無粋な補強等やひどい汚れのため、本庁舎等の雑然とした現状からコルビュジェ流のデザインは分かりにくい。しかるべき修復を施せば本来のエlegantな姿は回復できるだろうし、そうする価値があると考えてる。歴史的に見ると前川の兄弟弟子や前川の門下筋のなかから日本を代表する世界的な建築家が次々と輩出された。日本人が敗戦から民主主義構築と経済復興のために真摯に奮闘し、やがて高度成長へと結実して行く、貧しさのなかにも希望を感じる、振り返れば輝かしい時代背景のなかで本庁舎等は生まれた。前川らが敗戦により考えた建築における民主主義とは、簡単に言ってしまうと「みんなの建物・場」であって、厳つい権威主義的なものではなく入りやすい感じのよい建物、開放感のある場の提供である。本庁舎等に即していえば前川の頭のなかでは区庁舎等は区議会議員や区役所職員だけの建物ではなく一般区民が入りやすい建物、スペースをいろいろなことと比較的自由に使ったり休憩したりできる場にすることであったと考えられる。具体的にはピロティにより得られるその先との視覚的つながり、中庭のゆったりとした広さ、区民会館のガラス壁面は外からは1階のフロア・イベントが見え中からは外が見えるので開放感を生む。中庭が暗くなり圧迫感が生じないように建築物を低層にしていることなどに見ることができる。これら建築物と中庭一帯をひとつのものと捉えるべきである。したがって本庁舎等の文化財的価値はもちろんのこと、歴史的意義も高い。現に2013年に「モダン・ムーブメントにかかわる建物と環境形成の記録調査および保存のための国際組織」(「ドコモモ」)日本支部1が「日本におけるモダン・ムーブメントの建築」に選定している2。前川の理念は半世紀も前の古いものであるどころか「九つのビジョン」(『世田谷区基本構想』3)に相通じる普遍的なものであり、何度でも再生されるべきものである。このような理念に基づく現在の本庁舎等を区職員も区議会議員も区民とこぞって大切に守り誇るべきものであり、その価値があるものとして有形文化財に登録・指定して長く大切に使いついでいかなばならないのは当然と考える。つぎに希少性という点から言うと、東京都の特別区と市町村でドコモモにより選定されている庁舎は他になく世田谷区にしかない宝として誇り守るべきものであって、これを破壊してしまえば取り返しつかない、文化も歴史も弁えない愚行である。今や高層ビルなどはどこにでもある平凡なものであって、重厚長大を礼賛し見せびらかすかのような建築は、いかにも「世田谷村」の成金趣味、とパカにされることになりかねず雲泥の差がある。</p>	同上

分類	意見・提案等	区の考え方
	<p>しかも高層建築は本庁舎等周辺の建築物と釣り合わないうえに、高層建築はそれを見上げるに足る周辺の道幅やスペースが広くないと圧迫感が大きくなりがちで、景観として馴染まないと考える。最後に、世田谷区には全体のシンボルとなるようなものがない。本庁舎等を保存・再生・改修することは世田谷区のシンボルを創り出す絶好の機会である。行政機能の基本的改善のみならず前川が考えていた区民に親しまれる場としての魅力づくりを具現化し、行政として区民の生活を大切にする世田谷区の姿勢と住みやすいコミュニティとしての世田谷区のイメージとをひとつに体現させることができれば、またとない「世田谷区基本構想」の象徴的存在となろうと考える。世田谷区は近年、転入者のほうが多く最近では出産による自然増も始まったと聞く。背景に世田谷区の住みやすさが魅力となっていることは想像に難くない。しかしそのままでは住みやすさは単に便利さや充実した行政サービスとして説明されるに過ぎない。本庁舎等に行けば、古いものでも大切にしながら有効活用していることや区民が楽しんだり寛いだりしている姿を見ることができ、そして世田谷区民でよかった、世田谷区に引っ越してきたい、となんとなく感じる、そんな区庁舎等ならば必ずや世田谷区の優れたシンボル、名所となるであろう。私事ではあるが現住所に引っ越してきて20年余りになる。世田谷区に住んでいることを羨ましがられることはあっても「世田谷って〇〇があるよね。」「〇〇が有名でしょ？」などと尋ねられたことは一度もない。自分自身、ずっと世田谷区民という自覚もなかった。ここが杉並区であっても調布市や三鷹市であってもかまわなかった。本庁舎等には近年まで行ったことはなかったし、下北沢、三軒茶屋、二子玉川などに自分たちの街として愛着を感じることもなかった。世田谷区のおいたちからして東西移動が主流で区全体の中心地と言える所がないなどの仕方がない面は大いにあるにせよ、このままでは必要な行政サービスを当然のこととして期待するだけで地元に関心な住民のままで終わるように思う。私のような区民はきっと多いだろう。そうではなく区民が自覚を持つとともに区外からもそのように認知されるために、やはり世田谷区全体のシンボリック的存在が必要と考える。本庁舎等がそのような存在になるように保存・再生・改修の方向で是非決めていただきたい。1do.co , mo.mo_japanhttp://www.docomomojapan.com/ 2DOCOMOMOJAPAN 選定日本におけるモダン・ムーブメントの建築 https://ja.wikipedia.org/wiki/DOCOMOMO_JAPAN%E9%81%B8%E5%AE%9A_%E6%97%A5%E6%9C%AC%E3%81%AB%E3%81%8A%E3%81%91%E3%82%8B%E3%83%A2%E3%83%80%E3%83%B3%E3%83%BB%E3%83%A0%E3%83%BC%E3%83%96%E3%83%A1%E3%83%B3%E3%83%88%E3%81%AE%E5%BB%BA%E7%AF%89 3 世田谷区基本構想 http://www.city.setagaya.lg.jp/kurashi/107/157/722/1867/d00131623.html 以上</p>	

分類	意見・提案等	区の考え方
保存	<p>9月の区民説明会・意見交換会の資料を読ませていただきました。平成16年度から、長きにわたる区の方々の取り組みに敬意を表します。ご苦労様です。また、建て替えを含む整備に関して、複数の問題が絡み合っており、たいへん難しい問題であることを実感します。防災の強化、スペースの拡張、利便性の向上、代替地取得の困難などの諸事情から、止むを得ない「建て替え」との方向性はご察ししますが、様々な文化的要素を大切に守ってきた世田谷区に住む住民として、かけがえのない歴史的建造物の「世田谷区民会館」「区役所第1庁舎及び第2庁舎」を壊してしまうことには反対です。歴史的建造物を解体せず後世に残すための方法を今一度検討していただきたいです。自分は世田谷区に住まいを移し14年になりますが、引っ越してきたころの成城・砧地区にはたくさんの貴重な西洋建築がありました。ところがこの14年間で、ほとんどの西洋建築住宅が周辺の緑地とともに壊されてしまいました。幸運にも世田谷区のトラスト協会によって保存された住宅もありましたが、わずかな数でした。文化的に古くて価値のある建物は一度壊してしまったら取り返しがつきません。どうか、「世田谷区民会館」「区役所第1庁舎及び第2庁舎」の建築物はそのまま残し、保存しつつ、世田谷区庁舎機能を別の場所に移す良い整備構想を思案してくださいますようお願いいたします。</p>	同上
	<p>世田谷区民会館・区庁舎および中庭を含む空間の保存・改修する案を支持し、より強く基本構想の中に打ち出すべきである。現代において公共建築を全面改築せず、「空間を継承」しつつ、改修・更新していくのが世界的な潮流であり、その上での減災・防災対策を考えるのが一般的である。また、2016年3月に出た「世田谷区産業基礎調査報告書」のP31～P32では、区民アンケートの第2位に、「街なみや景観」を地域資源や居住地域の望ましい姿として上げている。よって「景観」の保存を一区長の趣味と批判するのは見当違いであり、前川國男の設計であることを全面に出し、改修案で進めるようにすべきである。</p>	
	<p>9月19日、烏山区民センターで開かれた「世田谷区本庁舎整備基本構想（素案）区民説明・意見交換会」に出席させていただきました。この基本構想素案は、前川國男氏設計の既存庁舎（第1、第2）と会館をリニューアルすることを前提にするのか、全く新しくするのか、その中間なのかがはっきり示されておりません。また、参考案でも第2庁舎のリニューアルは全く問題になっておらず解体が前提になっています。後日、日本建築家協会世田谷地域会の 氏と面談し、「既存庁舎の全面リニューアルと増築により、区から示されている予算よりも100億円近く安く、しかも歴史的建造物をすべて残せるという提案があることを知りました。抜本的な改修により、既存の歴史的価値のある庁舎を新築と同様の機能に向上させ、周辺環境への影響を最小限にできるこの提案こそ、庁舎整備基本構想としてふさわしいのではないかと思います。基本構想策定の前に、今一度様々な具体的提案を区民の前に示し、意見を集約したのち、最終提案とすることを求めます。</p>	

分類	意見・提案等	区の考え方
保存	<p>世界遺産である国立西洋美術館等の設計者コルビュジエの弟子で、日本を代表する建築家・前川國男の設計である世田谷区民会館・区庁舎・広場は保存し再生してほしい。解体・建替よりも費用や環境負荷を削減できる試算されていると聞く。税金の無駄遣いをせず、耐震等の機能・構造を向上させてほしい。</p>	同上
	<p>生まれて育ったのは世田谷ですが、しばらく他県で過ごし、数年前に世田谷区に戻ってまいりました。大人になって初めて世田谷区役所を訪れたとき、建物の老朽化は少々感じましたが、それまで住んでいた自治体の、機能性第一の11階建て庁舎と違って、なつかしく優しい雰囲気、大変なせい沢感があることに気づきました。早い時期に高い品質の建築物を手に入れ、それを大事に守り続けている、これが世田谷グレードなのか、と感心しました。耐震性の問題、バリアフリーの問題、手狭さの問題等、課題はあると思います。また、古い構造物に手をいれていく作業は、古いものを壊して新しいものを一から作ることよりも複雑で困難なのだろうと思います。でも、それができる、という案も出ていたはずで、予算も高すぎるものではなかったと思います。世田谷には、むしろ、難しいチャレンジをしていただきたいです。そして、旧式な建物を、現代のニーズに合わせて改善していくすべての工程を公開されることを提案します。かつて、前川建築による世田谷区庁舎は、全国の区庁舎のお手本になったと聞いています。同様に、世田谷が、伝統のある旧公共建築を再生して現代につないでいくことを示すことができれば、公共建築再生の成功例として、全国のお手本となるのではと考えます。以上のことから、前川國男の世田谷区庁舎を保存・再生されることを強く要望いたします。</p>	
	<p>本庁舎は貴重な文化遺産であり、スクラップ&ビルドの時代に既に終わっている。貴重な建築物を後世まで残すことが我々に課せられた責務である。</p>	
	<p>老人・子供達に問題がある時に、立て替は賛成出来ません。リホームリユースで現在の庁舎で仕事をしながら少しずつ整備して下さい。よく新築の方が安いといわれますが、世田谷が範となり古い物を大切に現代に即す機能をつけて下さい。</p>	
	<p>区民の誇りとして、日本の文化遺産として現庁舎を可能な限り残すかたちで改良工事をすべきである。全面改築には反対。</p>	
	<p>区の誇るべき文化財ともなっている区役所第一庁舎、区民会館の保存については明記されてなかったように思いますが建築の専門家に伺うと耐震化や内装を使いやすくすることは可能とのこと。くれぐれも文化財の破壊という野蛮な行為をとまなつた整備となりませんようねがうばかりです。</p>	
<p>世田谷区本庁舎は「世田谷遺産」又は「昭和遺産」として保存する価値のある建築物です。極力、現状を変えず、未来の世田谷区民に継承して下さい。</p>		

分類	意見・提案等	区の考え方
保存	<p>「全面解体、建て替えでなく、改築、再生できる部分は生かす。必要な増築はする。」事をねがいます。なぜなら、区民会館と区庁舎は新聞報道にもあるように、今年7月に世界文化遺産に登録されたコルビュジェが設計した国立西洋美術館の建設に貢献した前川国男の設計になる歴史的価値のある建物であり、優れた近現代建築のひとつであるということです。世田谷区が区民が誇るべき建物、空間であることです！そして専門家による判断では、現在の建築再生技術をつかえば、外装を生き返らせ、機能性と構造強度を向上させることが十分可能であるということです。</p>	同上
	<p>今の本庁舎、区民会館は、前川國男氏の作品としては共感が持てませんが、現代の四角のつまらない建物から比べるとスキマがあり、ドコモモに登録されており、デザイン的に好きです。従って、新築にする場合の費用より安く再成復活できるのなら、美しい景観になり今よりもっと良くなると思います。又、世田谷区が古い物を大切にするとアピールできます。近くに前川氏を教えた、レーモンド氏の東京聖十字協会があるのも一理あります。もし、窓口など一括にまとめた新築にするのなら、大社駅や代官屋敷のような木造和風にすべきです。松陰神社、豪徳寺、色々古い良い建造物がありますが、木造専門の建築家さんならば美しい本庁舎ができます。</p>	
	<p>「区のおしらせせたがや」9・8号「世田谷区本庁舎等整備基本構想（素案）特集号」を読み、不明な点がありましたので成城ホール集会室の説明会に出席しました。閉会后、保坂区長は「熊本地震の発生による行政施設の深刻な被災や、国立西洋美術館の世界遺産を通してル・コルビュジェの弟子として活躍した前川國男氏も話題になりました」と挨拶されましたが、本庁舎等を保存改修すべきであるというご本心を隠されているように感じてなりません。当日傍聴をしていた議員は、小生に「情緒的なことを言っていては何時来るかも知れない地震に間に合わないよ。」と言って立ち去りました。『懸案である本庁舎整備に関しても同様であります。中庭を囲む景観の継承、つまり現庁舎の一部保存へのこだわりに対し、議会での批判が集中し、またしても整備スケジュールに大幅なおくれを来したさなかであるにもかかわらず、議会外での催しにおいて、あたかも世論を誘導するような軽率な態度を露呈するに至っては、議会軽視も甚だしいと言わざるを得ません。』第一回定例会における議員の発言に見られるような多数会派の意向を忖度せざるを得ない立場であることを十分理解しております。＜意見＞（1）DOCOMOMO-JAPAN に選定された現本庁舎等を保存し、改修すること。（2）区文化財審議会に現本庁舎等を区登録文化財にする諮問すること。（3）区内には著名文化人、音楽家、芸術家らが住んでおります。その方々と対談し、保存改修を要望している文化人の意向を「区のおしらせせたがや」の一面に掲載すること。</p>	
<p>基本構想には必要条件が示されているが、本庁舎には機能だけでなく、区民のシンボルであることや、区民が誇れる先駆的なあり方を求めたい。現庁舎・区民会館を活かすことがそのための有効な方法になると考える。</p>		

分類	意見・提案等	区の考え方
保存	<p>区庁舎の整備計画については、震災以前にも、聞いてはありました。今回、整備の検討が進んでいるという区のお知らせを目にし、いつのまにか計画が進んでいるということを知りました。一度壊してしまったらもう作ることは不可能と思われる名建築と、ケヤキの大木と、広場の空間。長年、世田谷区に住んでいる区民としては、世田谷ブランドにふさわしい趣と重みのある区庁舎、区民会館およびその周辺を、今後も長く大切に残してほしいと願っております。上野東京文化会館と同じように、補修を行いながら大切に守って行くことは可能ではないでしょうか。</p> <p>・コルビュジエの弟子である前川國男氏の設計による建物は近代建築の素晴らしさを残していることから継承する為にも是非残してほしい。</p>	同上

分類	意見・提案等	区の考え方
保存	<p>・私は本年開かれた検討委員会の傍聴・9月に開催されたJIAのシンポジウム又地元での基本構想(素案)の説明会へ参加し、この意見を書いております。1.世田谷区庁舎建て替計画の結論が中々出ず、時間ばかりが経過している事は益々建物の老朽化が進む事と同時進行であるので、早急に結論を出すべきである。これだけの時間を掛けて決められないと言う事は、前川建築に価値を見る区民や建築家が存在するからである。まずこれは認めて良いのではないかと確かに良く利用する者としては、本庁舎は中で働く人にとっても防災上も好ましい環境とは言えないと思っている。しかしながら、果たして全部壊して良いのか・・・残して使える方法が無いのだろうか?例えば躯体は残し内部は大改築等・・・の議論が区からは充分に出していないと思う。又耐震性や耐久年数等もきちんと調べられたのか?使い続ける場合の費用はどうか?先日某自民党議員とこの問題を話したが「高くつく」と断言していたが、根拠はあるのか?これらの正しいデータがなく、壊すか使い続けるかの判断を下すのは下す側にとっても困難である。素案でもここ迄踏み込んだ報告がない。今後結論を出す前に調査し情報公開する事が急務と考える。加えていずれ結論を出す立場の職員並びに区議は、上野の文化会館・都美術館出来たら横浜の音楽堂の視察をし、見事なりノベーションの成果を視察する事を実現すべきである。上野で二つの前川建築のリノベーションに当たった東京都の担当部署にもヒヤリングする機会を区で行う事、これらを行った上で結論を出す事、現在のところは生半可な情緒的な判断であると思っている。それらの行為を経た上での結論は区民も納得するであろう。・最後に・・・思いつくままに書いてきましたが、まだまだあるでしょう。前川がつくりだして来た、公共とは?そのメッセージが広場と建物に端的に現れています。このメッセージこそ守る事が大事で、これに関しては単に広場を残せば良いのではなく敷地全体でトータルで考える必要性があり、建築家を選ぶ上で非常に重要です。又選ばれた建築家にとってもスピリッツを良く表現出来なければならず責任重大です。前川建築がいろいろな理由で守れない場合には、少なくとも区民会館ホール保存P82を望みます。イメージ図を依頼していましたが間に合わず、後日送付させて頂きます。区議の間ではこの様な重要な決定に対し、単純にVS区長とこの建て替え問題を政争の具にしている事が分かっており、真剣に勉強しているとは思えません。いろいろな場で区議の姿は殆ど見かけず、その様な区議には判断をする資格もないと考えます。区議も区議も巻き込む事!視察や勉強会を行う等巻き込む必要があると考えています。</p> <p>現存する建物を保存・活用する方向性が良いと考えます。前川國男設計の建築的価値が高いのは承知しておりますが、区庁舎は今を生きる人のためであればなりません。区民が活発に意見を述べる地域で個人建築家の名前に捉われるのは如何と思えます。そこで、区民にどう親しまれてきたかという印象を軸に、保存増・改築してゆくことが一つの手段ではないでしょうか。建築はその時代の文化を体現するものです。建物のストック&リユースが主流となっている現代で世田谷区が先進性の</p>	同上

分類	意見・提案等	区の考え方
	ある解答に行き着けることを望んでいます。	
保存	<p>○世田谷区は、これまで行政・議会・住民が一体となって英知を結集して全国に影響をもたらす施策を行ってきています。それらが「世田谷らしさ」を作ってきたのだと思います。今回の世田谷区本庁舎等整備構想（素案）は、長年にわたり検討してきた庁舎問題の内容がもられており「世田谷らしさ」を出していると思います。補強意見になるか分かりませんが、いくつか気になる点がありましたので、ご検討をお願いします。○行政の流れは、環境の保全、文化の保存・継承も前提となっています。併せて、区民意識に「もったいない」意識の考えも定着しています。庁舎の検討に当たっても当然そのような考え方が出てきます。市町村段階では、既存庁舎を新たな機能を付加してリノベーションして活用している例が多くみられますが、大都市ではあまり例がみられません。本構想（素案）（以下「案」という。）P44（5）現庁舎等の空間特性について「可能であれば、現庁舎等の活用を考慮する」と記述されていますが、行政・議会・住民の英知を結集し、リノベーションを行ったら全国に誇れる施設となると思います。その前提として、これまでの調査・研究で現庁舎の調査を行っていると思いますが、行われていないようであれば調査を併せて行い区民に周知する事が大切と考えます。</p> <p>既存庁舎を保存再生して、世田谷にふさわしい、歴史と人間らしいスケールを持った、品格のある、区民が誇れる本庁舎としてください。世田谷で生まれ育ったものとして、世田谷全体がピカピカペラペラな個性の無い街になっていくことが、残念に思われます。是非、他の区とは違った、歴史ある建物と、中低層で品格ある建物の複合体として、区役所が区民から親しまれるものとなることを願っています。全体の雰囲気は、代官山のヒルサイドテラスのような、緑とヒューマンスケールの建物で構成された、一つの共同体のような雰囲気を望みます。高層棟と無駄に広い広場（ビル風も受けやすい）だけはやめて下さい。</p> <p>区役所の建物の完成した頃私はまだ学生でした。コンクリートむき出しのようは斬新な建物は当時評判になったもの、前川國男設計ということも知られていて、さすが「世田谷」といわれたものでした。今や、これは、世田谷区のものという以上に東京、日本いや世界にも誇るべき遺産です。老朽化の現状はよく分かりませんが、仮に再建せざるを得ないにしても、現在の雰囲気を残す設計で、「さすが世田谷」といわれるようにして欲しいです。もちろん前にとらわれず、現代の建築設計技術を生かした「さすが」という新建築物を目指すのも一方法です。（観光客を呼び寄せるような小コンサートホール、小美術館併設など）</p>	同上

分類	意見・提案等	区の考え方
	<p>前川國男さん設計の建物を残す方向で検討されているのだとばかり思っていました。説明会に参加して、残すためにどんな補修が必要なのかという調査もなく、どんな風に建て替えが行われ、どのような広さとデザインになるのかというような話しがメインで驚きました。古い建物はメンテナンスが必要ですし、安全性などを考慮するとお金もかかるのでしょうか、文化的な面から見るとしっかり補修して残すべき建築物だと思います。震災や自然災害が多くなってきて、そこを強化するという考えも大事ですが、本庁舎に集約する方が危険です。どのみち都会ではインフラが切断されて、本庁舎中心に物流や人を集めるのは無理です。中心となるべきだとは思いますが、機能をもっと分散して、どこに住む人も近くの分庁舎に避難や物資の援助を求められる構想にしてほしいです。大きなものを1度建ててしまうと、将来の変化に対応するのが難しい事は過去から学べます。箱がどんなに立派でも、どんな時代にも対応できる能力は人の力だと思います。</p>	<p>同上</p>
保存	<p>リノベーションするとCO2は98%削減。110億円少なくなるようです。23区の中でただの事務棟でなく広場と建物とケヤキで作られた区庁舎は世田谷区だけです。「世田谷らしい文化」を後世に残す事は私達の大切な仕事と思います。お金を必要としている建物は保育園が先です。</p>	<p>現庁舎等には、区政を支える拠点として、災害対策機能をはじめとして改善すべき諸課題があり、現在の敷地を活用しながら、災害対策の拠点としての機能強化や区民サービスの充実、効率的な事務執行を実現するスペースの拡充、施設や設備の環境性能等の機能強化、区民交流・区民参加の機能を高めるスペースの拡充が必要であり、今般まとめた「本庁舎等整備基本構想」は、新しい本庁舎に求められる機能や規模など設計者が設計するための諸条件の大枠を示したものであります。</p> <p>本庁舎等に求められる機能は、5つの基本の方針としてまとめ、区民自治と協働・交流の拠点としての庁舎、区民の安全・安心を支える防災拠点となる庁舎、すべての人に分かりやすく、利用しやすい、人にやさしい庁舎、機能的・効率的で柔軟性の高い庁舎、環境と調和し環境負荷の少ない持続可能な庁舎を目指し、必要な規模（本庁舎規模：約53,000㎡）を確保し、今後整備を進めていきます。</p> <p>整備については、50年以上区民に親しまれてきた本庁舎、区民会館、広場等の空間特質をできるだけ継承する計画とすることとしております。</p> <p>さらに、本庁舎等の課題を踏まえ、求められる機能、規模の確保とコスト削減、工期短縮等の最も合理的な事業計画の実現を前提に、現庁舎等の活用も考慮することとしております。</p> <p>具体的な配置や構成については、今後、設計者から提案を受け、最終的に決定してまいります。設計者の選定にあたっては、災害対策や環境性能などの求められる機能・規模、事業費の抑制、工期の短縮、現庁舎等の空間特質の継承などに対する提案を総合的に評価してまいります。</p> <p>ご意見にある数字は、必要な規模、機能等の与条件や法的な課題等を満たす計画か不明ですが、コストやCO2の排出量は、解体・建設時のみならず運用管理段階も含め、ライフサイクルで削減できるよう検討することが必要と考えております。</p>

分類	意見・提案等	区の考え方
		す。
保存	<p>区民ファーストの庁舎整備であること1、約410億円と言う巨額な区民の財産（税金等）を、区民ファーストの視点で使用してください。2、区民サービスを第一に考えた、地域行政の三層構造（区役所本庁+5箇所の総合支所+出張所・まちづくりセンター）をしっかりと作り上げてください。13、本庁舎等整備の基本理念を忠実に守ってください。2 1：世田谷総合支所を、地域住民の使いやすい、交通の利便性の高い三軒茶屋に置くことで、住民サービスの公平性を実現してください。三軒茶屋分庁舎を廃止することは、高齢者や共稼ぎなどで忙しい若者にとっても、サービスの低下は著しいものがあります。総合支所を区庁舎から切り離すことで、庁舎の機能もシンプルになり災害時の対応もスムーズに行くと考えられます。2：理念の無い、あるいは理念を無視した整備は、区民にとって負の財産になり、将来にわたり禍根を残すこととなります。特に庁舎整備と言う目に見える、形に現れることなので、《基本理念2》の「みどりに恵まれ、歴史に育まれた空間の広がりの中で環境と調和し、…」と言う部分は必ず計画に反映させてください。以上(1~3)を基本に考えた場合、区提案の「案1'、案2、案2'、参考案1」は、道路際に8階建ての高層建築(高さ30mを超えと思われる)を配置するという、世田谷らしさ、「歴史に育まれた空間(現庁舎は、中低層建築とケヤキ広場がヒューマンスケールで組み合わせられたものです)」とは、かけ離れた計画です。特に第2案(2'も同様)は、「広場があれば良いだろう」と言わんばかりのもので、現在の庁舎が持っている、ヒューマンスケールの対極にあるものと考えます。提案された計画案を考える場合、参考案2を基本に考えていくことが妥当と考えますので、次に参考案2について意見を述べさせていただきます。区提案の参考案2についての説明は、「これはダメですよ」と言うために作ったもののように見えてしましますが、この案を実現することが、一番の区民ファーストだと考えられます。句の言われる問題点について、いかに意見を述べさせていただきます。1、面積について約1万平米の面積不足をなっていますが、地域行政の三層構造という区の基本的な考え方から、世田谷総合支所は三軒茶屋に移すべきです(前頁2参照のこと)。また、教育委員会はその中立性という観点から、本庁舎内に置かれる必要はないと考えられます。全体面積をこれらの方法で減らすことが出来ます。また、建築的には、共通倉庫、会議室、機械室などは地下に設けることとする。西側庁舎については西側隣地境界に沿って大規模なドライエリアを造り、法面緑化を行なう(最近の都心の開発では盛んに行なわれています)、それにより執務室を地上と同じような環境で地下に設置できます。それらの創意工夫で面積不足と言う問題は解決できると考えます。2、第一庁舎の日影に関する既存不適格について日影が落ちる部分は国土館大学前の広場ではないかと思われます。不適格の程度が軽微な場合、公共性の高い庁舎は、他の自治体でも増築を許可することが一般的と考えられます。したがっ</p>	<p>現庁舎等には、区政を支える拠点として、災害対策機能をはじめとして改善すべき諸課題があり、現在の敷地を活用しながら、災害対策の拠点としての機能強化や区民サービスの充実、効率的な事務執行を実現するスペースの拡充、施設や設備の環境性能等の機能強化、区民交流・区民参加の機能を高めるスペースの拡充が必要であり、今般まとめた「本庁舎等整備基本構想」は、新しい本庁舎に求められる機能や規模など設計者が設計するための諸条件の大枠を示したものではありません。</p> <p>本庁舎等に求められる機能は、5つの基本的方針としてまとめ、区民自治と協働・交流の拠点としての庁舎、区民の安全・安心を支える防災拠点となる庁舎、すべての人に分かりやすく、利用しやすい、人にやさしい庁舎、機能的・効率的で柔軟性の高い庁舎、環境と調和し環境負荷の少ない持続可能な庁舎を目指し、必要な規模(本庁舎規模:約53,000㎡)を確保し、今後整備を進めていきます。</p> <p>整備については、50年以上区民に親しまれてきた本庁舎、区民会館、広場等の空間特質をできるだけ継承する計画とすることとしております。</p> <p>さらに、本庁舎等の課題を踏まえ、求められる機能、規模の確保とコスト削減、工期短縮等の最も合理的な事業計画の実現を前提に、現庁舎等の活用も考慮することとしております。</p> <p>具体的な配置や構成については、今後、設計者から提案を受け、最終的に決定してまいります。設計者の選定にあたっては、災害対策や環境性能などの求められる機能・規模、事業費の抑制、工期の短縮、現庁舎等の空間特質の継承などに対する提案を総合的に評価してまいります。</p> <p>ご意見にある数字は、必要な規模、機能等の与条件や法的な課題等を満たす計画か不明ですが、コストやCO2の排出量は、解体・建設時のみならず運用管理段階も含め、ライフサイクルで削減できるように検討することが必要と考えております。</p> <p>世田谷総合支所については、区民の利便性向上の観点から、交通至便な三軒茶屋を候補地として、移転整備に向けて、適地を有する事業者と協議を重ねてまいりましたが、その実現には、コストや人員面で課題が大きいことから、世田谷総合支所は、現在の本庁舎敷地内に整備することとしました。</p>

分類	意見・提案等	区の考え方
	<p>て、第一庁舎の5階部分を取り壊す必要はないと考えるのが妥当と思われます。そのことにより、必要面積の上からも、工事費の点からも有利にはたります。3、予算について(資料8)全体的に計算根拠に疑問がありますが(超高層の庁舎や再開発にからむ庁舎などと比較してよいものか、比較する単価が流動的な非常勤を含むものか等)、区の建設単価が正しいとします。そのような中で既存建築改修案については、建築の専門家の試算 3では約280億円程度とされています。区の提案している解体建替え案の工事費約410億円と約130億円の差があります。世田谷総合支所の三軒茶屋設置は予算上難しいという説明が有りましたが、100億円あれば保育園など他の施設も併設して実現可能ではないでしょうか。3 専門家 = 日本建築家協会世田谷地域会が、区の単価を使用して試算したもので、世田谷総合支所、教育委員会を本庁舎に置かないことを前提にしているようです。4、耐震性等について補強工事を行うことで耐震性能 類を確保出来ると思います。コンクリートの中性化は補修及び中性化防止対策を行なうことで対応することが可能です(上野の文化会館などで実施)。結論本庁舎整備は既存建物を利活用し、ぜんたいを中低層建築で構成することにより、世田谷らしい、文化的でヒューマンスケールの、区民が誇れる区庁舎になると思います。そして、世田谷総合支所を三軒茶屋に置くことで、行政の三層構造もより確実なものとして、区民サービスを徹底できると思います。400億円と言う区民の貴重な財産を、区民ファーストと言う視点で運用することを、心から、強く望みます。</p>	
改修	<p>本当に建替の必要があるのか?以前弊社で某支所建替施工したが現場監督が図面を見て耐震補強だけで良いのに建替必要あるのかと呟いた。判断する有識者は建築士?建築士は図面だけで判断するため実際に施工担当する現場監督の意見を聞く必要がある。坂茂氏のようなコストをしっかりと考える建築家は何人位メンバーに入っている?しっかりと作ってありメンテナンスをやれば鉄筋は100年もつ。使い勝手が悪いなら中を大々的にリフォーム</p> <p>本庁舎は耐震対策もしてありますので出来るだけ活用出来るものは活かしてもらいたい。50年で建物はそんなにダメになるものなのでしょうか。</p> <p>3の交流の場というのであれば、区民会館など大きさよりもバリアフリーを考えて改造出来ないものなのでしょうか。全面改築はお金もかかることですから、物は大事にしたいものです。</p>	<p>現庁舎等には、区政を支える拠点として、災害対策機能をはじめとして改善すべき諸課題があり、現在の敷地を活用しながら、災害対策の拠点としての機能強化や区民サービスの充実、効率的な事務執行を実現するスペースの拡充、施設や設備の環境性能等の機能強化、区民交流・区民参加の機能を高めるスペースの拡充が必要であり、今般まとめた「本庁舎等整備基本構想」は、新しい本庁舎に求められる機能や規模など設計者が設計するための諸条件の大枠を示したものであります。</p> <p>本庁舎等に求められる機能は、5つの基本の方針としてまとめ、区民自治と協働・交流の拠点としての庁舎、区民の安全・安心を支える防災拠点となる庁舎、すべての人に分かりやすく、利用しやすい、人にやさしい庁舎、機能的・効率的で柔軟性の高い庁舎、環境と調和し環境負荷の少ない持続可能な庁舎を目指し、必要な規模(本庁舎規模:約53,000㎡)を確保し、今後整備を進めていきます。</p> <p>整備については、50年以上区民に親しまれてきた本庁舎、区民会館、広場等の空間特質をできるだけ継承する計画とすることとしております。</p> <p>さらに、本庁舎等の課題を踏まえ、求められる機能、規模の確保とコスト削減、工期短縮等の最も合理的な事業計画の実現を前提に、現庁舎等の活用も考慮することとしております。</p> <p>具体的な配置や構成については、今後、設計者から提案を受け、最終的に決定し</p>

分類	意見・提案等	区の考え方
		てまいります。設計者の選定にあたっては、災害対策や環境性能などの求められる機能・規模、事業費の抑制、工期の短縮、現庁舎等の空間特質の継承などに対する提案を総合的に評価してまいります。
改修	本庁舎は壁量を十分に満たしており耐震の補強の必要性は全くない。仮に増築するとなれば、柱とブレースを本庁舎外周部に配し行えば良い。	第1庁舎、第2庁舎はIs値0.61であり、災害対策本部として求められる機能を確保するためには、さらに耐震性能を向上(Is値相当0.9以上)させる必要があると考えております。具体的な配置や構成については、今後、設計者から提案を受けて、最終的に決定してまいります。
歴史の記録	<p>世田谷区は建造物に気を使いすぎです。現役所は暗くて気がめいります。前川先生の偉業は図面で残し、あとは上野の西洋美術館にゆだねて区は保育園や介護施設に焦点をあわすべきです。近所に旧南画院山田邸がありまして住民等の関心もないのに保存修理が始まります。全国に比較しても待機児童が多い世田谷区の指針を変えていくべきです。箱ものが多すぎる世田谷区から待機児童「0」にめざしていきましょう。</p> <p>建て替えるのはよいのですが、現庁舎は昭和30年代を象徴する名建築だと思うので、きちんとした記録をとっておいていただきたいと願います。現在の姿を静止画とデジタルデータ保存し、建築計画段階からの資料をまとめ上げて、アーカイブの制作を行うことを提案します。今や高度成長期の区庁舎も少なくなってきたので、歴史として半世紀の記録を後世に伝えていただきたいと思います。</p>	現在の本庁舎、区民会館、広場等は、50年以上区民の方に親しまれてきました。いただいたご意見を参考にし、これまでの、本庁舎等のあゆみとしての記録を検討します。
高さ	<p>本庁および区民会館は何階で建物の高さは何メートルになるのですか？(3D画像によるたとえば具体的なシミュレーションはないのですか？)</p> <p>この場所に10階以上の建物はいらぬ。よくて7～8階です。</p> <p>敷地に限りがあるので建物は少し高層にならざるを得ないと思う。</p> <p>他区のとてつもないおぼけ的な建物はセンスがないし無駄である</p> <p>災害災害と喚呼されてますが今の技術でできる限り丈夫なものを作るのも結構しかし高い建物はそれを考えても不要ではないでしょうか。日ごろの訓練や心構えのほうが大切です。また区庁舎は区内でも比較的不便なところにあることから世田谷総合支所は三軒茶屋に移すことでシンボルとなるべき本庁舎を建てられることがいいのではと。なんの哲学もなく災害対策と職員の快適さだけを追求した整備方針では困ります。会社企業ではありません。区民のそして公けのものです。</p> <p>区民の希望の建物、象徴。めざせ高く、大きく。とりあえずキャロットタワーを越そう。国の規格に負けるな。先進国でも一番高い建物は庁舎が多い。</p>	建物の高さについては、周辺の建物の高さも踏まえ、周辺環境との調和に配慮したものとします。なお、圧迫感などに配慮した配置にするとともに、中高層部のセットバックによる圧迫感の抑制などの工夫を施すこととしており、具体的な配置や高さについては、今後、設計者から提案を受けて、最終的に決定してまいります。

分類	意見・提案等	区の考え方
高さ	<p>・設計条件として建物高さを示すための精査-建物計画（素案 p42）では、高さ制限について、東側敷地の南側で 11 階（約 45m）としているが、法的制限を示すだけでなく、「現庁舎の空間特質をできるだけ継承（素案 p44）」するために、望ましい高さの限度を精査して設計条件として示すべきである。</p> <p>・9 階建ての庁舎を考えられている様だが、現敷地の環境にそぐわない。最高 5 階建てを望む。</p>	同上
配置	<p>古めの本庁舎について、安全であればよいと思いますが、玉川でもあるように区の建物が複数あって、どこに行ったらよいのかよくわからないことが多いです。あとは、100 年使用することも考えた建物にする、一般の人にもわかりやすい機能をもった場所にしてほしいです。</p> <p>長いこと区役所に勤めさせてもらいましたが、暗くて、狭く、第一庁舎、第二庁舎への移動等、とても働きにくいものでした。一つの庁舎で仕事が完結する庁舎整備を望みます。</p> <p>広場確保と業務効率、生活利便性から棟数は 1 棟もしくは 2 棟に集約する。</p> <p>我々利用からすると分散している機能はおかしい</p> <p>新しい庁舎はシンプルに使いやすくして下さい。利用者があちこちの庁舎への移動なく 1 つの建物内で全ての手続き等が済むように。</p> <p>現在の建物は散らばっているので建物を建て替えるのは良いです。</p> <p>今の様に建物が分散しているとわかりづらいです。</p> <p>お願い。建物は都庁のような凹凸のある建物ではなく上野の西洋美術館のようなすっきりとした建物にして欲しい。将来の管理、掃除代の節約になると思います。採光を上手に取り入れて明るい建物にしてほしい。手続きは出来るだけ 1ヶ所で済むようにして下さい。</p> <p>西側建築物は、近隣家屋への通風や威圧的になることを避け、分棟化することを記述する。</p> <p>庁舎を 1 つにまとめてほしい。具体的に庁舎を比較的高く（超高層ではない 10F 程度）作って豪徳寺などの景色をよくみえるようにする。現在の第 2 庁舎は高すぎるので、今より低くした区民ホールにする。その第 2 庁舎の跡地も緑をふやしてほしい。震災がおきてからでは遅いので建て替えをすすめてほしいです。取りこわす時はアスベストの飛散防止を望みます。</p> <p>広く、大きく、1 つの建物で用が足せるよう。空いたスペース、部屋は後日用途に合わせ直して使う。</p>	<p>具体的な配置や構成につきましては、基本構想における求められる機能や規模を確保することを前提に、今後、設計者からの提案を受けて、最終的に決定してまいります。また、建物の高さや日影の影響、圧迫感、さらには施設に起因する風害、光害、騒音・振動、電波障害等の極力の防止を図るよう、周辺環境に十分配慮した計画とすることとしており、今後、配置計画を検討していく中で、具体的な検証をしてまいります。</p>

分類	意見・提案等	区の考え方
配置	<p>世田谷総合支所について、「独立性」の意味が、別棟といったことでないことを希望する。同一建物内では動線処理で十分対応可能であり、コスト的配慮が優先である。</p>	同上
	<p>現在の第二庁舎及びプレハブと第三庁舎は離れて建っているが、これは一棟で高さに強弱を付けた建物ではどうか？例えばプレハブ側を小振りな3階程度の建物とし、威厳のある議会棟として独立させて考えたらどうか。連続性のある建築が使い勝手の良さ又各々建てるよりも経費の削減にもなるのではないだろうか？現本庁舎と区民会館側と第二・第三との間を通る区道の継続が必要な場合は、第二・第三側のビルの二階か三階を張り出す形にして下を区道が取るデザインとすれば、キャパが稼げるのではないだろうか？</p>	
	<p>第1点目は、建物構造の設計思想です。設計士さんで企業経営の視点から設計される人がどれくらい居るかわかりませんが、同じ容積率なら縦に伸びるより横に広がる、つまりワンフロアの面積が広いほど良いということです。私の体験では、従業員100名ちょっとの職場で、それまで3フロアに割れていた事務室をワンフロアに収まる事務室に変えたことで、風通しがよく、従業員同士の連帯感が向上し、フロア移動のロスがなくなり、飛躍的な生産性向上を体験しました。その結果、今ではそのビルでさえもワンフロアに収まらず、2フロアに分かれてしまいました。経費は増えましたが、充分おつりがきました。精神面の効果以外に、物理的にも職員が他部門との調整などに階段やエレベーターを使って移動する時間が仮に1人1日3分増えると、2800人では1日140時間のロスになり、1年250日勤務として35000時間の仕事をしない無駄な時間が生じます。建物の耐用年数を80年と考えればその80倍です。区民はそれだけの無駄なコストを支払わされます。都庁のような高さを競うような発想は絶対に避けてほしい。都庁関係者から極めて非効率で、メンテナンスも大変だと聞いたことがあります。ワンフロアが広いと時代の変化の中でのレイアウトの変更も容易になります。敷地の制約はありますが、少なくともマンションではあるまいし、さほど広くない敷地の中でA棟、B棟などといったことは愚の骨頂です。特に敷地の中央を走る道路は最悪です。どうしても必要なら、建物の1階に連絡通路を設ける方法で解決すべきです。</p>	<p>将来を見据えた行政組織改革のあり方を踏まえ、機能的・効率的で柔軟性の高い計画としてまいります。具体的には、例えば、部署間の連携を考慮した執務空間の配置とし、同一部に属する課をできるだけ同一階に配置し、相互関連性の強い部署は、できるだけ近接した階・エリアに配置するなど職員の動線を短くし、効率的・効果的に業務が行えるよう配慮してまいります。具体的な配置や構成につきましては、今後、設計者からの提案を受けて、最終的に決定してまいります。</p>

分類	意見・提案等	区の考え方
木造	<p>ぜひ、国産材を使った木造での建設を希望します。直交集成板（CLT）を使う工法は、欧州ではすでに10階程度の木造マンションが建てられていて、オーストリア・ウィーンでは、24階建てのビルの建設も計画されている。価格の高さは課題だが、耐久性や工期の短さ、木材の持つ住み心地のよさがある。昨年8月、十道県と四市町村からなる「CLTで地方創生を実現する首長連合」が設立された。（東京新聞2016.6.5こちら特報部）木造で6、7階建ての中層ビルを普通に建てられる時代がやってきた。分厚いCLTは耐震性に優れる。木造建築は、鉄筋コンクリートと比べて利点が多い。木造だから建物自体が軽く、基礎工事を簡素化できる。コンクリートが固まるまで待つ必要もなく、パネルの組み立てで建築が進み、工期を大幅に短縮できる。木質の安らぎ感とともに断熱・調湿機能が高く、居住性もいい。ただし、課題は1立方メートル当たり15万円程度と高い事。これは国土交通省が2024年度までに生産量を50倍に増やし、価格を半値にする目標を掲げている。（日本農業新聞2016.4.27論説）新聞報道にもあるように、CLT工法は今後注目されるはず。日本には、やはり木造建築が適しています。日本の林業再生にも貢献できます。憩いの場として、環境にも優しい建物になることは確実です。現在の庁舎は築後57年～47年で改築の話が出ていますが、耐震性の問題があるとはいえ、鉄筋コンクリートの建築物の耐用年数は、この程度の年数なのでしょう。しかし、木造はもっと長期間使用できるはず。そして、太陽光発電や地下水を利用した空調など、再生可能エネルギーを活用する最新技術を採用していただきたい。現在の庁舎も、全国の自治体庁舎のモデルになったとされ（東京新聞2016.9.7夕刊）しているので、新たに完成した区庁舎も、木造庁舎のモデルとなり、全国から見学に来るような施設にし、そうすれば日本の林業や再生可能エネルギー産業の発展にも貢献できると思います。</p> <p>区役所の庁舎の歴史的価値は大きいので、できれば一部でも残してほしい。保坂区長の「現庁舎の景観を継承する」という考え方に賛成だ。一部を保存し改修してもらいたい。その方法は、費用がかさむという意見が自民公明の多数から出ているようだが、それなら、全面改築で、今の建築に劣らない、歴史も踏まえたような、世田谷独自の木造建築の庁舎にしてほしい。今の技術なら、木造建築でも耐震強度をクリアした建造物が作れるはずだ。無機質なコンクリートの建物はやめてほしい。</p>	<p>現時点では、中高層の建築物や面積規模の大きい建築物の木造化については、強度や耐火性等の災害対策機能等に関して、コスト面や実績面等に課題があると認識しております。</p> <p>木材の利用促進は、環境負荷の低減につながると期待されており、法規制やコスト面、実績面なども踏まえながら検討してまいります。</p>

分類	意見・提案等	区の考え方
木造	<p>今の本庁舎、区民会館は、前川國男氏の作品としては共感が持てませんが、現代の四角のつまらない建物から比べるとスキマがあり、ドコモに登録されており、デザイン的に好きです。従って、新築にする場合の費用より安く再成復活できるのなら、美しい景観になり今よりもっと良くなると思います。又、世田谷区が古い物を大切にしているとアピールできます。近くに前川氏を教えた、レーモンド氏の東京聖十字協会があるのも一理あります。もし、窓口など一括にまとめた新築にするのなら、大社駅や代官屋敷のような木造和風にするべきです。松陰神社、豪徳寺、色々古い良い建造物がありますが、木造専門の建築家さんならば美しい本庁舎ができます。</p>	同上
<p style="background-color: yellow;">広場（3件）</p>		
広場	<p>広場としてはイベントはもちろんのこと、コンサートや演劇、能なども可能になる構成にして欲しい。</p> <p>区民の利用する広場の確保も考えてください。学校の空教室、空き家の利用等</p> <p>お金をかけずにすっきりとした外観を望みます。駐車場も一ヶ所にまとめ車と車の間を広く入れやすくしてほしい。まわりに広場を広くベンチを多くしてほしい。樹木以外はベンチのみで色々他のものはいらない。とに角華美は禁物と思う（区内の電柱はなるべく早く除いて地中にうめてほしい）</p>	<p>イベント会場や区民の憩いの場として利用できるとともに、災害時には避難者の一時集合所や、緊急・復旧車両の駐車並びに物資の荷捌きスペースとなる広場を確保してまいります。具体的な計画等につきましては、今後、設計者から提案を受けて、最終的に決定してまいります。</p>
<p style="background-color: yellow;">事業計画（71件）</p>		
事業者選定	<p>前略先日意見交換会に出席した所設計はコンペではなくプロポだということに異を唱えた方がいらっしゃいました。確かにコンペの方が色々な優秀な作品が出るかも知れませんが、かたや万が一設計ミスなどが生じた場合の責任問題も心配です。コンペではなくプロポなら、その理由を明確にしてあげた方が良いと思ったことと、プロポなら優秀な建築士を見出し輩出できる仕組み作りをされてはいかかかと思いました。</p> <p>自己主張ばかりで、口先ばかりの建築家と称する輩に設計をさせないで。使い勝手無視、建築の保守点検維持に金ばかりかかる奇抜な建築、脱構造とか称する設計をさせないでいただきたい。・コンクリートの打放しの現区庁舎の汚さを良く考えてみるべきだ。20160930 苦言居士</p>	<p>設計者の選定にあたっては、プロポーザル方式によることとしており、発注者側の意図に柔軟に対応することが可能で、区民の意見等を十分に反映させるための区民協働の考えを取り入れた対応の提案を重視するとともに、施工面の難易度が高いことも考慮して、施工計画や工程計画等の対応能力・方策も重点評価項目とし、透明性、公開性に配慮したプロポーザルの企画検討を行ってまいります。具体的な選定方法につきましては、今後設置する設計者審査委員会等で検討してまいります。</p>

分類	意見・提案等	区の考え方
事業者 選定	<p>1～5の素案よいと思います。庁舎の安全はそこで働いておられる方にとても大切であり、よりよい機能は効率性を高めると思う。その為に必要な事には妥協せずお金をかけて良いと思います。上記をきちんと形に出来る業者を選定し、それに関わるお金を透明にして欲しいと思います。</p>	同上
	<p>設計者、施工者選定前に（5総合支所）で当設計者、施工者の計画を公開で行い、質疑応答のあるものにする（区民の大切な事業のため）</p>	
	<p>若手建築家の発掘について若手建築家や学生の意欲を高めるコンテストが必要だと思います。なぜならば、世田谷区民会館は、日本を代表する建築家前川国男氏が設計されたことで有名になった公共建築の代表でコンペにより選ばれたものだからです。昨年7月、新国立競技場問題で、首相は、国際コンペで選ばれた故ザハ・ハイド氏のデザインを白紙撤回しました。国際社会の中でみたときにあってはならない決断とまで言われました。その時、公共建築における建築デザインは不要であるという世論が沸き起こってしまいました。しかし、日本を代表する著名な建築家達は、不要論に対し何の反論もされませんでした。その中で多くの若手建築家は、白紙撤回に憤慨し、また国際コンペとは名ばかりの再コンペに落胆したとのこと。特に公共建築における建築デザインは、その地域の文化水準を図る指標となる非常に重要なものだと思います。世田谷区が、世界に開かれた都市であることをアピールするために、また若手の建築家や学生にチャンスを与えるために、「国際的な建築デザインコンテスト」などの発表の場を検討していただきたいと思います。</p>	
<p>設計者選定にプロポーザル方式を導入する場合、以下とすべきである。-世田谷区本庁舎等の設計には、高層ビルの基準階を定めて、そこに必要なスペースを貼り付けていくような手法が通用しないはずであり、きめ細かく空間のあり方と必要なスペースを総合させて、各階をそれぞれ設計するという密度の濃さが求められる。したがって、プロポーザル応募者に過度の負担を与えず、優れたプロポーザルを得るために以下とすべきである。2段階方式を採用-仮に基本構想が相当充実したものになり、しっかりしたプロポーザルの要綱がつくられたとしても、一度のプロポーザルで設計者を決めるのはリスクがあり、かつ応募者の負担が大きい。骨子となる考え方や斬新なアイデア等を募る第1段階とその応募者の中から選んだ複数の優秀者を対象にした第2段階とに分けるべきである。第2段階は、ある程度の参加費用を区が支払い、設計者のチーム編成は第1段階と異なってもよいなどとするべきである。2部門方式を採用-「現庁舎の活用も考慮する」（素案p44）以上、現在の区民会館と第一庁舎を基本的に残す場合と除却する場合の2部門に分けて、プロポーザルを求めるべきである。2段階方式と合わせることで、多くの応募を得ることができよう。プロポーザルの要綱作成及び審査段階の区民参加の実施-プロポーザルの要綱作成及び審査に当たっては、学識経験者だけによる関与ではなく、公募区民の参加を求める、区民その他の区庁舎ユーザーの意見を求めるなどを実施すべきである。プロポーザルの結果によっては、その後のプロセスやスケジュールを見直すこともあるとすべきであり、要綱に明記すべきである。</p>		

分類	意見・提案等	区の考え方
事業者 選定	<p>業者の選定は区内会社JVが準大手で入札かと思うが区担当者は営繕課以外にしてほしい。理由は区内会社との癒着区議会議員も勿論噛んで。信じられない話だが説明前に図面が会社に渡った事有勿論その会社が受注。談合は必要悪との説明。見積書は受注会社が他の会社分も作成。公正な入札望む。世の中こういうことは多いが古い体質から抜け出すために大ナタを振るうことを望む。現に長崎端島(軍艦島)は日本最初の鉄筋造で海風に晒されても建っている。</p>	同上
	<p>設計者の選定においては有名な建築家、とか外観のデザイン性とかにあまり重点を置かずにあくまで実用性に重点を置いて選定してほしいと思います。良い本庁舎が完成するよう期待しています。</p>	
	<p>・最近の区の建築はあたりさわりのない、提案性のない、面白みのない、それこそ文化遺産にはほど遠いものばかりです。新庁舎はさすが世田谷といわれるものにして下さい。入札で設計を決めるといようなことだけはやめて下さい。</p>	
	<p>業者の選定は公明正大にできるだけ地元の業者さんを活用するのが良いかと思いません。</p>	<p>事業者の選定にあたっては、透明性・客観性の確保、区民・区議会の意向の反映、地域経済への配慮などを総合的に考慮し、検討してまいります。</p>
	<p>事業委託先(解体・設計・地業・建築・保守管理 etc)の選定とコストの透明化は絶対必要。特にゼネコン(或いは中小コン)への発注先選定で議員が裏で動いて「金」が...は世田谷区では決してあってはならない。</p>	
	<p>設計者はNPO法人なども活用して下さい。費用面を考えると民間企業は高い。</p>	<p>設計者の参加要件等につきましては、今後検討してまいります。</p>
	<p>学識経験者の専門分野のなかで、災害対策は他に比べ、特殊な重要性がある。建築ハード面では設計時にさらに手厚い陣容になるのに比し、防災面が手薄に思える。複眼的検討のため、今後はぜひ複数の専門家を置いていただきたい。</p>	<p>設計者選定にあたっては、基本構想で示す求められる各機能について、建築のみならず、施工計画や防災、環境、ランドスケープなど、それぞれの専門的見地から総合的、客観的に評価していただける委員構成とする必要があると考えております。</p>
事業方式	<p>これまでの議論を見ていると本庁舎の配置や構成、デザイン等の検討に重点が置かれ過ぎていると思います。区の財政状況を考えた場合(子育て、老人対策等予算増が必要なものが多くあります)本計画の事業費410億円は全額区の負担なしで実践して頂きたくお願いします。その為には例えば豊島区のようなマンション併設他思い切った計画立案が必要でしょう。財政計画に「収入確保が可能な仕組みについても検討」と最後に書いてありますが、より優先度の高い最重要検討事項として取り組んで頂きたいと思います。他区に出来て世田谷区に出来ないことはないでしょう。</p>	<p>豊島区のような例は、土地の有効活用・高度利用による高容積開発を誘導可能な(余剰容積の確保が期待できる)地域であるのに対して、住宅地域内の世田谷区役所の立地条件では、同様の高容積開発の誘導は難しく、このような手法を採用する可能性は低いと考えています。</p> <p>なお、現在地の絶対高さ制限は45mとなっており、さらに、日影規制や斜線規制による制限も受けることにより、概ね東側敷地の南側で11階、北側で4階、西側敷地の南側で5階、北側で4階までが限度となります。</p> <p>今後、民間の技術を活用することで、工期短縮や総事業費の抑制などが期待できるため、様々な手法について検討してまいります。</p> <p>また、例えば、先導的な環境対策を行う場合等に給付される国庫補助金をはじめとした各種補助金や寄付の活用など、活用可能な財源がないか引き続き研究し、区の財源負担を軽減できるよう検討していきます。</p>

分類	意見・提案等	区の考え方
事業方式	<p>予算の削減。厳しい財政なので出来るだけ予算を削減すること。10階程度の中層建物にして上層階は住宅(マンション)にしては如何か?(豊島区の実例参照)収益を出す方式も検討すること。</p> <p>お金も多額かかるとすれば豊島区でやったように上層部にマンションを併設するか待機児童が多いのですから幼稚園等を併設すればよろしいと思います。現在、保育園や幼稚園造成で地元民と対立していますが、本庁舎の中でしたら反対も出ないと思います。</p> <p>池袋のように高層にし分譲マンションにする様な考えではいけませんでしょうか。財政も考えて公園も作れると思うのですが....</p> <p>豊島区新庁舎の様に収入も見込んだ形での建築を希望します。住居棟もしくは高齢者の居住(サービス付)、また保育園なども兼ねた多機能な区の施設となって頂きたい。</p> <p>本庁舎を高層とし行政・業務施設以上の上層部を定期借地権付分譲もしくは賃貸(居住用、業務用)とし、本庁舎建設費の財源圧縮をはかる。</p> <p>・公費負担を少なくする。建築費用を税金投入するのではなく、民間の活力(資金)を利用して23階建ての複合ビルを建築する。B1~B3階駐車場・保守管理施設・1~5階スーパー等商業施設・6~16階公共施設・17~23階オフィス・賃貸マンション</p> <p>・現区有地を無償で民間業者に提供する。借受施設の賃料発生を相殺する</p> <p>分譲・賃貸の住宅を併設することによって収入増を図り区民の経済的負担を軽減すること 豊島区方式</p>	同上
スケジュール	<p>いつ来るかわからない震災に対して、着工や竣工が遅いと思う。もっと早く建て替えるべき。</p> <p>“遅い”本件は防災拠点として全く不十分な事は予てより明白な事にも拘わらず完成迄には今後約10年且つ検討開始から20年以上も費やすとは言語道断なり。その上保坂区政は検討・意見・提案等々に徒らに無駄な時間浪費を繰り返す無能振りには言葉もない。兎に角災害は時を待ってくれない。早期実現を願うのみ。</p> <p>早急な実施を望む。本庁舎の構想は10年以上前から検討していた。結論を出すのが遅すぎる。</p> <p>災害はいつ起こるか解りませんので速やかに、スムーズに整備を進まれる事を望みます。</p> <p>基本構想に全面的に賛成。早急に進めて頂きたく。</p>	<p>いつ発生してもおかしくない大規模災害に備え、なるべく早く災害対策機能を強化した庁舎となるよう、今後、基本構想の中でお示したスケジュールに基づき、着実に取り組んでまいります。また、工事につきましても、可能な限り2期工事、5年程度で終了するよう、民間の技術も活用しながら、工期短縮に向けて様々な手法を検討してまいります。</p>

分類	意見・提案等	区の考え方
スケジュール	早く立て替えを希望しています。災害時に対応しきれないという現状がとても心配です。その年区内はパニックになってしまうのでしょうか。他の地域に住んだ方が良いのかと考えます。	同上
	総合区庁舎の建設は遅きに失した感があり、スピード感をもって進めて欲しい	
	早急に着工すべき！区民に防災・防災と言っているが一番危険な所は世田谷区役所	
	本庁舎等整備基本構想（素案）見て驚いた。基本設計が29年度以降、着工が32年度、竣工が37年度以降とある。余りにも遅すぎないか？以前から大地震が来たら本庁舎は倒壊する言われている。災害対策の拠点となるべき庁舎がこんな実態であるということや庁舎全体の汚さ特に国土館側から見たみすばらしさをどう感じているのか？世田谷区民として本当に恥ずかしい思いをしている。また、場所が区民にとって大変不便な所であり、なぜもっと交通の便の良い所に建設しようと思わないのか？整備の調査研究は平成16年度から始まり、21年度に審議会答申を受け、28年度から検討委員会がスタートとはあまりにものんびりしていて、区長を始め区の幹部、議員たちの対応は怠慢と言わざるを得ない。大災害は必ず来る。着工・竣工の時期を大幅に前倒しをして頂きたい。	
	素直な意見を述べさせて頂きます。中止して下さい。20年の東京オリンピック同様莫大なお金がかかります。（都と同じく予算よりも大幅に増える等）その分全て区民の負担になります。それだけのお金をかけるのであれば、区民税をもっと安くしてください。年金が減り生活出来ません。本庁建て替えでなくもっと工夫して考えて下さい。	
今はダメです。オリンピックが終わってからのしてほしいです。ゆっくりとしっかりと考えていねいに建ててもらいたい。できれば100年使える庁舎にしてほしい。見た目ではなく、内容が大事です。もちろん日本製がいい。日本人の設計、日本人の作業こだわってほしい。10年後にすばらしい本庁舎、とても楽しみです。	現庁舎等には、区政を支える拠点として、災害対策機能をはじめとして改善すべき諸課題があり、現在の敷地を活用しながら、災害対策の拠点としての機能強化や区民サービスの充実、効率的な事務執行を実現するスペースの拡充、施設や設備の環境性能等の機能強化、区民交流・区民参加の機能を高めるスペースの拡充が必要であり、今般まとめた「本庁舎等整備基本構想」は、新しい本庁舎に求められる機能や規模など設計者が設計するための諸条件の大枠を示したものであります。今後、21世紀半ばを長期にわたり区政を支える拠点となる本庁舎等として整備してまいります。	

分類	意見・提案等	区の考え方
進め方	<p>現状の庁舎は使いづらいと推察する。区民が利用しやすく、行政側が利用しやすい事が理想ではあるが区民と行政側の粘りづよい意見交換が必要である。世田谷区には例えば図書館が充実していない。図書館は世田谷の行政について、区民が調査する。あるいは東京都と世田谷区との関係性、あるいは国の行政について調査可能な資料の整備が必要だと考えている。</p>	<p>本庁舎等は区民共有の財産であることから、本庁舎等の整備のプロセスそのものが区民の参加と協働によるものとなるよう、これまでも、区民及び有識者からの意見聴取に関して様々な取り組みを行ってまいりました。今後も、それぞれの段階で検討状況等を区民に周知するとともに、若い世代の参加を含めて様々な手法で、幅広く区民の方々のご意見を伺うために、工夫を重ねてまいります。</p>
	<p>今後の進め方が気になります。基本構想がまとまった段階での区民参加ではなく、構想案初期からの区民参加を切望します。</p>	
	<p>女性の意見を十分取り入れること</p>	
	<p>・ようやく「基本構想（素案）」まで来たが、今後、基本構想、基本設計、実施設計、施工着工選定という具体化において、区民に分り易いプロセスをとってもらいたい。京都会館の建替/改築では、このプロセスが不明快だという汚点を残してしまった。</p>	
	<p>新しいプレゼンテーションについて昨年の新国立競技場ザハ案でのキールアーチ構造、今年夏、豊洲市場での地下ピット構造が問題となりました。いずれも建築専門家にとっては常識的なことかも知れませんが、しかし、その際、科学的根拠に基づいた冷静な対応が必要にもかかわらず、市民に理解できる形で説明せず、また正確な情報の出し惜しみで逆に不信感を増幅し、不信の連鎖が起きてしまいました。昨年8月のザハ・ハディド事務所が制作した新国立競技場のビデオプレゼンテーション動画とレポートは、問題拡大前に公開していれば説得力があり、白紙撤回が回避されたであろうと言われておりました。ここで世田谷区の庁舎建て替えは、急速なAIやロボットの進化により事務職が半減する時代が予想される中で、なぜ必要なのか。従来のありきたりの情報公開から一歩進んだ情報公開へ移行すべきだと思います。一般の区民に理解しやすいように費用をかけてもCGによるビデオプレゼンテーションの動画を作成するとか、庁舎を含めた近隣の建築模型を作製するなどの手間を惜しんではいけないと思います。例えば、一般的には、工事期間中は、塀やネットなどにより覆い隠し、何をやっているかは、工事内容告知の黒板表示しかありません。これからの公共建築物は、工事期間中も外部から中身を見られるような展望コーナー、模型やCGなどで現状を解説した見学室、ホームページなどを設置することが必要だと思います。工事をしている職人さんや技術者の方も外部から見学されていることでモチベーションも上がり、良いものをつくるという意識も高まります。別格ではありますが昨年、姫路城の保存修理工事において、「天空の白鷺」という見学室があり、184万人が来場しました。インフラも観光資源になる意味で参考にすべきだと思います。</p>	

分類	意見・提案等	区の考え方
進め方	<p>説明会には若い人の姿も少なく、とても気になりました。別途、未来に生きる若者たちだけの説明会も開催されてはどうでしょうか？いろんな立場の人に、そちらから意見を伺いに行く姿勢が足りない気がします。たった2日間の説明会、パブコメだけでは、不足だと思えます。私たちの税金の多くが使われるのですから、よろしくをお願いします。</p>	同上
	<p>区民機能について（素案 p35）は、何らかの形で区民による検討を経るべきである。</p>	
	<p>基本構想（素案）としては、素晴らしいと思えます。この構想が設計図面に具体的になされるようにと思えます。都の豊洲市場のようにならないように責任を持った事業がなされるように切望します。</p>	<p>本庁舎等は区民共有の財産であることから、本庁舎等の整備のプロセスそのものが区民の参加と協働によるものとなるよう、それぞれの段階で検討状況等を区民に周知するとともに、必要に応じて専門家の助言をいただくほか、若い世代の参加を含めて様々な手法で、幅広く区民の方々のご意見を伺うために、工夫を重ねてまいります。</p>
	<p>世田谷区本庁舎等整備には多くの方々の意見をふまえて進められている事と思えます。東京都の豊洲市場のような結果にならないよう専門家の方々の構想が行きわたり、区民が納得できる結果が得られるよう希望致します。</p>	
	<p>本当の意味での住民参加による区と区民との協働事業の実現性区ではワークショップの開催や説明会と言う従来通りのプロセスを踏めば住民参加が行われていると言う認識から脱却するべきある。端的に言えばこれらの場所への区民の参加率の低さにある。これだけの重要な局面での決定には例えばコンペ等で見える化し、本庁舎は元より7地域で巡回してコンペ案を提案し来訪者に投票して貰う様な、ワクワク感で区民を巻き込んでみたらどうか？その他にもいろいろなアイデアを考える必要がある。プロポーザル選定も透明化と公平なチャンスと情報公開を望む。東京都の二の舞を踏まぬ様に真剣に区税についても選択の透明性も考える事は言わずもがなである。</p>	
<p>区のお知らせ（9/8）本庁舎構想は内容がわかりにくいです。完成予想図や建物の階数が記入なく、具体性がありません。これでは、都庁の豊洲移転と変わりません。事業推進の責任者も記載無く、学識経験者は公表すべきです。災害対策の拠点とするならば、こういった組織を作るのか、庁舎内の組織体制が大事です。区民の意見を伺ったとの責任逃れです。</p>	<p>具体的な配置計画等につきましては、今後、設計者からの提案を受けて、最終的に決定してまいります。 本庁舎等は区民共有の財産であることから、本庁舎等の整備のプロセスそのものが区民の参加と協働によるものとなるよう、それぞれの段階で検討状況等を区民に周知するとともに、必要に応じて専門家の助言をいただくほか、若い世代の参加を含めて様々な手法で、幅広く区民の方々のご意見を伺うために、工夫を重ねてまいります。</p>	

分類	意見・提案等	区の考え方
進め方	パブリックコメントはこの様な手法だけではなくHPから気軽にできるとあらゆる世代からの意見を吸い上げられると思う。世田谷ナンバー失敗を活かしてほしい。	パブリックコメントについては、区のホームページからもご回答いただけるようになっており、今回、53件の意見をホームページからいただいております。また、常時、区のホームページ等より、区政へのご意見を寄せられる仕組みになっておりますので、ご利用ください。
	50頁近い添付資料を早読みしましたが、専門部会内の資料をそのまま区民に提供してもさして意味はありません。意見を求めるのであれば意見しやすい切り口にしましょう。	今後、いただいたご意見を参考に、より分かりやすい資料作成をこころがけてまいります。
	次の建て替えの検討は今回建設した時から始めるということです。今回の検討でいろんな問題点が浮かび上がっているはず。特にお金の問題や場所の問題は急には解決できません。私は場所としても交通の要所に近いアクセスが良い場所が理想だと思っています。そう思っても、そうした場所を確保しておかなければ始まりません。そのようなことを業務分掌の一つとして明確にして担当する部署を、多分、総務か企画部門だと思いますが設けていただきたい。説明会でも申し上げましたが、詳しく発言できませんでしたのでよろしくお願い致します。	いただいたご意見は、今後の検討の参考とさせていただきます。なお、本庁舎等の整備につきましては、総務部で担当しており、今後とも、担当部署を明確にしていまいります。
	世田谷区の姿を示す模型またはCGなどを展示すべき。-ただし、本庁舎等の中だけでなくもよい。	今後、具体的な配置プランが固まった段階で、お示ししていきたいと考えております。
	こんな大事な案件なのに、区民13名学識経験者7名計20名の検討委員の名前の公表がない。誰かがカクレテまとめているのではないか。情報公開すべきだ。	検討委員会委員については、基本構想の資料編に掲載しておりますので、ご参照ください。
	新しい公共建築の在り方について 近年、3次元の曲面によるコンピュータ設計であるとか、BIM（ビルディング・インフォメーション・モデリング）による情報共有など、建築界における産業革命が進行中とのことです。これからの日本の公共建築を代表する新国立競技場は、3次元コンピュータ設計、BIMなどによる日本の今後の建築界の試金石となる建物であったと言われております。日本は、諸外国に比べて遅れているにも関わらず、国民にその趣旨が伝わらず残念な結果に終わってしまいました。そこで、今回の庁舎建て替えは最新の手法を導入することにより、これからの公共建築の在り方を世田谷区が率先して実施する必要があると思います。	本庁舎等の整備については、多額の財政負担を伴う事業であり、効率的に施設整備や施設経営を着実にいき適切な経費利用を実施して行くためにも、新たな産業技術の効果的な導入も必要と考えております。国や関係機関の動向、他自治体の実例も参考にしながら検討してまいります。
予算	素案は良いと思うが、安全性、利便性そしてコストの削減を優先して頂きたいです。すべて税金なので、ムダは極力省いて質素をお願いします。	本庁舎等の整備については、多額の財政負担を伴う事業であるため、区の将来の財政運営への影響を見据え、総事業費に最も大きな影響を与える規模や工期などについて十分な検討を行い、総事業費の抑制に努めてまいります。なお、基本構想段階における事業費については、建物仕様、外構計画など、不確定要素が多い中での概算であるため、今後、設計段階において、より正確な事業費を算出するとともに、総事業費の抑制のため、適切に管理できる体制を構築してまいります。

分類	意見・提案等	区の考え方
予算	<p>整備を行う場合、区民の生活にしわ寄せが決して来ないことを明言、確約すること。 (例)・住民税のアップが無いこと。・新設の保育園が削減、縮小、延期が無いこと。 ・介護保険料及び国保保険料のアップが無いこと。・各手当や助成金の減額が無いこと。 等上記がもし一つでもクリアできないのなら、規模縮小または予算調達配分を見直すこと。 (例)・総予算を210億円にする。(基金だけで賄える規模とする)・総予算を358億円にする。(基金210億円と起債148億円だけで賄える規模とする)。 ・総予算をどうしても410億円にしたいのなら調達配分を変える。(起債の枠を広げ200億円とし、一般財源52億円は充当しない)等</p>	同上
	<p>人口の増加を考えても、庁舎の拡充は必要です。しかしながら、他区に比べて待機児童の多いことや障害サービスの支給が劣ること等をふまえると、予算配分はしっかりと提示し考えてほしいと思います。</p>	
	<p>事業費が基金、起債、(一般財源)、全ては区民の負担となろう、その為今より行政のムダ使いを徹底的に洗い出し積立金を増やすべき</p>	
	<p>強固な建物と見られますが、整備=新築するわけですね。予算通りになるよう、オリンピックのように増加しないよう願います。</p>	
	<p>事業費についても2020年東京オリンピックパラリンピックのように当初の予算を大幅にうわまわるようなことがないようにしっかりともらいたい。あらぬうたがいを持たれないよう透明化を計っていてもらいたい。</p>	
	<p>区長さんの思いもわかるが、なるべくスムーズにオリンピックの予算の様にならない事を願い新庁舎を待ち望んでいます。一区民です。</p>	
	<p>2020年五輪で建設費高騰に注意し、キメ細かい財政運営を(定期的情報開示を)以上</p>	
	<p>・税金のむだのないよう十分な計画で望んでほしいです。期待してまっています。</p>	
	<p>高額な建設費にならないこと</p>	
	<p>「経済的な問題では、できる限り無駄をしないこと。」を願います。豊洲、国立競技場建設にあたっては、当初予算をはるかに超える税金が使われる事態に立ち至っています。全面解体建て替えにすると世田谷区民の税金の行方も、区民が予想もできない事態になるのではないかと危惧しています。以上</p>	
<p>・概算事業量が約410億円は高すぎる。税金を庁舎建替の為に使わないで下さい</p>		

分類	意見・提案等	区の考え方
予算	<p>お金をかけずにすっきりとした外観を望みます。駐車場も一ヶ所にまとめ車と車の間を広く入れやすくしてほしい。まわりに広場を広くベンチを多くしてほしい。樹木以外はベンチのみで色々他のものはいらぬ。とに角華美は禁物と思う（区内の電柱はなるべく早く除いて地中にうめてほしい）</p>	<p>同上</p>
	<p>事業計画についての疑問建設工事費385億は妥当な数字か？解体工事費を含めると400億となっている。説明会でも質問したが、素人の私は地元二子玉川の再開発（期）と比較してみた。以下参照： https://www.tokyu-land.co.jp/news/2013/pdf/20130111_02.pdf 庁舎床面積56.100㎡400億駐車場（地下）250台駐輪950台玉川床面積156.400㎡392億駐車場（地下）700台駐輪1060台*二子玉川の建物は人口地盤の上、30階建ても1棟（楽天）単純に二子玉川と比較して、見る事が妥当とは思えないがこの数字を比較して全く納得が出来ない。理念や防災の議論よりも遥かに重要且つ見逃せない課題である。再検討を要求する。</p>	
	<p>財政計画の明細が開示されていない。行政/議会/区民など、機能ごとに開示すべき。こんなラフなもの不足。「基金」は既にためてあるものか？これからためるのか？</p>	<p>本庁舎等の整備については、多額の財政負担を伴う事業であるため、区の将来の財政運営への影響を見据え、総事業費に最も大きな影響を与える規模や工期などについて十分な検討を行い、総事業費の抑制に努めてまいります。なお、基本構想段階における事業費については、建物仕様、外構計画など、不確定要素が多い中での概算であるため、今後、設計段階において、より正確な事業費を算出するとともに、総事業費の抑制のため、適切に管理できる体制を構築してまいります。なお、基金については、すでに積み立てを行っており、本庁舎等整備において活用を見込んでいる約210億円に向けて、本庁舎等整備開始年度までの各年度において、残りの約100億円の積み立てを行う予定です。</p>
	<p>どこから資金を出すのか区民債か。高齢化が進み、介護、農家がへり、いずれ世田谷から農家はなくなります。世田谷区の人口も減ってきます。雨もりをするとか特にそういうことがない限り必要はないと思います。生活保護者が急増し、一人暮らしの老人をどうするか、あすこの職員のあり方、世田谷桜丘区民センター、烏山区民センターは区の職員ではなく契約職員です。あるいみで無責任労働者です。職員のありかたの方を考えて下さい。結論、本庁舎建て直す必要なしと考えます。</p>	<p>基金と起債をバランスよく活用することで、一般財源の負担を軽減する財政計画を組み立てていく必要があります。今後、事業手法と事業費の確定にあわせて、さらに精査してまいります。また、各種補助金や寄附の活用、税外収入の確保が可能な仕組みについても検討してまいります。</p>
	<p>庁舎は「区民、職員ファースト」の考えでつくって下さい。スーパーとかコンビニとか家賃収入の可能な方式も考えるべきです。大学とタイアップした何らかの方法も考えたらどうでしょう</p>	
	<p>費用については起債の他、ふるさと納税のような庁舎建てかえ募金のよびかけはどうでしょうか。とにもかくにも庁舎建て替えを自分の問題と考える区民をふやすことが第一です。 財政は募金も活用、どう使ったのか公開が必要だと思います。</p>	

分類	意見・提案等	区の考え方
予算	新庁舎整備に当たって一部をふるさと納税者をお願いをしたらいかがでしょうか？よくある「見返りを期待」しない区民に喜んでもらえる事物に指定寄付を考えていただきたい。	同上
	20～25年後は人口が大幅に減少することから、税の収入を考慮して欲しい	人口については、今後、平成52年に100万人を超えるという推計がある一方、85万人を下回るという推計もあり、規模の算定にあたっては、現在の人口規模89万人を前提としています。 基金と起債をバランスよく活用することで、一般財源の負担を軽減する財政計画を組み立てていく必要があります。今後、事業手法と事業費の確定にあわせて、さらに精査してまいります。また、各種補助金や寄附の活用、税外収入の確保が可能な仕組みについても検討してまいります。
	予算は大借金しても100年保つ大きな建物にする。借金は少しずつ返す。つぶれる事は区が有る限り無い。民間企業との合作でも良い。後日返却、買い取る方針。	本庁舎等の整備については、多額の財政負担を伴う事業であるため、区の将来の財政運営への影響を見据え、総事業費に最も大きな影響を与える規模や工期などについて十分な検討を行い、総事業費の抑制に努めてまいります。
その他（23件）		
その他	ところで苦勞されている保育所の件ですが、中学校小学校の教室あるいは敷地を利用されては。私共は八幡中学の一角の保育所は素晴らしいと思っております。担当に転送願います。	今後の区事業改善として、該当所管課へお伝えします。
	(区内の電柱はなるべく早く除いて地中にうめてほしい)	現在区では、「世田谷区電線類地中化整備5ヵ年計画(平成26～30年度)」に基づき、計画的に電線類の地中化を実施しております。今後とも、計画的に進めてまいります。
	あちこちの学校が統合されています。少子化で余っている教室は幼児教室にぜひ使えないものか 特に、現在、子供の待ち人数が一番多いといわれている世田谷区は、旧庁舎が残せるならばそこに、子育ての助けをしてください。その育児の面倒をみる保育士は、庁内からの応募または、2-3年も志願者を出して、円満に預けられるようお願いしたい。(保育士の教育は別にすべきと考えます。庁内の中からこうしたことがあることを職員を採用する際に説明して、それに納得した人を採用すべきと思います。)世田谷の中を、無料バスを出して、預ける子供を迎えに行きたくしたい。たとえ有料でも預けられるということが出来るのが、大事だと思います。	今後の区事業の改善への参考とさせていただきます。
	月給取り根性の職員に育てないで。60年間、都民税を納め毎日歩いている道路すら正常でなくアスファルトとは程遠く石塊で歩きづらい。区行政、ご苦勞様です。保坂区長様ならと投票しました。実行して下さい。機構縮小現在の2分の1でやれます。企業なら倒産する区政です。	

分類	意見・提案等	区の考え方
その他	<p>プラン意見、提案とありますが世田谷が整備整備とガス、水道工事を毎年道路をあけなくて良いと（ほること）思うが労働者があせ流して働いてるのをみるとがまんしています。都民税、固定資産税と高すぎます。自民党のようにお金を分ばい割けてください。お金を支払うのに年金を割って貯めて支払っています。今は生命保険をつぶしながら使っています。一人になった時にいぞく年金と自分の年金の方、好きな方をとるとしたら聞きました。主人の年金月10万（遺族年金）主人の方とると生活出来ません。どうかしてください。</p>	今後の区事業の改善への参考とさせていただきます。
	<p>毎年のいきいきせたがや文化祭りです。いつもたのしみに友人と行って見て参りませんが見るだけ少しでも手にふれると注意されます。何で出来ているのか判らずつい手にとってしまいますのでガラスケース又は説明書でもつけて下さい。友人と話していつも思うことです。よろしく</p>	
	<p>庁舎も大変でしょう。先ず道路も整備してください。公約どおりでデコボコで年寄りにはとても辛いです。カートを押して歩くのもままならず、せめて遊歩道三茶～蛇崩由三軒茶屋病院から東急車庫前だけでも平らに整備して頂けないでしょうか？道路が狭くて危険ですので遊歩道を使いますとデコボコでとても危ないです。お願いですから平らにして下さい。よろしく願いいたします。乱筆乱文で失礼します。下手な字で読めないでしょう。</p>	
	<p>庁舎等とはちがいますが、私宅の土地利用につきお願いします。我家は第一種住専の土地です。隣家は国道246に面し高さも敷地に対応する建物面積も自由です。その為、冬季は24時間日陰となり一日中見下ろされる有様。今回我家の建替えをすることとなりました。第一種住専では10m以上の建物はできません。国道並みとはいいませんが5F位の建物が出来ればと思います。税金だけ高いのは困ります。国道より段々に土地活用が出来るよう願います。税金のみ年々upします。よいご返事をお待ちします。</p>	
	<p>船橋5-1、経堂3-18・17の車道、自転車で走るとき、行は左通行なのでいいのですが、帰り、経堂3-35-26、船橋3-4-5・20、左自転車で通るにはせまい、あぶないです。遊歩道の一部を自転車で通れる様にして下さいませんか。</p>	
	<p>駐輪場はちゃんとつくって下さい。「まちづくりセンター」にも自転車置き場を作ってください。</p>	
	<p>世田谷区内は緑化運動のせいか、各戸からの樹木により電線への支障木や歩道に生垣がはみ出し通行の妨げが多いのでそのあたりから解決していくべき！道路のセットバックもキチンと監視していくこと！</p>	
	<p>原っぱにしる。犬ネコウサギ動物たちのサンポのため</p>	
	<p>庁舎なんか消えろジャマだ。</p>	

分類	意見・提案等	区の考え方
	<p>原っぱにしろ。公舎なんていらぬジャマだ。</p> <p>世田谷のチベット奥沢。区長さんにお目にかかった事もどのような方かわかりません。文化祭にお出かけ下さい</p> <p>現区長は福祉にもっと働いて戴きたいです。</p> <p>できればカルガモも安心して子育てができるように。</p>	<p>今後の区事業の改善への参考とさせていただきます。</p>
その他	<p>・・・以下は、第1信であり、続いて、第2信を送る・・・1.はじめに：区の職員がお粗末、計画は杜撰である私は、9月17日(土)北沢ホール、9月19日(月)千歳烏山における本庁舎建替え計画の意見交換会に出席した。このような意見交換会出席前には、私は関係資料を確認することは当然であると理解していた。しかし、添付した区長宛資料『杜撰な世田谷区本庁舎建替え計画』にあるように将来(本庁舎立替後)本庁舎で行われる世田谷区の業務がどのようになるのかがまったく示されていないだけでなく、示された計画は、国が作成した企画のコピペの類で計画に具体性がなく、しかも8年後までしかない曖昧なプランであり、担当の課長?()が提示したとき、私は啞然として開いた口が塞がらなかった。新規本庁舎建物は今後10年以上してから使われるものであり、一方、情報化の計画は8年後迄であるので、この提示との整合性がなくほとんど無駄である(バカ丸出し：はそれ以上提示できないようである)。すなわち、本庁舎において何がどのように行われるか、中長期計画を策定した後、それらと整合した本庁舎建替え計画が作られるのである。そうでないと、現在の本庁舎のように新しい本庁舎は無駄になる。以下に本庁舎建替え計画に関する未解決問題を示すので、本庁舎建替え計画は中止するよう求める。2.本庁舎建設計画の問題点(1)区業務の電子化、ロボット化の計画と本庁舎建替えとの整合性が示されていない：区職員の業務は、徹底的に電子化されることになるが、その計画がない。区職員は、ロボット、IoT、IT化の加速度的発展から、区職員の数は急速に減少することは、内外の議論から明らかである(たとえば、中央公論、2016年4月号を見よ)。そこで、10年後、20年後、30年後、50年後等の予測がなされるべきであったが、区職員は建物実現以前の資料を出すなど、大変劣悪であり、そのような虚偽主張を先ず改めることである。例えば、9月29日午後、参議院の野党代表質問において、安倍首相は、2025年には一般道で自動走行車を実現すると答えていたが(区内で自動走行車を実現すると交通はどのように変わるのか計画を示すことだ)、本庁舎はそれ以降に実現するのであり、まったくそのような将来計画ができていないので、本庁舎建替え計画は論外である。(2)区業務と区民との電子的な連絡方法、新しい輸送の長期計画が示されないといけない：電子化された区業務においては区民と連絡ができないといけないがその計画がなく、区民から区職員へは区長へのメールしかツールがない状態で、本庁舎建替え</p>	<p>区民の声にも、同様のご意見をいただいております、回答をさせていただきました。</p>

分類	意見・提案等	区の考え方
	<p>はありえない。このパブリックコメントさえも 3000 字を超える送信はできず、添付ファイル、図表等の送付は不可能である。そのような粗雑な区民をバカにした対応を先ず改善することである。(3) 区業務のイメージが、20 年、30 年、40 年、50 年後においてまったく示されていないが、それでは建物建築が適切にできない：箱物行政（入れ物）を止めて区業務（中身）の効率化を示すことが抜けている。電子化行政による職員減少はオフィスを広々と使えることになり、分散化されてもほとんど IT 化で解決されるが、その計画が全くないことは異常である。(4) 将来の区オフィスは ICT 化が進み分散化が可能であるがその計画がない：ICT 化、IoT 化、IT 化が進むと、大幅に区職員は減少し、また、オフィスはどこにあってもよくオフィスも分散化され、したがって、区職員に代わり区民の活動の場として使えるサロンのような場所として区施設が使えるようになる。現在の計画のように既存建物の建替えではなく分散化オフィス実現を推進すべきである。(5) 本庁舎建替え以前に急ぐ重要事業がある：本庁舎再建替え以前に、災害対策、電子化行政、高齢化社会への対応等が優先し、その実行、計画を明確にした後、本庁舎建替えがなされるべきである。首都圏直下型地震、多摩川決壊、緑道浸水等、予想される災害に対する対策は不十分であることは、私が、本年夏、先の防災計画公聴会において発言し、区職員はほとんどまともな答弁はできなかったことから、抜本的な災害対策が優先することは明らかである。その場合、区行政における電子化、また職員資質の改善（職員の入れ替え）、区民とのネットワーク、区連絡機関とのネットワーク等を構築し業務が合理的、効率的に行われることが前提であり、これらの業務との関係が不明である以上、本庁舎建替え計画は合理的でなく、計画が成立たず中止することである。(6) 本庁舎建設計画以前に日本語も理解できず権限の濫用をする区職員をロボットに代える等、開かれた IT 化社会に向けた改善・検討が必要である：区職員一人ひとりがブラッシュアップされていないといけませんが、まったく劣っている。北沢および千歳烏山の本庁舎再建設の公聴会において、参加者は区職員説明後質問を行おうとしたが、主催者である区側はまったく質問を認めなかったこと（私および女性）は、職員の横暴、無知を露呈したものであり（区職員は質問されてもまともに答えられないから、質問を受け付けないという姑息な対応をした）非民衆的であり、お粗末な区職員の再教育が必要である。公聴会対応およびそれ以前の関連情報の提供に関する問題提起を、私はすでに公聴会、区民の声、また、電話で関連部門に行っているが、区職員らは満足な対応をしていない（嘘つき、未熟者？：9月29日、担当部門に電話して、すでに問題提起したことの回答を求めた事項について返答を求めたが、区職員は電話（03-5432-2088）を一方向的に切った。区の職員はロボットにも劣るバカばかりであるのか？速やかにこれらロボットにも劣る職員に代えてロボット導入を検討し、ロボットに適したオフィスを構築するため、本庁舎建替え計画を練り直すことである。一連の課題、問題を改善したのち、再度本庁舎等建築計画を提起すべきである。3. 結論以上に示した理由から、本庁舎建替え計画を抜本的に見直し、再度計画における問題点を改善して区民に示すことが必要である。【添付</p>	

分類	意見・提案等	区の考え方
	<p>資料】杜撰な世田谷区本庁舎建替え計画以下の文章は、「区民の声」に対して9月23日発信されたものである。9月29日督促したが、9月30日現在返事はない(区職員らは組織として無能).....</p> <p>世田谷区長保坂展人さま世田谷区本庁舎等整備基本構想説明・意見交換会における不公正是正の件 2016年9月23日 私は、9月17日、北沢ホール、19日、千歳烏山にける本庁舎建設に関する公聴会に参加しましたが、区職員は建物建築ありきの横暴で一方的な対応を行いましたので、以後このような横暴な対応、公聴会を行わないよう至急反省、善処を求めます。・・・以下を第2信として送付します・・・</p>	
その他	<p>・・・以下は第2信です。この続きを第3信でおくります・・・記1 .本庁舎建設以前に区職員の業務改善に対する問題提起の無視について私は、本庁舎再建にあたり、職員の業務、特にIT化、ロボット化、コンピュータ化に関する改善の計画とともに、業務、組織改善、また、区民との情報利用共有に関し、事前に確認したところ、総務部の という課長から、9月15日付け、区長へのメールの回答として「世田谷区情報化推進計画(平成26年～平成35年度)」という資料を入手しました。しかし、この資料は、本庁舎建設ができる2026年以前である2023年までの計画であり、建物建設と整合性がなく、ほとんど意味のないものであるだけでなく、中身は、具体性のない国のICT計画のコピペの類のものであります(たとえば、現在、区への電子的な情報の提起、その返答は区長へのメールに限られていますが、一体、いつまでこのような無様な状態を続けるのですか? : 広報公聴課はセキュリティのためだといっていますが、情報担当部門は技術的問題ではなくて広報公聴課が情報空間を制限しているといっています。この見解が正しいことは、区の職員がまともな情報の取り扱い、回答ができないことから明らかです: 至急改善のこと)。9月19日、千歳烏山において、私は 氏にさらに確認をしようとしたところ、情報部門から得た資料であり、それ以上の資料はないとの一方的なコメントのみで更なる確認はできませんでした。9月20日、情報、政策の企画部門に問い合わせ、このようになちぐはぐな対応(建物建設がされるにあたり、組織、要員、IT化、ロボット化、AI化等インフラとの整合性を考えていない)を指摘したところ、そのような将来計画(建物が建設された後、10年、20年、30年、50年を見据えた計画)は、庁舎担当が関係部門と調整するものであるということであり、 氏の発言、対応、能力に大いに疑問を持ち、反省を求めます。私は、また、これらの問題を確認するため、 氏に会見を申し入れましたが、彼は拒否しました。第一に 氏は、建物が建設される2026年以前の資料により、わけの分からない「区長へのメール」を送信することは言語道断でありますので(区民をたいへんに侮辱した行為) 関連部署と具体的な検討を区民に公開の下に進め、区民がどのように参加、チェックできるのか明らかにされること求めるとともに、 氏の私に対する対応の改善を求めます。</p> <p>2 .本庁舎建設意見交換会の進め方の改善について9月17日午前、北沢ホールにおいて、本庁舎建設に関する意見交換会の区職員による説明に対し、私は質問しよう</p>	<p>区民の声にも、同様のご意見をいただいております、回答をさせていただきました。</p>

分類	意見・提案等	区の考え方
	<p>としましたが、区の職員は質問の受付を一方向的に拒絶しました。9月19日午前、千歳烏山における同様の会合において、年配の女性がやはり区職員の説明後、質問を試みましたが、区職員は拒絶しました。このような区職員の対応は民主主義国家における言論封殺であり、決して行ってはなりません。また、私が、そのようコメントを9月19日、グループ討議の補足で問題提起しても、区職員は無応答でした。拒絶、無視は、民主主義社会を破壊する暴挙であり、今後このような暴挙をやめることを求めます。区の職員は区の建物建設構想には、その目的として耐震化等災害対策はあるものの、第一に考えるべき区政業務の将来計画との整合性につき検討されていないので、その問題を追及されないように配慮した患者の知恵があったと類推します。その証拠として、千歳烏山では、ふたつのグループともに区政の10年、20年、30年、50年の将来計画との関係で建物建設が考えられていないことを指し、区の職員はまったく合理的な返答ができませんでした。3.意見交換会の進め方の問題点について区庁舎建設の意見交換会においては、北沢、千歳烏山、双方において、10人以下のふたつのグループに区民が分かれ、あらかじめ区の選任した議事進行係が議事をまとめていました。これは公平ではありません。なぜならば、区の選任した人間は、区の業務に問題提起する意見を抑えることができるからです(世田谷区の住民は優秀だから、グループ討議をまとめる能力を十分に有している。私自身、国内だけでなく国外(英語で)でグループ討議をまとめたことは多々あります。このよう一方向的な議事進行は言論封殺の一つの手段であると主張しても、区が議事進行係を選任しているから、彼女(彼)は「そうですね」とはいえない)。現に、私は10項目以上の問題提起を行おうとしましたが、議事進行係は2項目に制限しました。そして、担当職員が建物建設ありきの進め方をしていることに対する問題提起を制限した結論になりました。本来、区の職員と区民とは喧々諤々の論争があっべきです。それが封殺され、結局、東京都の築地市場移転のような状況に至る可能性が出てきてもおかしくありません。以上、意見交換会の前提となる情報の開示、議論、また、意見交換会の運営・進め方、そして、そのフォローに対する対応、いずれをとっても民主主義社会あり方に反し、区民ファーストの集会とはほど遠い意見交換会を即刻変更し、開かれた計画推進をすることを求めます(私がコンサルテーションしてもよい)。加えて、老婆心ながら、添付した 氏のようなお粗末なメールを区長に代わって返信するような無様な対応を以後行わないように、区職員全員に徹底してください。・・・続きは、第3信で送ります・・・</p>	
その他	<p>・・・以下は第3信です・・・ (以下、 氏のお粗末な返答： は情報の提供を求めたのであり、意見をしたのではない； のメールを明らかにして対応すること)・・・ 平成28年9月15日 様世田谷区総務部庁舎計画担当課長 意見をいただきありがとうございました。平成28年9月8日(木)にお寄せいただいたご意見に</p>	<p>区民の声にも、同様のご意見をいただいております、回答をさせていただきました。</p>

分類	意見・提案等	区の考え方
	<p>ついて、回答させていただきます。今般お示しさせていただいた「本庁舎等整備基本構想（素案）」においては、基本的方針の一つとして、「機能的・効率的で柔軟性の高い庁舎」を設定し、今後の行政需要の多様化、社会情勢の変化、情報技術の高度化など、様々な変化に対応できる、機能的・効率的で柔軟性の高い庁舎を目指すとともに、職員の働き方の改革に取り組んでいくこととしています。なお、区では、区の更なる情報化の進展を目指し、区の情報化に係る政策を総合的かつ計画的に推進することを目的として、平成26年3月に「世田谷区情報化推進計画（平成26年度～平成35年度）」を策定しています。また、情報化推進計画に基づく情報化計画事業の内容を記載した「世田谷区情報化事業計画（第1期：平成26年度～平成29年度）」を定めています。区ホームページ（以下参照）にてご確認くださいのでご覧ください。</p> <p><URL:http://www.city.setagaya.lg.jp/kurashi/107/157/722/728/1840/d00131991.html> 現在実施中のパブリックコメントにつきましては、提出期限が9月30日（金）までとなっておりますので、ご意見等をお待ちしております。今後とも、本庁舎等整備へのご理解とご協力よろしくお願いいたします。【担当】庁舎計画担当課 庁舎計画電話03-5432-2088・・・これで終わりです。第1信、第2信、第3信をつなげてください・・・・・・・・</p>	
その他	<p>保坂区長へ本基本構想には反対します。東京いや日本全国一番の待機児童数のわが世田谷区です。まずこの区の課題に取り組んでもらいたい。区長、区議、区職員のための庁舎はそのあとでよいです。区民のための区政をやってほしい。小池知事を見習いなさい！</p> <p>本庁舎より保育園等の耐震免震等を先に着工して欲しい。まずは区民の命が先だと思う。参集可能職員もどれ程存在するのか実算はしていない。</p>	<p>現庁舎等には、区政を支える拠点として、災害対策機能をはじめとして改善すべき諸課題があり、現在の敷地を活用しながら、災害対策の拠点としての機能強化や区民サービスの充実、効率的な事務執行を実現するスペースの拡充、施設や設備の環境性能等の機能強化、区民交流・区民参加の機能を高めるスペースの拡充が必要であり、今般まとめた「本庁舎等整備基本構想」は、新しい本庁舎に求められる機能や規模など設計者が設計するための諸条件の大枠を示したものであります。今後、21世紀半ばを長期にわたり区政を支える拠点となる本庁舎等として整備してまいります。</p> <p>新耐震以前の保育園等の区有施設については、耐震補強等により既に所要の耐震性を確保しております。</p> <p>なお、本庁舎は震災直後の災害対策本部としての機能を確保するために免震構造を採用することとしています。</p> <p>災害対策への対応として、災対各部がどのような業務を継続するかを決めている「業務継続計画」において、職務及び区職員の参集人数を決め、人数の確保に取り組んでおります。災害時には、総合支所、まちづくりセンターと連携を図り、防災関係機関及び区民等の協力を得て、災害応急対策に努めてまいります。</p>